



JAPAN GAMES

2026
AOMORI



第80回 国民スポーツ大会 デモンストレーションスポーツ空道競技

YSアリーナ八戸

〒031-0073 青森県八戸市大字売市字輿遊下3番地

主催 / 公益財団法人日本スポーツ協会、文部科学省、青森県、八戸市

主管 / 青森県空道協会



一般社団法人 全日本空道連盟
<https://ku-do.or.jp>

青の煌めきあおもり国スポ



翔けろ未来へ縄文の風に乗って
第80回国民スポーツ大会

2026

5/31

【日曜日】

10:00/競技開始

2026 AOMORI

第80回国民スポーツ大会

The 80th JAPAN GAMES

国民スポーツ大会（国スポ）は、都道府県対抗で毎年開催される国内最大のスポーツの祭典です。本県での開催は、前回のあすなろ国体^{（※）}以来49年ぶりであり、前回同様、冬季大会と本大会を同一県で開催する「完全国スポ」です。

※2024年から「国民体育大会」の名称が「国民スポーツ大会」に変わりました。

デモンストレーションスポーツとは

国民スポーツ大会の実施競技の中には、子どもからご高齢の方まで県民の皆さんが気軽に参加できるデモンストレーションスポーツ、通称「デモスポ」と呼ばれる競技があります。健康づくりや体力の向上、世代間や地域間の交流の輪を広げることなどを目的として、皆さんもよく知っているスポーツから、青森県ならではのスポーツまで、さまざまな魅力ある39競技が29市町村で実施されます。

大会愛称

青の煌めき^{きら}あおもり国スポ

青い空、青い海や湖、青い山並みなど美しく豊かな自然に恵まれた青森県で、あおもり国スポに参加する全ての人々が、交流を深め、感動を創出し、いきいきと煌めくような大会を目指します。

スローガン

翔ける未来へ^{きら}縄文の風に乗って

縄文時代の遺跡が数多く存在する青森から、新たな歴史と感動を全国に向けて発信し、未来につなげていきたいという願いを込めています。

イメージソング「翔ける未来へ」



作詞：井元 仁江
作曲：T. Mikami
編曲：多田 慎也、島田 尚
歌唱：りんご娘
(ピンクレディ、
スターキングデリシャス、
はつ恋ぐりん、金星)

ダンス「青の煌めき^{きら}ダンス」



イメージソング「翔ける未来へ」にあわせ、振付けに青森県を表現するポーズやねぶたの跳人の動き、手話による表現などを盛り込んだ、青森らしいユニバーサルデザインダンスです。

公式マスコット



「アップリート君」

特徴ある県の形と、ハチマキの中央にある「りんご」で青森県を表現しています。

LINEスタンプも販売!



最新情報は公式アプリ・HP・SNSで!

公式アプリ



あおもり国スポ 検索

今すぐ無料ダウンロード!

県実行委員会
公式HP



X



Instagram



YouTube





空道 創始者

NPO法人 国際空道連盟 初代理事長

東 孝 AZUMA TAKASHI

空道九段、柔道三段

著書

- 「はみだし空手」(福昌堂刊)・「格闘空手」(福昌堂刊)
- 「格闘空手2」(福昌堂刊)・「格闘空手への道」(福昌堂刊)
- 「はみ出し空手から空道へ」(福昌堂刊)
- 「大道無門」(ジック出版) 四方洋との対談集「生きる」(扶桑社)
- 「空道入門」(ベースボールマガジン社)
- 「オーイまさあーき!～息子・正哲との思い出～」(文芸社)
- 「人と結びて有情を体す～社会の絆、家族の絆は武道にあり～」(東京堂)
- 「東孝の遺言～いつか同じ病に罹る人たちへ捧ぐ。～」(ベースボールマガジン社)

略歴

- 1949年 宮城県気仙沼市に生まれる。
- 1965年 宮城県立気仙沼高校入学、柔道部に入部
ここで柔道にのめり込み生涯を「武道」と関わる契機となった。
- 1970年 自衛隊入隊。
- 1971年 早稲田大学第二学部へ入学。
- 1972年 自衛隊を満期除隊。極真会館総本部に入門する(22才)
柔道で鍛えた頑強な肉体と、生来の負けじ魂とを武器として早くから頭角を現す。
- 1972年 極真早稲田大学支部を設立。
- 1973年 極真第5回全日本大会出場。
- 1974年 極真第6回全日本大会2位入賞。
- 1975年 空手と勉学の両立を目指して渡米。極真第1回世界大会6位入賞。
- 1976年 極真第8回全日本大会3位。
- 1977年 極真第9回全日本大会優勝。
- 1979年 極真第11回全日本大会3位。第2回世界大会4位入賞。
海外の大型選手との戦いの中、以前より感じていた体格差を補う為の顔面へのパンチ攻撃・金的蹴り・投げ技の導入の必要性を改めて痛感するに至る。
- 1981年 宮城県仙台市に「空手道大道塾」を設立。
- 1995年 北斗旗大会で世界初の氷柱12段割りに成功、現在、前人未踏の氷柱13段割りの世界記録をもつ。
- 2001年 オリンピック競技化を目指し、「格闘空手」の名称を改め、総合武道「空道」を創設。
- 2007年 約25年の経験を基に空道を実践するのに適した、軽量かつ安全性に優れた防具として「NHG空」を開発。
- 2012年 日本ワールドゲームズ協会に加盟し、2013年には第9回ワールドゲームズ2013カリ大会(コロンビア)にエキシビジョン競技として参加。
- 2018年 2026年青森県おいらせ町にて開催される国民体育大会(国民スポーツ大会)のデモ競技に正式採用された。
- 2020年 空道創始20周年パーティを開催。
- 2021年 4月3日14時35分、胃がんにより死去。享年72歳(数え年)
海外展開としては、1993年のロシア(ウラジオストク)セミナーを皮切りとし、空道(当時は格闘空手)・大道塾を広げるために、約60カ国に自ら赴き、直接指導を行った。また、ワールドカップをはじめ、アジア、ヨーロッパ、中東・アフリカ、北米・南米等、世界各地で数々の国際大会を開催した。

AZUMA TAKASHI

式次第

第80回国民スポーツ大会デモンストレーションスポーツ 空道競技

2026年5月31日（日）午前8時30分受付

9:30 開始式

- ・役員・選手入場 国旗・大会旗 掲揚・国歌斉唱
- ・開会宣言 一般社団法人 全日本空道連盟 副理事長 稲垣 拓一
- ・歓迎のことば 八戸市長 熊谷 雄一
- ・来賓祝辞 八戸市議会議長 藤川 優里
- ・理事長挨拶 一般社団法人 全日本空道連盟 理事長 長田 賢一
- ・選手宣誓 青森県 青森市空道協会 奈良 朋弥
青森県 八戸市空道協会 赤坂 優乃介
- ・選手退場

○で囲ってある数字の試合はA試合場、□はB試合場で行われます。

10:00 競技開始

- A 試合場 ① ~ ⑤③
- B 試合場 □1 ~ □97
- ・各試合時間 一般男子(3分・延長3分)・一般女子(2分・延長2分)
ジュニア U12・U14(1分30秒・延長1分)・U16(2分・延長1分30秒)
U18 女子(2分・延長1分30秒)・U18 男子(3分・延長2分)

15:30 決勝トーナメント進出者紹介

16:00 決勝トーナメント開始 7 試合

A 試合場 1 ~ 7

17:00 閉会式

- ・役員・選手入場・戦績発表・表彰式
- ・歓送のことば 八戸市観光文化スポーツ部 部長
青の煌めきあおもり国スポ・障スポ八戸市実行委員会 事務局長 工藤 俊憲
- ・理事長講評 一般社団法人 全日本空道連盟 理事長 長田 賢一
- ・国旗・大会旗 降納
- ・閉会宣言 一般社団法人 全日本空道連盟 副理事長 平塚 禎嘉

ご挨拶

第80回国民スポーツ大会デモンストラーションスポーツ 空道競技



青の煌(きら)めきあおもり国スポ・障スポ
実行委員会会長
青森県知事

宮下 宗一郎

多くの県民の皆様にご参加をいただき、昭和100年記念青の煌(きら)めきあおもり国スポ「第80回国民スポーツ大会」のデモンストラーションスポーツとして、空道競技が八戸市において開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

「青の煌(きら)めきあおもり国スポ」は、冬季大会と本大会を同じ県で開催する史上初の完全国体であった「あすなる国体」以来、49年ぶりに青森県で開催される大会であり、大会名称が国民スポーツ大会に変更されてから、初めての“完全国スポ”となります。また、今年が昭和元年(1926年)から起算して満100年となる年であることから、国スポ・障スポに「昭和100年記念」の冠称を付しております。

デモンストラーションスポーツは、国スポの実施競技の一つであり、健康づくりや体力の向上、世代間や地域間の交流の輪を広げることなどを目的として、こどもから高齢者まで県民の皆様誰もが気軽に参加でき、楽しむことができる競技となっております。本県では5月から10月まで、皆様もよく知っているスポーツから青森県ならではのスポーツまで、魅力あふれる39競技が29市町村で実施されます。

青森県がスポーツで一つになる。県民の心も一つになる。そんな「青森新時代」にふさわしい国スポに向けて、多くの県民の皆様にご参加いただき、青森県を「青の煌(きら)めき」一色に染め上げ、このスポーツの祭典を盛り上げましょう。

結びに、本大会の開催にご尽力されました関係者の皆様にご心から感謝申し上げますとともに、本大会の御成功と本競技のますますの発展並びに参加される皆様の御健闘を心からお祈りいたします。

ご挨拶

第80回国民スポーツ大会デモンストレーションスポーツ 空道競技



八戸市長
熊谷 雄一

第80回国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ」のデモンストレーションスポーツとして、空道競技が八戸市において盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げますとともに、全国各地からお越しいただきました選手並びに関係者の皆様を、市民を代表して歓迎いたします。

また、日頃の厳しい練習とたゆまぬ努力により厳しい予選を勝ち抜かれ、この大舞台に立たれた選手の皆様に対し、深く敬意を表します。

「青の煌めきあおもり国スポ」は、冬季大会と本大会を同じ県で開催する完全国体であった「あすなる国体」以来、49年ぶりに青森県で開催される大会であり、大会名称が国民スポーツ大会に変更されてから、初の完全国スポとなります。

このような記念すべき大会において、空道競技が初めて実施されますことは、大変意義深く、これからの本県における空道競技の普及・振興に大きく寄与するものと期待しております。

選手の皆様におかれましては、日頃の練習の成果を存分に発揮され、気迫溢れる試合を繰り広げられますとともに、選手同士の交流や絆を深め、思い出に残る実り多き大会となることを願っております。

八戸市は、活気ある朝市や昭和の風情が漂う横丁において、北の風土が育んだ海の幸・山の幸、特色ある郷土料理を味わうことができる「食のまち」であります。競技の合間に、八戸の魅力に触れていただければ幸いです。

結びに、本大会の開催に御尽力されました一般社団法人全日本空道連盟を始め関係者の皆様に心より感謝申し上げますとともに、本大会の御成功と選手の皆様の今大会での御健闘を祈念いたしまして、歓迎の言葉といたします。

ご挨拶

第80回国民スポーツ大会デモンストラーションスポーツ 空道競技



衆議院議員
自由民主党税制調査会長
一般社団法人全日本空道連盟会長

小野寺 五典

このたび、国民スポーツ大会において空道競技が開催されますことを、心よりお祝い申し上げます。開催に向けてご尽力いただいた関係者の皆様に、深く敬意を表します。

空道は、日本の武道文化を継承しつつ、打撃・投げ・寝技を総合的に取り入れた競技として発展してきました。その前身である「格闘空手」は東北の地で生まれ、多くの指導者と選手の情熱によって育まれてきたものです。今回、その東北で開催される国スポにおいて空道が実施されることは、競技の歴史にとっても地域にとっても大きな意義があります。

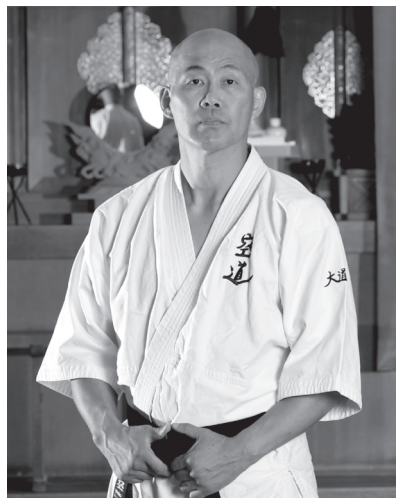
また、国民スポーツ大会において 実際に打撃技を当てる“直接打撃系”の競技が採用されるのは今回が初めてです。これは、安全性の確立やルール整備、育成環境の充実など、長年にわたる関係者の努力が社会的に認められた証であり、空道が武道として、スポーツとして成熟してきたことを示すものです。

空道の目的の一つは、地域を支える人材を育成することにあります。礼節を重んじ、困難に向き合い、仲間とともに成長する姿勢は、地域社会の活力を生み出す力となります。全日本空道連盟会長として、日々現場で指導にあたる先生方や大会を支える皆様の献身に深く感謝するとともに、空道が若い世代の成長と地域の未来づくりに寄与し続けることを願っております。

選手の皆様には、日頃の鍛錬の成果を存分に発揮し、ここ青森から全国へ、そして世界へと空道の魅力を力強く発信していただきたいと思います。本大会が空道競技のさらなる発展と地域の活性化につながることを期待しております。

ご挨拶

第80回国民スポーツ大会デモンストレーションスポーツ 空道競技



一般社団法人全日本空道連盟理事長
大道塾 塾長

長田 賢一

青の煌めきあおもり国民スポーツ大会空道競技の開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

本日、私達空道を学び修行する者にとって待ちに待った日を迎えることが出来ました。

空道という21世紀発祥の武道を掲げ、広く国民の心身の練磨と自己の向上を目指すと共に、多くの武道・格闘技の愛好者が集い、技と心を研鑽し合える競技として、多くの皆様に支えられ今日まで空道競技は国内外で発展することが出来ました。

本日ここに全国の予選を勝ち抜き多くの選手が集まり、国民スポーツ大会の場でデモンストレーション競技として、本大会を開催出来ますことに、関係者の一人として心より御礼申し上げます。

全ての武道・武術・格闘技はその時代の敵を想定して生まれています。21世紀発祥の武道「空道」は、初めて敵ではなく、いかなる状況や相手に対しても対応できる「自分の在り方」を求め、誰もが愛好できる武道スポーツ競技として生まれました。

名称に冠した「空」とは、何事にも囚われない自由な状態を指します。それは守りではなく、常に前進し成長しようとする攻めの姿勢であり、対立ではなく調和のとれた状態の事です。知識や情報や経験のみに頼ることなく、今この瞬間を充実した感覚で未知の領域へ挑戦し続ける心こそが、昨今の国際紛争や先行きの見えない社会不安に立ち向かい、分断を乗り越えて調和を築くための「真の強さ」に他ならないと考えます。

この「空」の精神を体現し、困難な状況下でも自ら道を切り拓いていくことが、今この時代に私たちが空道を学び、次世代へと繋いでいく真の意義ではないでしょうか。

本日出場の選手の皆さん一人一人が空道の体現者であり、本大会での健闘を心より祈念申し上げます。

最後に、空道の創始者であり今大会の実現と空道のスポーツ協会加盟を目指し志半ばで亡くなりました故・東孝先生と、青森の地で空道を発展させ「青の煌めきあおもり国民スポーツ大会空道競技」の開催を実現されました最大の功労者である故・五十嵐祐司前青森県空道協会理事長に心からの哀悼の意を表し、ご挨拶に代えたいと存じます。

ご挨拶

第80回国民スポーツ大会デモンストラーションスポーツ 空道競技



特定非営利活動法人
国際空道連盟
理事長

高橋 英明

「青の煌めきあおもり国スポ」でのデモンストラーションスポーツとして空道が認可を受け、この場で全日本選手権大会が開催されることを、お慶び申し上げます。国スポ開催地の皆様や青森県空道協会をはじめ、このために尽力してこられた関係者の皆様に、心より感謝いたします。

昨年ブルガリアで開催された第三回ワールド空道カップは、出場選手数が257名と、過去最大規模の国際大会でしたが、全日本空道連盟はこれまでにない規模の選手団を派遣し、優秀な成績を収められました。国際空道連盟は、来年に控えている世界選手権大会の前年である今年も、ジョージアでヨーロッパ・アジア空道カップを開催することで準備を進め、全日本空道連盟も昨年のワールドカップを超える人数の選手の派遣を計画していました。しかしながら、アジアからの経由地である中東の情勢不安により、残念ながら大会の開催を中止せざるをえませんでした。ヨーロッパ・アジア空道カップが開催されたならば、主催国の意向によりワールドカップに参加できなかったロシアの選手も参加する見込みであったため、世界選手権大会の前に日本の選手がロシアの選手と相まみえる機会を失ったことは残念でなりません。

世界選手権大会の前年となる今年から来年にかけて、ヨーロッパでは、一般部・ジュニアともに、各2回の国際大会を予定しています。アメリカ大陸は、北米大会と南米大会に分けての国際大会を予定しています。またロシアでも、Azumaカップという大会名での国際大会を予定しています。各国が、世界選手権大会に向けて準備を進めています。世界情勢は一層の混迷を深めています。来年の世界選手権大会が予定通りに開催できることを祈ります。国際空道連盟に加盟している国・地域は、現在61となっており、さらに5カ国が加盟申請中となっています。世界選手権大会は、政治や宗教・思想などによる不平等を排し、すべての加盟国・地域に参加の機会を提供する大会としたいと考えています。

日本は、開催国として、また空道を生んだ国として、東創始者に対して誇ることができる成果を収められるように、今回の大会を通して改善点を確認し、いっそうの向上に努めるための機会となることを願っています。

競技役員

第80回国民スポーツ大会デモンストラーションスポーツ 空道競技

競技会役員

名誉会長	熊谷 雄一				
会 長	小野寺 五典				
副会長	工藤 俊憲	米内 正明			
顧 問	藤川 優里				
参 与	森園 秀一	長谷川 皓之	佐々木 郁夫	石田 慎一郎	
	村越 正崇	鈴木 克史	目澤 伸一		
委員長	長田 賢一				
副委員長	寺沢 純悦	武田 誠			

競技役員

競技委員長	寺沢 純悦				
競技副委員長	村越 正崇	鈴木 克史			
競技役員	稲垣 拓一	平塚 禎嘉	東 亮汰	長尾 和	
	青木 伊之	中川 博之	小松 洋之	佐藤 剛	
	青木 公一	青沼 篤征	朝岡 秀樹	東 恵子	
	東 由美子	飯村 健一	石井 則夫	板子 和夫	
	岩崎 大河	榎並 博幸	遠藤 英	大澤 真之	
	大山 巖	小川 泰樹	小川 徹	小川 英樹	
	小野寺稜太	門井 研	加藤 清尚	加藤 泰典	
	金子 哲也	神山多見子	神山 信彦	キーナン マイク	
	菊地 政彦	岸 純青	狐崎 一彦	小寺 英樹	
	後藤 一郎	坂本 明	佐藤 繁樹	篠木隆一郎	
	柴田伊都子	神 正樹	菅原 英文	高垣 吉宏	
	高橋 竜也	高橋 哲朗	高松 猛	武山 卓己	
	田村 理一	辻 一磨	寺阪 翼	寺園 紳一	
	所 由紀	中嶋 直志	中西 明彦	中西 博之	
	中西 博之	中村 知大	萩原 克徳	長谷川皓之	
	長谷川朋彦	長谷川正人	林 忠臣	早津 忠夫	
	原 和寿	平島 健	藤田 忠司	古川 雄一	
	保坂 智雄	牧 登	松尾 剛	松原隆一郎	
	三村 耕佑	森 直樹	山崎 順也	山崎 進	
	山本 真司	湯川 悦司	横羽 克明	若宮 洋一	

アスリートとサポートスタッフのみなさんへ。

なぜ、私たちにとって、アンチ・ドーピングの
知識や活動が必要なのでしょう？

アンチ・ドーピングは、たんに
「不正する人を見つけ、不当な勝利を防ぐ」ための活動ではありません。

アンチ・ドーピングは、スポーツを成り立たせている
「みんながフェアであること」を守るためにあります。
全員がフェアでなければ、そもそもスポーツは成り立たない。
すべての人が、スポーツに参加し、公平に競い合うことができる。
その権利を守るために、アンチ・ドーピング活動があります。

そして、もうひとつ。アンチ・ドーピングは、
「スポーツが生み出す価値」を守るためにあります。
挑戦する心、相手へのリスペクト、そこから生まれる友情、
そんな、社会にとっても大切な価値を守るためにあります。

フェアであることを守り、スポーツの価値を守る。
そのいちばん中心となるのが、アスリートとサポートスタッフのみなさんです。
みなさんが、フェアであることをつねに誇りに思い、
その大切さを、世の中に示すこと。
それこそが、スポーツの発展を支え、よりよい社会をつくる力になります。

フェアであることの誇りを胸に、すばらしいスポーツの価値を、
ともに広めていきましょう。



勝利を超える価値がある

スポーツのフェアネスが、社会のフェアネスを支えるために。



公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構

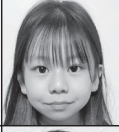

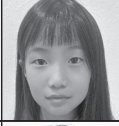
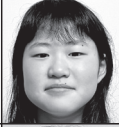


第80回 国民スポーツ大会デモン

80th National Sports Festival Demonstration Sport Kudo Competition

U12女子 37kg以下

- 試合時間：1分30秒・延長1分
- 掴み：3秒以内 ●投げ：あり（6種に限る【タックル、足払い、大内刈り、小外刈り、小内刈り、支釣込足】） ●寝技：なし
- 中・下段へは※1を除き全ての技を使用可、上段へは回し蹴りのみ可
- ポイント：効果1点、有効2点、技有4点、一本8点 ●連続での攻防は10秒以内
- ※1 下段蹴りの連打、及び頭突き、金的







優勝	準優勝	3位	3位
----	-----	----	----

阿部 吾子 145+35.5(180.5) 宮城県 石巻市 2級 11才 石巻市立大街道小学校5年生 東北予選(U12女子37kg以下)1位		56 14 80 15 57		
藤田 莉瑠 134+33(167) 愛知県 豊橋市 8級 11才 豊橋市立牛川小学校6年生 西日本予選(U12女子37kg以下)1位				
鎌田 花 140+35(175) 新潟県 長岡市 5級 11才 柏崎市立柏崎小学校5年生 北信越地区推薦				
西岡 市乃 145+37(182) 北海道 帯広市 3級 11才 帯広市立北栄小学校5年生 北海道予選(U12女子37kg以下)1位				
古田 にこる 129+26(155) 青森県 三沢市 5級 10才 三沢市立古間木小学校4年生 東北予選(U12女子37kg以下)2位				
高橋 ひまり 140+35(175) 茨城県 水戸市 4級 11才 茨城大学教育学部附属小学校5年生 関東予選(U12女子37kg以下)1位				

U12女子 47kg以下

- 試合時間：1分30秒・延長1分
- 掴み：3秒以内 ●投げ：あり（6種に限る【タックル、足払い、大内刈り、小外刈り、小内刈り、支釣込足】） ●寝技：なし
- 中・下段へは※1を除き全ての技を使用可、上段へは回し蹴りのみ可
- ポイント：効果1点、有効2点、技有4点、一本8点 ●連続での攻防は10秒以内
- ※1 下段蹴りの連打、及び頭突き、金的

優勝	準優勝	3位	
----	-----	----	--

		ブイドーティエンニャン	岡亜 弥奈	鈴木 彩生
ブイドーティエンニャン 149+40(189) 愛知県 名古屋市 8級 11才 名古屋市笠東小学校6年生 西日本地区推薦			16	58
岡亜 弥奈 142+47(189) 福岡県 筑紫野市 6級 10才 太宰府市立太宰府東小学校4年生 九州予選(U12女子47kg以下)1位				81
鈴木 彩生 147+44(191) 宮城県 名取市 3級 11才 名取市立下増田小学校5年生 東北予選(U12女子47kg以下)1位				

ジュニア年齢：大会開催年(2025年12月31日)年齢

枠内の記載事項 氏名・身長+体重(身体指数)・
 出身・級段位・年齢・学年・戦績







で囲ってある数字の試合はA試合場、
 はB試合場で行われます。

ストレーションスポーツ空道競技

U12男子 37kg以下

- 試合時間：1分30秒・延長1分
- 掴み：3秒以内 ●投げ：あり（6種に限る【タックル、足払い、大内刈り、小外刈り、小内刈り、支釣込足】） ●寝技：なし
- 中・下段へは※1を除き全ての技を使用可、上段へは回し蹴りのみ可
- ポイント：効果1点、有効2点、技有4点、一本8点 ●連続での攻防は10秒以内
- ※1 下段蹴りの連打、及び頭突き、金的

優勝	準優勝	3位	3位
----	-----	----	----

栗山 遼 145+37(182) 福岡県 筑紫野市 初段 11才 久留米市立御井小学校5年生 九州予選(U12男子37kg以下)1位					
吉田 真風 139+35(174) 東京都 豊島区 2級 11才 文京区関口台町小学校6年生 関東予選(U12男子37kg以下)3位			17		
阿部 希李音 132+28.1(160.1) 北海道 帯広市 6級 11才 芽室町立芽室小学校5年生 北海道予選(U12男子37kg以下)2位		1			
早川 斗騎 142+35(177) 東京都 新宿区 4級 11才 新宿区立落合第一小学校5年生 関東予選(U12男子37kg以下)1位			2		
柿原 隼弥 145+36(181) 静岡県 浜松市 4級 11才 浜松市立井伊谷小学校6年生 西日本予選(U12男子37kg以下)2位				18	
芳賀 勇志 129+34(163) 宮城県 仙台市 初段 11才 仙台市立大和町小学校5年生 東北予選(U12男子37kg以下)1位					82
田村 旺聖 130+31(161) 三重県 四日市市 4級 10才 四日市市立大谷台小学校4年生 西日本予選(U12男子37kg以下)1位				19	
大森 奏 148+37(185) 東京都 豊島区 3級 11才 豊島区立清和小学校6年生 関東予選(U12男子37kg以下)2位					
木高 壮哉 140+35(175) 福岡県 筑紫野市 6級 10才 小郡市立大原小学校4年生 九州予選(U12男子37kg以下)2位			3		
小平 圭悟 146+37(183) 宮城県 多賀城市 6級 11才 多賀城市立多賀城東小学校5年生 東北予選(U12男子37kg以下)2位				20	
岩城 仁 145+37(182) 北海道 帯広市 5級 11才 帯広市立花園小学校5年生 北海道予選(U12男子37kg以下)1位					60

第80回 国民スポーツ大会デモン

80th National Sports Festival Demonstration Sport Kudo Competition

U12男子 47kg以下

- 試合時間：1分30秒・延長1分
- 掴み：3秒以内 ●投げ：あり（6種に限る【タックル、足払い、大内刈り、小外刈り、小内刈り、支釣込足】） ●寝技：なし
- 中・下段へは※1を除き全ての技を使用可、上段へは回し蹴りのみ可
- ポイント：効果1点、有効2点、技有4点、一本8点 ●連続での攻防は10秒以内
- ※1 下段蹴りの連打、及び頭突き、金的

優勝	準優勝	3位	3位
----	-----	----	----

Placius Raphael 139+39(178) 東京都 新宿区 7級 10才 Tokyo International School 関東予選(U12男子47kg以下) 1位		21	61 22 23 62 83	
川口 波月 143+45(188) 福岡県 春日市 6級 11才 春日市立春日西小学校5年生 九州予選(U12男子47kg以下) 2位				
菅野 将平 138+46(184) 宮城県 多賀城市 6級 11才 多賀城市立多賀城小学校5年生 東北予選(U12男子47kg以下) 2位				
渡辺 京星 144+41.9(185.9) 北海道 帯広市 6級 11才 帯広市立啓西小学校6年生 北海道予選(U12男子47kg以下) 1位				
山田 泰暉 149+39.5(188.5) 愛知県 長久手市 1級 11才 長久手市立東小学校6年生 西日本地区推薦				
根本 理来 144+45(189) 東京都 新宿区 4級 10才 豊島区立椎名町小学校5年生 関東予選(U12男子47kg以下) 2位				
藤江 倅村 148+39(187) 宮城県 登米市 1級 11才 登米市立佐沼小学校6年生 東北予選(U12男子47kg以下) 1位				

U12男子 47kg超

- 試合時間：1分30秒・延長1分
- 掴み：3秒以内 ●投げ：あり（6種に限る【タックル、足払い、大内刈り、小外刈り、小内刈り、支釣込足】） ●寝技：なし
- 中・下段へは※1を除き全ての技を使用可、上段へは回し蹴りのみ可
- ポイント：効果1点、有効2点、技有4点、一本8点 ●連続での攻防は10秒以内
- ※1 下段蹴りの連打、及び頭突き、金的

優勝	準優勝	3位	
----	-----	----	--

			松江 亮太郎	赤坂 優乃介	後藤 和来
松江 亮太郎 148+55(203) 福岡県 筑紫野市 4級 11才 筑紫野市立二日市東小学校5年生 九州予選(U12男子47kg超) 1位				24	63
赤坂 優乃介 153+54(207) 青森県 八戸市 7級 11才 八戸市立下長小学校5年生 東北予選(U12男子47kg超) 1位					84
後藤 和来 144+55(199) 北海道 小樽市 7級 11才 北海道小樽市立山の手小学校5年生 北海道地区推薦					




第80回 国民スポーツ大会デモン

80th National Sports Festival Demonstration Sport Kudo Competition

U14女子 52kg超

- 試合時間：1分30秒・延長1分
- 掴み：3秒以内 ●投げ：あり（6種に限る【タックル、足払い、大内刈り、小外刈り、小内刈り、支釣込足】） ●寝技：なし
- 中・下段へは※1を除き全ての技を使用可、上段へは回し蹴りのみ可
- ポイント：効果1点、有効2点、技有4点、一本8点 ●連続での攻防は10秒以内
- ※1 下段蹴りの連打、及び頭突き、金的

優勝	準優勝	3位
----	-----	----

		関 夢 月	栗 山 皐	大 西 寿 咲
関 夢 月 157+55(203) 宮城県 仙台市 初段 13才 仙台市立南中山中学校2年生 東北地区(U14女子52kg超)1位			28	66
栗 山 皐 156+55(211) 福岡県 筑紫野市 初段 13才 久留米市立良山中学校1年生 九州地区(U14女子52kg超)1位				87
大 西 寿 咲 159+62(221) 神奈川県 横須賀市 5級 13才 横須賀市立追浜中学校2年生 関東地区(U14女子52kg超)1位				

ジュニア年齢：大会開催年（2025年12月31日）年齢

枠内の記載事項
 氏名・身長+体重(身体指数)・
出身・級段位・年齢・学年・戦績





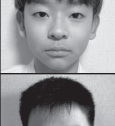

で囲ってある数字の試合はA試合場、
 はB試合場で行われます。

ストレーションスポーツ空道競技

U14男子 42kg以下

- 試合時間：1分30秒・延長1分
- 掴み：3秒以内 ●投げ：あり（6種に限る【タックル、足払い、大内刈り、小外刈り、小内刈り、支釣込足】） ●寝技：なし
- 中・下段へは※1を除き全ての技を使用可、上段へは回し蹴りのみ可
- ポイント：効果1点、有効2点、技有4点、一本8点 ●連続での攻防は10秒以内
- ※1 下段蹴りの連打、及び頭突き、金的

優勝	準優勝	3位	3位
----	-----	----	----

中西 太一 156+42(198) 三重県 四日市市 初段 13才 四日市市立羽津中学校1年生 西日本地区(U14男子42kg以下)1位								
川村 亮太 158+42(200) 岩手県 盛岡市 3級 13才 盛岡市立上田中学校1年生 東北地区(U14男子42kg以下)3位			4	29				
松本 晴翔 142+33(175) 福岡県 春日市 7級 12才 春日市立天神山小学校6年生 九州地区(U14男子42kg以下)4位								
臼井 竣哉 155+42(197) 福岡県 筑紫野市 1級 13才 筑紫野市立筑紫野南中学校1年生 九州地区(U14男子42kg以下)1位			5		67			
内田 悟 159+41.5(200.5) 東京都 大田区 7級 12才 大田区立田園調布小学校6年生 関東地区(U14男子42kg以下)2位								
片山 雄斗 137+33.5(170.5) 北海道 紋別市 3級 12才 湧別町立上湧別学園6年生 北海道地区(U14男子42kg以下)2位			6		30			
千葉 啓太 148+40(188) 宮城県 登米市 初段 13才 登米市立中田中学校2年生 東北地区(U14男子42kg以下)2位								
平林 已知 145+36(181) 東京都 豊島区 1級 12才 豊島区立高南小学校6年生 関東地区(U14男子42kg以下)1位			7					
廣田 惟月 141+41.5(182.5) 岩手県 盛岡市 初段 12才 盛岡市立向中野小学校6年生 東北地区(U14男子42kg以下)4位								
若林 旺之介 154+42(196) 三重県 四日市市 初段 13才 四日市市立羽津中学校1年生 西日本地区推薦			8		31			
奥田 涼 153+42(195) 北海道 紋別市 3級 13才 湧別町立上湧別学園7年生 北海道地区(U14男子42kg以下)1位								
東 凜朔 148+40(188) 大阪府 岸和田市 初段 12才 岸和田市立城内小学校6年生 西日本地区(U14男子42kg以下)2位			8					
田中 琉生 145+36(181) 福岡県 筑紫野市 初段 12才 筑紫野市立筑山中学校1年生 九州地区(U14男子42kg以下)2位								
平田 洋介 153+41.8(194.8) 宮城県 多賀城市 初段 13才 仙台市立中野中学校1年生 東北地区(U14男子42kg以下)1位								



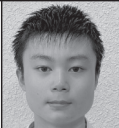








第80回 国民スポーツ大会デモン

80th National Sports Festival Demonstration Sport Kudo Competition

U14男子 52kg以下

- 試合時間：1分30秒・延長1分
- 掴み：3秒以内 ●投げ：あり（6種に限る【タックル、足払い、大内刈り、小外刈り、小内刈り、支釣込足】） ●寝技：なし
- 中・下段へは※1を除き全ての技を使用可、上段へは回し蹴りのみ可
- ポイント：効果1点、有効2点、技有4点、一本8点 ●連続での攻防は10秒以内
- ※1 下段蹴りの連打、及び頭突き、金的

優勝	準優勝	3位	3位
----	-----	----	----

坂中 颯希 165+52(217) 三重県 四日市市 初段 13才 四日市市立山手中学校1年生 西日本地区(U14男子52kg以下)1位				
田中 蓮 152+48(200) 新潟県 長岡市 7級 12才 柏崎市立東中学校1年生 北信越地区推薦		10	33	
古田 凜太郎 159+51(210) 青森県 三沢市 初段 12才 三沢市立第五中学校1年生 東北地区(U14男子52kg以下)3位				
平山 遥人 155+51(206) 宮城県 多賀城市 初段 12才 多賀城市立多賀城東小学校6年生 東北地区(U14男子52kg以下)2位		11		
吉見 奏翔 140+51(191) 東京都 豊島区 5級 12才 豊島区立高南小学校6年生 関東地区(U14男子52kg以下)2位			34	
橋本 憲吾 152+50(202) 北海道 紋別市 6級 13才 湧別町立上湧別学園7年生 北海道地区(U14男子52kg以下)1位				
平山 昊 150+47(197) 福岡県 筑紫野市 1級 13才 筑前町立中牟田小学校6年生 九州地区(U14男子52kg以下)1位			35	
星川 明 158.5+48.5(207) 岩手県 盛岡市 初段 13才 盛岡市立下小路中学校1年生 東北地区(U14男子52kg以下)4位				
松江 侑司朗 159+45(204) 福岡県 筑紫野市 3級 12才 筑紫野市立筑紫野中学校1年生 九州地区(U14男子52kg以下)2位		12		
大出 成太郎 163+48(211) 埼玉県 草加市 4級 13才 草加市立谷塚中学校1年生 関東地区(U14男子52kg以下)1位			36	
新山 碧已 165+51(216) 宮城県 仙台市 初段 13才 仙台市立錦ヶ丘中学校1年生 東北地区(U14男子52kg以下)1位				
				89
				70
				69

ジュニア年齢：大会開催年（2025年12月31日）年齢

枠内の記載事項 氏名・身長+体重(身体指数)・
 出身・級段位・年齢・学年・戦績

で囲ってある数字の試合はA試合場、
 はB試合場で行われます。

ストレーションスポーツ空道競技

U14男子 62kg以下

- 試合時間：1分30秒・延長1分
- 掴み：3秒以内 ●投げ：あり（6種に限る【タックル、足払い、大内刈り、小外刈り、小内刈り、支釣込足】） ●寝技：なし
- 中・下段へは※1を除き全ての技を使用可、上段へは回し蹴りのみ可
- ポイント：効果1点、有効2点、技有4点、一本8点 ●連続での攻防は10秒以内
- ※1 下段蹴りの連打、及び頭突き、金的

優勝	準優勝	3位	3位
----	-----	----	----

望月 耀 165+62(227) 静岡県 富士市 4級 13才 富士市立吉原北中学校1年生 西日本地区(U14男子52kg超)2位		<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="margin-bottom: 20px;">71</div> <div style="margin-bottom: 20px;">37</div> <div style="margin-bottom: 20px;">38</div> <div style="margin-bottom: 20px;">72</div> <div style="margin-bottom: 20px;">90</div> </div>	
木原 脩翔 163+57(220) 北海道 紋別市 3級 13才 遠軽町立南中学校1年生 北海道地区(U14男子52kg超)2位			
齋藤 凰貴 150+53.5(203.5) 宮城県 多賀城市 1級 13才 多賀城市立多賀城中学校1年生 東北地区(U14男子52kg超)1位			
早川 拳志朗 150+54(204) 東京都 新宿区 4級 13才 新宿区立落合第二中学校1年生 関東地区推薦			
市川 洋 156+56(212) 愛知県 名古屋市 1級 13才 名古屋市立菊井中学校1年生 西日本地区(U14男子52kg超)1位			
西岡 真道 170+61(231) 北海道 帯広市 初段 13才 帯広市立第一中学校2年生 北海道地区(U14男子52kg超)1位			

U14男子 62kg超

- 試合時間：1分30秒・延長1分
- 掴み：3秒以内 ●投げ：あり（6種に限る【タックル、足払い、大内刈り、小外刈り、小内刈り、支釣込足】） ●寝技：なし
- 中・下段へは※1を除き全ての技を使用可、上段へは回し蹴りのみ可
- ポイント：効果1点、有効2点、技有4点、一本8点 ●連続での攻防は10秒以内
- ※1 下段蹴りの連打、及び頭突き、金的

優勝	準優勝	3位	3位
----	-----	----	----

佐久間 晴空 158+65(223) 新潟県 新潟市 初段 13才 新発田市立本丸中学校2年生 関東地区(U14男子52kg超)1位		<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="margin-bottom: 20px;">39</div> <div style="margin-bottom: 20px;">91</div> <div style="margin-bottom: 20px;">40</div> </div>	
加藤 正宗 159+65(224) 福岡県 筑紫野市 初段 12才 小郡市立三国小学校6年生 九州地区推薦			
加藤 心波 142+66(208) 茨城県 日立市 1級 13才 水戸市立第五中学校1年生 関東地区(U14男子52kg超)2位			
芝井 鶴伎 150+67(217) 新潟県 長岡市 2級 12才 柏崎市立柏崎小学校6年生 北信越地区推薦			


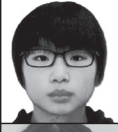
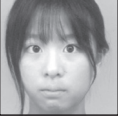
第80回 国民スポーツ大会デモン

80th National Sports Festival Demonstration Sport Kudo Competition

U16女子 43kg以下

- 試合時間:2分-延長1分30秒 ●掴み:5秒以内 ●投げ:あり(6種に限る【タックル、足払い、大内刈り、小外刈り、小内刈り、支釣込足】)
- 寝技:あり1回(関節技【腕ひしぎ(十字固め、膝固め、脇固め、腕固め、腹固め)、腕がらみ、アキレス腱固め、】の7種類、絞め技【裸絞め、十字絞め、送り襟絞め、片羽絞め、三角絞め】の5種類として変形技は不可。)
- 中-下段へは※1を除き全ての技を使用可、上段へは回し蹴りのみ可 ●ポイント:効果1点、有効2点、技有4点、一本8点
- 連続での攻防は寝技を除き10秒以内 ※1 頭突き、金的


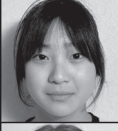





優勝	準優勝	3位
----	-----	----

		石川 千尋	相内 結衣	井上 奈南
石川 千尋 143+38.2(181.2) 静岡県 浜松市 3級 14才 浜松市立細江中学校2年生 西日本地区(U16女子43kg以下)1位			41	73
相内 結衣 154+43(197) 青森県 青森市 初段 14才 青森市立南中学校2年生 東北地区(U16女子43kg以下)1位				92
井上 奈南 159+43(202) 宮城県 名取市 1級 14才 名取市立増田中学校2年生 東北地区(U16女子43kg以下)2位				

U16女子 53kg以下

- 試合時間:2分-延長1分30秒 ●掴み:5秒以内 ●投げ:あり(6種に限る【タックル、足払い、大内刈り、小外刈り、小内刈り、支釣込足】)
- 寝技:あり1回(関節技【腕ひしぎ(十字固め、膝固め、脇固め、腕固め、腹固め)、腕がらみ、アキレス腱固め、】の7種類、絞め技【裸絞め、十字絞め、送り襟絞め、片羽絞め、三角絞め】の5種類として変形技は不可。)
- 中-下段へは※1を除き全ての技を使用可、上段へは回し蹴りのみ可 ●ポイント:効果1点、有効2点、技有4点、一本8点
- 連続での攻防は寝技を除き10秒以内 ※1 頭突き、金的

優勝	準優勝	3位	3位
----	-----	----	----

小林 美羽子 153+53(206) 北海道 帯広市 初段 15才 帯広市立大空学園義務教育学校9年生 北海道地区(U16女子53kg以下)1位		42	74	93
石田 杏実 155+48(203) 新潟県 新潟市 1級 14才 新発田市立猿橋中学校2年生 関東地区(U16女子53kg以下)2位				
川原 愛心 155+49(204) 愛知県 日進市 初段 15才 名古屋市立植田中学校3年生 西日本地区(U16女子53kg以下)1位		43		
飛澤 爽乃 158+52(210) 岩手県 盛岡市 初段 15才 盛岡市立城西中学校3年生 東北地区(U16女子53kg以下)2位				
伊関 響花 158+53(211) 新潟県 新潟市 初段 14才 新発田市立猿橋中学校2年生 関東地区(U16女子53kg以下)1位		44	75	
楯 らめる 153+53(206) 大阪府 岸和田市 初段 14才 大阪学芸高等学校附属中学校3年生 西日本地区推薦				
相内 美希 146+53(199) 青森県 青森市 初段 15才 青森県立青森中央高等学校1年生 東北地区(U16女子53kg以下)1位				

ジュニア年齢:大会開催年
(2025年12月31日)年齢

枠内の記載事項 氏名・身長+体重(身体指数)・
出身・級段位・年齢・学年・戦績

○で囲ってある数字の試合はA試合場、
□はB試合場で行われます。





ストレーションスポーツ空道競技

80th National Sports Festival Demonstration Sport Kudo Competition

U16女子 63kg以下


- 試合時間:2分:延長1分30秒 ●掴み:5秒以内 ●投げ:あり(6種に限る【タックル、足払い、大内刈り、小外刈り、小内刈り、支釣込足】)
- 寝技:あり1回(関節技【腕ひしぎ(十字固め、膝固め、脇固め、腕固め、腹固め)、腕からみ、アキレス腱固め、】の7種類、絞め技【裸絞め、十字絞め、送り襟絞め、片羽絞め、三角絞め】の5種類として変形技は不可。
- 中・下段へは※1を除き全ての技を使用可、上段へは回し蹴りのみ可 ●ポイント:効果1点、有効2点、技有4点、一本8点
- 連続での攻防は寝技を除き10秒以内 ※1頭突き、金的

優勝	準優勝	3位	3位
----	-----	----	----

春本 侑里 162.5+53.5(216) 愛知県 日進市 1級 15才 日進市立日進中学校3年生 西日本地区(U16女子63kg以下)1位		45 94 46
米川 凜 152+60(212) 福岡県 筑紫野市 初段 14才 筑紫野市立筑紫野南中学校2年生 九州地区推薦		
兒玉 えいみ 154+62(216) 青森県 三沢市 初段 15才 おいらせ町立木ノ下中学校3年生 東北地区(U16女子63kg以下)1位		
菅原 菜々 158+61(219) 北海道 帯広市 1級 15才 帯広南商業高等学校1年生 北海道地区(U16女子63kg以下)1位		

U16女子 63kg超







- 試合時間:2分:延長1分30秒 ●掴み:5秒以内 ●投げ:あり(6種に限る【タックル、足払い、大内刈り、小外刈り、小内刈り、支釣込足】)
- 寝技:あり1回(関節技【腕ひしぎ(十字固め、膝固め、脇固め、腕固め、腹固め)、腕からみ、アキレス腱固め、】の7種類、絞め技【裸絞め、十字絞め、送り襟絞め、片羽絞め、三角絞め】の5種類として変形技は不可。
- 中・下段へは※1を除き全ての技を使用可、上段へは回し蹴りのみ可 ●ポイント:効果1点、有効2点、技有4点、一本8点
- 連続での攻防は寝技を除き10秒以内 ※1頭突き、金的

優勝 岸上 姫乃	岸上 姫乃 164+79(243) 大阪府 岸和田市 初段 15才 堺市立美木多中学校3年生 西日本地区推薦	
-----------------	--	---

U16男子 48kg以下

- 試合時間:2分:延長1分30秒 ●掴み:5秒以内 ●投げ:あり(6種に限る【タックル、足払い、大内刈り、小外刈り、小内刈り、支釣込足】)
- 寝技:あり1回(関節技【腕ひしぎ(十字固め、膝固め、脇固め、腕固め、腹固め)、腕からみ、アキレス腱固め、】の7種類、絞め技【裸絞め、十字絞め、送り襟絞め、片羽絞め、三角絞め】の5種類として変形技は不可。
- 中・下段へは※1を除き全ての技を使用可、上段へは回し蹴りのみ可 ●ポイント:効果1点、有効2点、技有4点、一本8点
- 連続での攻防は寝技を除き10秒以内 ※1頭突き、金的

優勝	準優勝	3位	3位
----	-----	----	----

相原 湧空斗 160+46(206) 宮城県 名取市 初段 14才 名取市立増田中学校2年生 東北地区(U16男子48kg以下)1位		76 47 95 48 77
尾崎 瑛汰 157+47.5(204.5) 愛知県 名古屋市 3級 14才 名古屋市立東陵中学校2年生 西日本地区(U16男子48kg以下)2位		
松本 幸志郎 161+48(209) 福岡県 春日市 初段 15才 福岡市立柏原中学校3年生 九州地区(U16男子48kg以下)1位		
山本 想 156+47(203) 北海道 帯広市 2級 14才 帯広市立南町中学校2年生 北海道地区(U16男子48kg以下)1位		
大山 一樹 151+44(195) 宮城県 仙台市 初段 14才 多賀城市高崎中学校2年生 東北地区(U16男子48kg以下)2位		
東 純平 158.5+43.5(202) 大阪府 岸和田市 初段 14才 岸和田市立岸城中学校2年生 西日本地区(U16男子48kg以下)1位		

第80回 国民スポーツ大会デモン

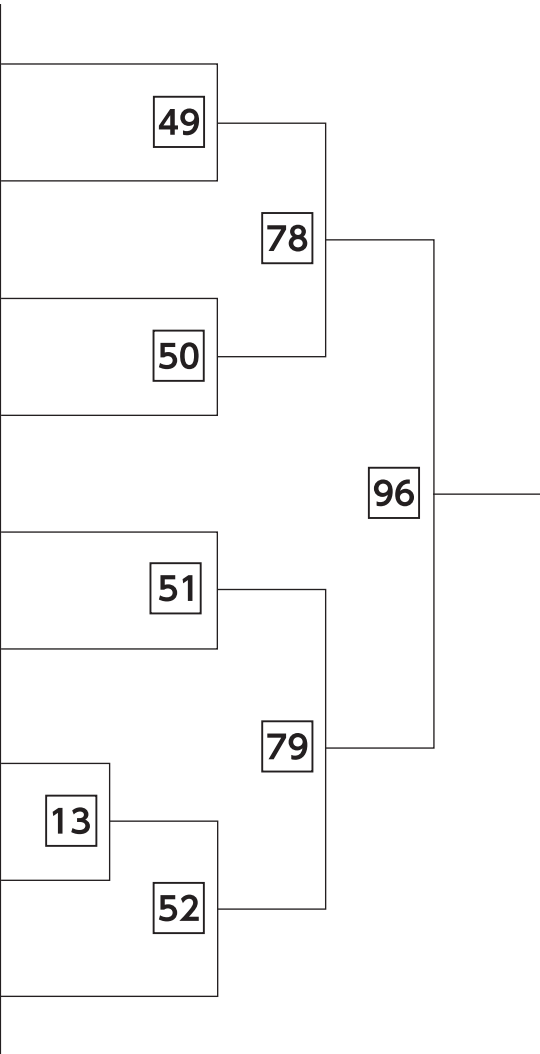
80th National Sports Festival Demonstration Sport Kudo Competition

U16男子 58kg以下

- 試合時間:2分-延長1分30秒 ●掴み:5秒以内 ●投げ:あり(6種に限る【タックル、足払い、大内刈り、小外刈り、小内刈り、支釣込足】)
- 寝技:あり1回(関節技【腕ひしぎ(十字固め、膝固め、脇固め、腕固め、腹固め)、腕からみ、アキレス腱固め、】の7種類、絞め技【裸絞め、十字絞め、送り襟絞め、片羽絞め、三角絞め】の5種類として変形技は不可)
- 中-下段へは※1を除き全ての技を使用可、上段へは回し蹴りのみ可 ●ポイント:効果1点、有効2点、技有4点、一本8点
- 連続での攻防は寝技を除き10秒以内 ※1頭突き、金的

優勝	準優勝	3位	3位
----	-----	----	----

杉本 海 167+57.8(224.8) 大阪府 岸和田市 初段 14才 堺市立平井中学校2年生 西日本地区(U16男子58kg以下)1位	
新山 晴琉 161+56(217) 宮城県 仙台市 初段 14才 仙台市立錦ヶ丘中学校3年生 東北地区(U16男子58kg以下)3位	
藤代 天 166+58(224) 新潟県 長岡市 弐段 15才 柏崎市立第二中学校3年生 関東地区(U16男子58kg以下)1位	
遠藤 颯真 166+58(224) 宮城県 仙台市 初段 15才 仙台市立中山中学校3年生 東北地区(U16男子58kg以下)2位	
斉藤 篤向 166+58(224) 北海道 紋別市 初段 15才 旭川市立永山南中学校3年生 北海道地区(U16男子58kg以下)1位	
原 脩斗 162+54(216) 福岡県 春日市 初段 15才 春日市立春日中学校3年生 九州地区(U16男子58kg以下)1位	
渡辺 遥斗 164+58(222) 静岡県 富士市 6級 14才 富士市立吉原第二中学校3年生 西日本地区(U16男子58kg以下)2位	
遠藤 尚 175+56(231) 新潟県 長岡市 初段 15才 長岡市立江陽中学校3年生 関東地区(U16男子58kg以下)2位	
佐藤 蓮太 172+58(230) 宮城県 仙台市 弐段 15才 南光学園東北高等学校1年生 東北地区(U16男子58kg以下)1位	

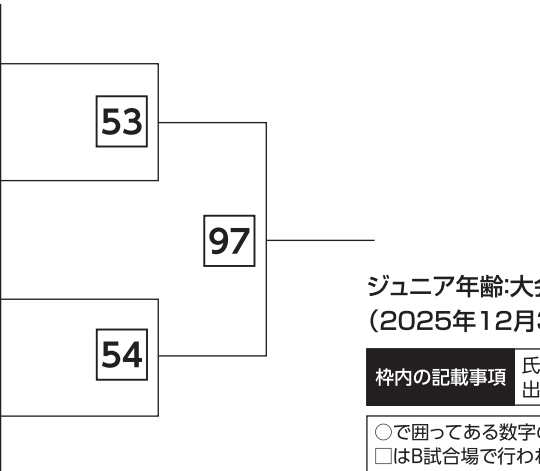


U16男子 68kg以下

- 試合時間:2分-延長1分30秒 ●掴み:5秒以内 ●投げ:あり(6種に限る【タックル、足払い、大内刈り、小外刈り、小内刈り、支釣込足】)
- 寝技:あり1回(関節技【腕ひしぎ(十字固め、膝固め、脇固め、腕固め、腹固め)、腕からみ、アキレス腱固め、】の7種類、絞め技【裸絞め、十字絞め、送り襟絞め、片羽絞め、三角絞め】の5種類として変形技は不可)
- 中-下段へは※1を除き全ての技を使用可、上段へは回し蹴りのみ可 ●ポイント:効果1点、有効2点、技有4点、一本8点
- 連続での攻防は寝技を除き10秒以内 ※1頭突き、金的

優勝	準優勝	3位	3位
----	-----	----	----

弓矢 晃楓 165+67(232) 大阪府 岸和田市 初段 15才 和泉市立郷荘中学校3年生 西日本地区(U16男子68kg以下)1位	
柴川 健斗 166+65(231) 東京都 江戸川区 5級 14才 江戸川区立小岩第一中学校2年生 関東地区(U16男子68kg以下)1位	
平山 瑛人 175+68(243) 宮城県 多賀城市 初段 15才 多賀城市立多賀城中学校 東北地区(U16男子68kg以下)1位	
畑地 真武 170+67.5(237.5) 兵庫県 宝塚市 6級 14才 関西創価中学生3年生 西日本地区(U16男子68kg以下)2位	



ジュニア年齢:大会開催年
(2025年12月31日)年齢

● 枠内の記載事項 氏名・身長+体重(身体指数)・出身・級段位・年齢・学年・戦績



○で囲ってある数字の試合はA試合場、□はB試合場で行われます。

ストレーションスポーツ空道競技

U16男子 68kg超

- 試合時間:2分・延長1分30秒 ●掴み:5秒以内 ●投げ:あり(6種に限る【タックル、足払い、大内刈り、小外刈り、小内刈り、支釣込足】)
- 寝技:あり1回(関節技【腕ひしぎ(十字固め、膝固め、脇固め、腕固め、腰固め)、腕がらみ、アキレス腱固め、】の7種類、絞め技【裸絞め、十字絞め、送り襟絞め、片羽絞め、三角絞め】の5種類として変形技は不可)
- 中・下段へは※1を除き全ての技を使用可、上段へは回し蹴りのみ可 ●ポイント:効果1点、有効2点、技有4点、一本8点
- 連続での攻防は寝技を除き10秒以内 ※1頭突き、金的

優勝	準優勝
----	-----



金内 綾大 170+80(250) 北海道 小樽市 2級 15才 小樽水産高等学校1年生 北海道地区(U16男子68kg超)1位	
重藤 蒼 163+80(243) 神奈川県 横須賀市 3級 14才 横須賀市立神明中学校2年生 北海道地区推薦	

55

U18女子 215以下

- 試合時間:男子3分・延長2分 女子2分・延長1分30秒
- 掴み:10秒以内 ●投げ:あり
- 寝技:あり2回(延長1回) なお、下からの上段への突き、蹴りは立っている場合同様
- 中・下段へは金的を除く全ての技を使用可、上段へは肘打ち、頭突きを除く全ての技を使用可
- 上段への技の使用は4連打まで可 ●ポイント:効果1点、有効2点、技有4点、一本8点

優勝	準優勝
----	-----



楯 くらら 157+53.3(210.3) 大阪府 岸和田市 初段 16才 大阪学芸高等学校1年生 西日本地区(U18女子215以下)1位	
佐々木 日向 163+51(214) 宮城県 仙台市 4級 17才 聖和学園高等学校2年生 東北地区(U18女子215以下)1位	

38

U18女子 225以下

- 試合時間:男子3分・延長2分 女子2分・延長1分30秒
- 掴み:10秒以内 ●投げ:あり
- 寝技:あり2回(延長1回) なお、下からの上段への突き、蹴りは立っている場合同様
- 中・下段へは金的を除く全ての技を使用可、上段へは肘打ち、頭突きを除く全ての技を使用可
- 上段への技の使用は4連打まで可 ●ポイント:効果1点、有効2点、技有4点、一本8点

優勝	準優勝
----	-----

長谷川 愛生 162+56(218) 新潟県 長岡市 3級 17才 新潟県立小千谷西高等学校3年生 関東地区(U18女子225以下)1位	
鈴木 ほの 166+58(224) 茨城県 つくば市 3級 17才 常総学院高等学校2年生 関東地区推薦	

39

U18男子 220以下

- 試合時間:男子3分・延長2分 女子2分・延長1分30秒
- 掴み:10秒以内 ●投げ:あり
- 寝技:あり2回(延長1回) なお、下からの上段への突き、蹴りは立っている場合同様
- 中・下段へは金的を除く全ての技を使用可、上段へは肘打ち、頭突きを除く全ての技を使用可
- 上段への技の使用は4連打まで可 ●ポイント:効果1点、有効2点、技有4点、一本8点

優勝	準優勝	3位
----	-----	----

	鍵主 光希	船津 海斗	飛澤 周希
鍵主 光希 165+55(220) 大阪府 岸和田市 初段 16才 大阪府立東百舌鳥高等学校1年生 西日本地区(U18男子220以下)1位		①	④⑩
船津 海斗 163+48(211) 愛知県 豊田市 8級 16才 豊田大谷高等学校2年生 西日本地区(U18男子220以下)2位			①⑥
飛澤 周希 163+57(220) 岩手県 盛岡市 参段 17才 盛岡中央高等学校2年生 東北地区(U18男子220以下)1位			

第80回 国民スポーツ大会デモンストレーションスポーツ空道競技

80th National Sports Festival Demonstration Sport Kudo Competition

U18男子 230以下

- 試合時間：男子3分・延長2分 女子2分・延長1分30秒
- 掴み：10秒以内 ●投げ：あり
- 寝技：あり2回(延長1回) なお、下からの上段への突き、蹴りは立っている場合同様
- 中・下段へは金的を除く全ての技を使用可、上段へは肘打ち、頭突きを除く全ての技を使用可
- 上段への技の使用は4連打まで可 ●ポイント：効果1点、有効2点、技有4点、一本8点

優勝	準優勝	3位	3位
----	-----	----	----

松本 実 164+65(229) 静岡県 富士市 無級 17才 機構沼津工業高等専門学校1年生 西日本地区(U18男子230以下)1位		②	①7	④1	
藤代 泰 168+62(230) 新潟県 長岡市 4級 17才 新潟県立柏崎高等学校2年生 関東地区(U18男子230以下)1位					
平島 健伸 174+56(230) 福岡県 筑紫野市 4級 16才 明達館高等学校博多SNEC 九州地区(U18男子230以下)1位		③			
大友 彪真 168+54(222) 宮城県 多賀城市 無級 16才 宮城県松島高等学校1年生 東北地区(U18男子230以下)2位		④			
加藤 彪吾 170+59(229) 青森県 八戸市 無級 17才 会社員 東北地区(U18男子230以下)1位					
土井 陸 167+48(215) 愛知県 豊田市 8級 16才 豊田大谷高等学校2年生 西日本地区(U18男子230以下)2位		④			①8
木藤 真阿 167+63(230) 北海道 帯広市 初段 17才 北海道幕別清陵高等学校2年生 北海道地区(U18男子230以下)1位					

U18男子 240kg以下

- 試合時間：男子3分・延長2分 女子2分・延長1分30秒
- 掴み：10秒以内 ●投げ：あり
- 寝技：あり2回(延長1回) なお、下からの上段への突き、蹴りは立っている場合同様
- 中・下段へは金的を除く全ての技を使用可、上段へは肘打ち、頭突きを除く全ての技を使用可
- 上段への技の使用は4連打まで可 ●ポイント：効果1点、有効2点、技有4点、一本8点

優勝	準優勝	3位	3位
----	-----	----	----

柴尾 緯昊 166+67(233) 北海道 小樽市 初段 16才 北海道札幌工業高等学校1年生 北海道地区(U18男子240以下)1位		⑤	①9	④2	
島橋 陽也 170+63(233) 宮城県 多賀城市 初段 16才 仙台育英学園高等学校1年生 東北地区(U18男子240以下)2位					
門馬 冴賢 170+69.9(239.9) 北海道 帯広市 式段 16才 北海道帯広工業高等学校2年生 北海道地区(U18男子240以下)2位		⑤			
コノネンコ 拓海 176+64(240) 宮城県 多賀城市 無級 17才 仙台育英学園高等学校2年生 東北地区(U18男子250以下)1位					⑤
渡邊 湧斗 168+64(232) 宮城県 名取市 2級 17才 宮城県名取高等学校2年生 東北地区(U18男子240以下)1位					

ジュニア年齢:大会開催年
(2025年12月31日)年齢

枠内の記載事項 氏名・身長+体重(身体指数)・
出身・級段位・年齢・学年・戦績

○で囲ってある数字の試合はA試合場、
□はB試合場で行われます。

全日本空道ジュニア選手権大会 歴代入賞者一覧

※2010年(2.28)大会までは
全国少年少女選手権大会として
開催しておりました。

2003年入賞者 (2003.2.16)

台東リバーサイドスポーツセンター

- 小学1・2年生の部
優勝/小柏 祐二郎(塩 釜)
準優勝/川上 翔太(長 岡)
3 位/鈴木 勝太(塩 釜)
4 位/高橋 亮憲(仙台北)
- 小学3・4年生の部
優勝/安藤 知樹(塩 釜)
準優勝/石井 真介(名 張)
3 位/森 真心(仙山西)
4 位/宅間 貢(八王子)
- 小学5・6年生の部
優勝/中島 隆一(練 馬)
準優勝/阿部 武志(石 巻)
3 位/中澤 国彦(塩 釜)
4 位/山本 卓嗣(名 張)
5 位/森本 真由(名 張)
- 中学生の部
優勝/永沼 大明(塩 釜)
準優勝/鈴木 一史(塩 釜)
3 位/森 一心(仙山西)

2004年入賞者 (2004.2.15)

台東リバーサイドスポーツセンター

- 小学1・2年生の部
優勝/大澤 優晶(仙台北)
準優勝/坂井 麻代(松 任)
3 位/松江 守(九 州)
4 位/加賀 健太郎(塩 釜)
5 位/飯坂 健巧(塩 釜)
- 小学3・4年生の部
優勝/石井 真介(名 張)
準優勝/高野 諒(新 潟)
3 位/佐藤 佳哉(塩 釜)
4 位/小柏 祐二郎(塩 釜)
5 位/山城 椋汰(松 任)
6 位/川上 翔太(長 岡)
7 位/田中 諒(仙山西)
8 位/石塚 一(木 町)
- 小学5・6年生(男子の部)
優勝/阿部 武志(石 巻)
準優勝/吉尾 勇輝(松 任)
3 位/中澤 国彦(塩 釜)
4 位/安藤 知樹(塩 釜)
5 位/八島 剛(仙山西)
6 位/川内 優太郎(日 進)
- 小学5・6年生(女子の部)
優勝/照井 友香子(仙山西)
準優勝/森本 真由(名 張)
- 中学生の部
優勝/新井野 浩司(八王子)
準優勝/豊田 力也(名 張)
3 位/山口 啓市(名 張)

2005年入賞者 (2005.3.6)

台東リバーサイドスポーツセンター

- 小学1・2年生(160未満)の部
優勝/齋藤 唯悦(塩 釜)
準優勝/根本 光太郎(帯 広)
3 位/我妻 未来(塩 釜)
- 小学1・2年生(160以上)の部
優勝/飯坂 健巧(塩 釜)
準優勝/西川 龍征(木 町)
3 位/大日方 遼(仙山西)

●小学3・4年生(170以下)の部

- 優勝/土生 圭一郎(八王子)
- 準優勝/西村 凌(名 張)
- 3 位/佐藤 加京(仙山西)
- 4 位/藤原 弓香子(八王子)

●小学3・4年生(171以上)の部

- 優勝/川上 翔太(長 岡)
- 準優勝/小柏 祐二郎(塩 釜)
- 3 位/石塚 一(木 町)
- 4 位/鈴木 勝太(塩 釜)

●小学5・6年生(男子(197未満)の部)

- 優勝/森 真心(仙山西)
- 準優勝/深澤 優樹(白 根)
- 3 位/石井 真介(名 張)
- 4 位/佐々木 翔(仙山西)

●小学5・6年生(男子(197以上)の部)

- 優勝/安藤 知樹(塩 釜)
- 準優勝/宅間 貢(八王子)
- 3 位/中島 一憲(日 進)
- 4 位/池田 優斗(白 根)

●小学5・6年生(女子の部)

- 優勝/栗原 まりい(新 潟)
- 準優勝/奥井 美樹(名 張)

●中学生(女子の部)

- 優勝/森本 絢香(名 張)
- 準優勝/庄子 亜久理(仙山西)

●中学生(男子の部)

- 優勝/友次 文武(八王子)
- 準優勝/鈴木 一史(塩 釜)
- 3 位/八島 剛(仙山西)

●学生基本ルール(5級以下の部)

- 優勝/豊田 力也(名 張)
- 準優勝/杉本 翔(早稲田)
- 3 位/シモン・ファビアン(総本部)
- 4 位/山口 啓市(名 張)

●学生顔面ルール(4級以上の部)

- 優勝/笹沢 一有(早稲田)
- 準優勝/荒木 晋吾(横浜北)
- 3 位/阿部 和幸(浦 和)
- 4 位/原田 亘(早稲田)

2006年入賞者 (2006.2.12)

台東リバーサイドスポーツセンター

●小学1・2年生(150未満)の部

- 優勝/水野 隆介(塩 釜)
- 準優勝/五十嵐 将太(塩 釜)

●小学1・2年生(150以上)の部

- 優勝/齋藤 吏(仙山西)
- 準優勝/石塚 大(木 町)

●小学3・4年生(170未満)の部

- 優勝/齋藤 唯悦(塩 釜)
- 準優勝/佐藤 優太(帯 広)
- 3 位/二宮 健太郎(名 張)

●小学3・4年生(170以上)の部

- 優勝/阿部 拓真(塩 釜)
- 準優勝/加賀 健太郎(塩 釜)

●小学5・6年生(男子(190未満)の部)

- 優勝/舩谷 良介(仙山西)
- 準優勝/鈴木 勝太(塩 釜)

●小学5・6年生(男子(190以上200未満)の部)

- 優勝/佐々木 翔(仙山西)
- 準優勝/高橋 亮憲(仙台北)

●小学5・6年生(男子(200以上)の部)

- 優勝/石井 真介(名 張)
- 準優勝/小柏 祐二郎(塩 釜)

●小学5・6年生(女子の部)

- 優勝/森本 有紀(名 張)

●中学生(男子の部)

- 優勝/友次 文武(八王子)
- 準優勝/中島 隆一(総本部)

●中学生(女子の部)

- 優勝/庄子 亜久理(仙山西)

●学生基本ルール(5級以下の部)

- 優勝/岩井川 裕(久 喜)
- 準優勝/江利川 卓磨(久 喜)
- 3 位/曳田 祐一(帯 広)
- 4 位/菅原 裕登(帯 広)

●学生格闘空手ルール(4級以上の部)

- 優勝/フィリアカナル(総本部)
- 準優勝/宮地 孟(八王子)

2007年入賞者 (2007.2.11)

台東リバーサイドスポーツセンター

●小学1・2年生(155未満)の部

- 優勝/我妻 永望(塩 釜)
- 準優勝/伊藤 望(帯 広)

●小学1・2年生(155以上)の部

- 優勝/泉 魁斗(松 任)
- 準優勝/坂戸 蓮(帯 広)

●小学3・4年生(165未満)の部

- 優勝/水野 隆介(塩 釜)
- 準優勝/石塚 大(木 町)

●小学3・4年生(165以上179未満)の部

- 優勝/齋藤 唯悦(塩 釜)
- 準優勝/野口 隆史(名 張)

●小学3・4年生(179以上)の部

- 優勝/飯坂 健巧(塩 釜)
- 準優勝/伊藤 梓(帯 広)

●小学5・6年生(185未満)の部

- 優勝/松岡 剛史(八王子)
- 準優勝/蛭名 哲也(三 沢)

●小学5・6年生(185以上205未満)の部

- 優勝/石塚 一(木 町)
- 準優勝/鈴木 勝太(塩 釜)
- 3 位/曾根 佳吾(塩 釜)

●小学5・6年生(205以上)の部

- 優勝/川上 翔太(長 岡)
- 準優勝/高橋 亮憲(仙台北)

●小学5・6年生(女子の部)

- 優勝/高橋 なるみ(塩 釜)
- 準優勝/尾形 奈美(仙山西)

●中学1年生(男子の部)

- 優勝/坂田 良介(仙山西)
- 準優勝/太田 健斗(三 沢)

●中学2年生(男子の部)

- 優勝/森崎 聖太(日 進)
- 準優勝/桜井 夢己(長 岡)

●学生基本ルール(5級以下の部)

- 優勝/濱崎 剛(早稲田)
- 準優勝/田中 洋輔(早稲田)

●学生格闘ルール(4級以上の部)

- 優勝/佐藤 将光(石 巻)
- 準優勝/山口 啓市(名 張)

●学生空道ルール(2級以上の部)

- 優勝/宮地 孟(八王子)
- 準優勝/江利川 卓磨(久 喜)

●学生高校生ルール(18才未満の部)

- 勝利者/菅原 裕登(帯 広)

●学生高校生女子の部

- 勝利者/佐藤 舞佳(日 進)

2008年入賞者 (2008.2.11)

台東リバーサイドスポーツセンター

●小学1・2年生(155未満)の部

- 優勝/酒井 克也(塩 釜)
- 準優勝/田中 駿(仙山西)
- 3 位/水越 麻斗(四日市)

●小学1・2年生(155以上)の部

- 優勝/鈴木 祐太(仙台北)
- 準優勝/藤田 泰生(四日市)

●小学1・2年生(155未満)の部

- 優勝/酒井 克也(塩 釜)
- 準優勝/田中 駿(仙山西)
- 3 位/水越 麻斗(四日市)

●小学1・2年生(155以上)の部

- 優勝/鈴木 祐太(仙台北)
- 準優勝/藤田 泰生(四日市)

●小学3・4年生(170未満)の部

- 優勝/水野 隆介(塩 釜)
- 準優勝/我妻 永望(塩 釜)
- 3 位/五十嵐 将太(塩 釜)

●小学3・4年生(170以上)の部

- 優勝/齋藤 吏(仙山西)
- 準優勝/石塚 大(木 町)
- 3 位/安富 北斗(帯 広)

●小学5・6年生(180未満)の部

- 優勝/水野 泰介(塩 釜)
- 準優勝/内藤 大樹(三河豊橋)
- 3 位/川下 義人(日 進)

●小学5・6年生(180以上195未満)の部

- 優勝/木ノ内 優樹(八王子)
- 準優勝/野口 隆史(名 張)
- 3 位/小山 宗大(仙山西)

●小学5・6年生(195以上240未満)の部

- 優勝/清水 亮汰(帯 広)
- 準優勝/阿部 拓真(塩 釜)

●小学5・6年生(240以上)の部

- 勝利者/鈴木 泰斗(仙台北)

●小学5・6年生(女子190未満)の部

- 優勝/田中 瑞樹(仙山西)
- 準優勝/遠藤 千尋(石 巻)

●小学5・6年生(女子190以上)の部

- 優勝/高橋 なるみ(塩 釜)
- 準優勝/伊藤 梓(帯 広)

●中学生女子の部

- 優勝/山内 葵(帯 広)
- 準優勝/中村 明日香(四日市)

●中学生男子(225未満)の部

- 優勝/坂田 良介(仙山西)
- 準優勝/石塚 一(日 進)
- 3 位/木村 亮介(紋 別)

●中学生男子(225以上)の部

- 優勝/小柏 祐二郎(塩 釜)
- 準優勝/村井 皇介(紋 別)
- 3 位/桜井 夢己(長 岡)

●学生基本ルール(5級以下の部)

- 優勝/勝山 聡(総本部)
- 準優勝/深澤 元貴(総本部)
- 3 位/市川 忠樹(関 西)

●学生格闘ルール(4級以上)の部

- 優勝/三木 善晴(早稲田)

●学生空道ルール(2級以上)の部

- 優勝/田中 洋輔(早稲田)

2009年入賞者 (2009.2.15)

荒川スポーツセンター

- 小学1・2年生(155未満)の部
優勝/水野 恭介(塩 釜)
準優勝/相澤 幸佑(塩 釜)
3位/山岸 蔵人(盛 岡)
4位/渡部 颯人(新 潟)
- 小学1・2年生(155以上)の部
優勝/酒井 克也(塩 釜)
準優勝/小池 彪(帯 広)
3位/岩崎 正吾(青 森)
4位/加藤 桃愛(仙台西)
- 小学3・4年生(170未満)の部
優勝/我妻 永望(塩 釜)
準優勝/酢谷 颯(仙台西)
3位/柴田 拓斗(帯 広)
4位/小野 葉嗣(塩 釜)
- 小学3・4年生(170以上)の部
優勝/小池 猛(帯 広)
準優勝/佐藤 硯人(木 町)
3位/高橋 愁(塩 釜)
4位/松田 賢(帯 広)
- 小学3・4年生女子の部
優勝/小柳 茉生(新 潟)
準優勝/伊藤 望(帯 広)
- 小学5・6年生(186未満)の部
優勝/石塚 大(木 町)
準優勝/我妻 未来(塩 釜)
3位/大泉 龍之助(木 町)
4位/渡辺 祐斗(新 潟)
- 小学5・6年生(186以上200未満)の部
優勝/倉又 由惟人(八王子)
準優勝/石橋 康輝(八王子)
3位/齋藤 唯悦(塩 釜)
4位/松岡 篤史(八王子)
- 小学5・6年生(200以上)の部
優勝/山崎 順也(紋 別)
準優勝/野口 隆史(名 張)
3位/飯坂 健巧(塩 釜)
4位/大川 翔太(帯 広)
- 小学5・6年生女子の部
優勝/大倉 萌(帯 広)
準優勝/船戸 麻衣(帯 広)
3位/千葉 有華(仙台西)
4位/伊藤 梓(帯 広)
- 中学生男子(221.5未満)の部
優勝/鈴木 勝太(塩 釜)
準優勝/清水 亮汰(帯 広)
3位/阿部 拓真(塩 釜)
4位/内藤 大樹(三河豊橋)
- 中学生男子(221.5以上)の部
優勝/小柏 祐二朗(塩 釜)
準優勝/鈴木 隼太(帯 広)
3位/内海 一希(三 沢)
- 中学生女子の部
優勝/高橋 なるみ(塩 釜)
準優勝/尾形 奈美(仙台西)
3位/塚本 ひかり(帯 広)
4位/大矢 るい(横浜北)

2010年入賞者 (2010.2.28)

中央区総合スポーツセンター

- 小学1・2年生(156未満)の部
優勝/酒井 優太(塩 釜)
準優勝/渡部 颯人(新 潟)
- 小学1・2年生(156以上)の部
優勝/入澤 知磨(帯 広)
準優勝/田中 優太朗(三 沢)
- 小学3・4年生女子の部
優勝/豊田 彩月(豊 川)
準優勝/鈴木 花香(帯 広)

- 小学3・4年生(162未満)の部
優勝/外川 丈一郎(帯 広)
準優勝/高橋 滯央(長 岡)
- 小学3・4年生(162以上174未満)の部
優勝/小池 彪(帯 広)
準優勝/酒井 克也(塩 釜)
- 小学3・4年生(174以上)の部
優勝/松田 賢(帯 広)
準優勝/鶴岡 稜梧(仙台西)
- 小学5・6年生女子の部
優勝/内田 理奈(安 城)
準優勝/長内みのり(帯 広)
- 小学5・6年生男子(185未満)の部
優勝/小池 猛(帯 広)
準優勝/小野 葉嗣(塩 釜)
- 小学5・6年生(185以上196未満)の部
優勝/石塚 大(木 町)
準優勝/山岸 壮志(新 潟)
- 小学5・6年生(196以上)の部
優勝/齋藤 吏(仙台西)
準優勝/安富 北斗(帯 広)
- 中学生女子(205未満)の部
優勝/大倉 萌(帯 広)
準優勝/船戸 麻衣(帯 広)
- 中学生女子(205以上)の部
優勝/高橋 なるみ(塩 釜)
準優勝/尾形 奈美(仙台西)
- 中学生男子(215未満)の部
優勝/内藤 大樹(三河豊橋)
準優勝/小山 宗大(仙台西)
- 中学生男子(215以上)の部
優勝/清水 亮汰(帯 広)
準優勝/山崎 順也(紋 別)

2010年全日本空道ジュニア選抜選手権大会入賞者 (2010.11.20)

国立代々木競技場第二体育館

- 小学1・2年生
優勝/酒井 優太(塩 釜)
準優勝/佐藤 秋平(新 潟)
- 小学3・4年生女子の部
優勝/加藤 桃愛(仙台西)
- 小学3・4年生男子171未満の部
優勝/水野 恭介(塩 釜)
準優勝/水越 麻斗(四日市)
- 小学3・4年生男子171以上の部
優勝/酒井 克也(塩 釜)
準優勝/岡村 州紘(佐 久)
- 小学5・6年生女子の部
優勝/小柳 茉生(新 潟)
準優勝/板橋 花菜(仙 南)
- 小学5・6年生男子184未満の部
優勝/小野 葉嗣(塩 釜)
準優勝/津村 一輝(名 張)
- 小学5・6年生男子184以上200未満の部
優勝/我妻 永望(塩 釜)
- 小学5・6年生男子200以上の部
優勝/川村 駿太(三 沢)
- 中学生女子205未満の部
優勝/大倉 萌(帯 広)
- 中学生女子205以上の部
優勝/尾形 奈美(仙台西)
- 中学生男子216未満の部
優勝/倉又由惟人(八王子)
準優勝/齋藤 唯悦(塩 釜)
- 中学生男子216以上の部
優勝/清水 亮汰(帯 広)
準優勝/佐藤 陸(仙台西)
- 高校生女子ワンマッチ
勝利者/城 侑沙(三河豊橋)
勝利者/大矢 るい(横浜北)

- 高校生男子ワンマッチ
勝利者/若杉 広夢(紋 別)
勝利者/金田 航紀(昭島大谷)
勝利者/山口 諒太(八王子)
勝利者/伊藤 新太(昭島大谷)
- 高校生女子ワンマッチ(顔面)
勝利者/山内 葵(帯 広)
- 高校生男子ワンマッチ(顔面)
勝利者/寺口 法秀(大阪南)

2011年全日本空道ジュニア選抜選手権大会入賞者 (2011.11.12)

国立代々木競技場第二体育館

- 小学1・2年生
優勝/五十嵐 鷹人(三 沢)
準優勝/佐藤 秋平(新 潟)
- 小学3・4年生女子の部
優勝/石川 眞子(日 進)
- 小学3・4年生男子171未満の部
優勝/渡辺 颯人(新 潟)
準優勝/高橋 祥基(三 沢)
- 小学3・4年生男子171以上の部
優勝/田中 優太郎(三 沢)
準優勝/酒井 優太(塩 釜)
- 小学5・6年生女子の部
優勝/近藤 優那(青森市)
準優勝/加藤 桃愛(仙台西)
- 小学5・6年生男子180未満の部
優勝/外川 丈一郎(帯 広)
準優勝/古田 海翔(三 沢)
- 小学5・6年生男子180以上190未満の部
優勝/星 優斗(仙 南)
準優勝/相澤 幸大(塩 釜)
- 小学5・6年生男子190以上199未満の部
優勝/鶴岡 稜梧(仙台西)
準優勝/酒井 克也(塩 釜)
- 小学5・6年生男子199以上の部
優勝/齋藤 悠(仙 南)
準優勝/松田 賢(帯 広)
- 中学生女子の部
優勝/伊藤 梓(帯 広)
準優勝/大倉 萌(帯 広)
- 中学生男子229未満の部
優勝/安富 北斗(帯 広)
準優勝/川下 義人(日 進)
- 中学生男子229以上の部
優勝/山崎 順也(紋 別)
準優勝/岩崎 大河(新 潟)
- 高校生女子の部
勝利者/城 侑沙(三河豊橋)
- 高校生男子の部
優勝/金田 航紀(昭島大谷)
準優勝/鈴木 隼太(帯 広)

2012年全日本空道ジュニア選抜選手権大会入賞者 (2012.11.10)

国立代々木競技場第二体育館

- U9男女混合(27Kg未満)
優勝/星野 流名(豊 川)
準優勝/中村 翼(帯 広)
- U9男子(27Kg以上)
優勝/中村 一粋(帯 広)
- U11女子
優勝/高橋 真綾(三 沢)
準優勝/赤間 亮太(多賀城)
準優勝/小野寺 稜太(帯 広)
- U11男子(30Kg以上34Kg未満)
優勝/五十嵐 鷹人(三 沢)
- U11男子(34Kg以上)
優勝/酒井 優太(塩 釜)
準優勝/谷藤 光(仙台西)

- U13女子
優勝/鹿内 愛美(青森市)
準優勝/高橋 未帆(八王子)
- U13男子(40Kg未満)
優勝/外川 丈一郎(帯 広)
準優勝/古田 海翔(三 沢)
- U13男子(40Kg以上48Kg未満)
優勝/酒井 克也(塩 釜)
準優勝/栗田 宙人(仙台西)
- U13男子(48Kg以上)
優勝/佐藤 遥斗(新 潟)
- U16女子(50Kg未満)
優勝/岩月 美加子(青森市)
準優勝/伊藤 望(帯 広)
- U16女子(50Kg以上)
優勝/大倉 萌(帯 広)
準優勝/船戸 麻衣(帯 広)
- U16男子(51Kg未満)
優勝/我妻 永望(塩 釜)
- U16男子(51Kg以上)
優勝/岩崎 大河(新 潟)
準優勝/吉澤 鴻志(横浜北)
- U19女子
優勝/伊藤 梓(帯 広)
- U19男子(-240)
優勝/鈴木 勝太(塩 釜)
- U19男子(240+)
優勝/金田 航紀(昭島大谷)
準優勝/清水 亮汰(帯 広)

2013年全日本空道ジュニア選抜選手権大会入賞者 (2013.11.16)

国立代々木競技場第二体育館

- U9男女混合(27Kg未満)
優勝/坂本 琥珀(登 米)
準優勝/伊藤 咲哉(仙台西)
- U9男女混合(27Kg以上37Kg未満)
優勝/酒井 晃希(塩 釜)
- U10女子(30Kg未満)
勝利者/小野寺 玲奈(帯 広)
- U10・U11女子(44Kg未満)
勝利者/高橋 真綾(三 沢)
- U10男子(30Kg未満)
優勝/中村 翼(帯 広)
準優勝/佐々木 龍希(小 樽)
- U10男子(30Kg以上40Kg未満)
優勝/小野崎 優(仙台東)
- U11女子(34Kg未満)
優勝/赤塚 央幸(四日市)
- U11男子(34Kg未満)
優勝/赤間 亮太(多賀城)
準優勝/佐藤 秋平(新 潟)
- U11男子(34Kg以上44Kg未満)
優勝/五十嵐 鷹人(三 沢)
準優勝/藤澤 新(帯 広)
- U12女子(38Kg未満)
優勝/中村 粒里花(帯 広)
- U12女子(38Kg以上48Kg未満)
勝利者/菅野 奏羽(仙台東)
- U12男子(38Kg未満)
優勝/柳原 幸之助(四日市)
- U12男子(38Kg以上48Kg未満)
優勝/酒井 優太(塩 釜)
- U13女子(44Kg未満)
勝利者/亀田 桜子(三 沢)
- U13女子(44Kg以上54Kg未満)
勝利者/鹿内 愛美(青森市)
- U13男子(44Kg未満)
優勝/田中 優太朗(三 沢)
準優勝/高野 周諭(長 岡)

- U13男子(44Kg以上54Kg未満)
 - 優勝/齊藤 翔平(三 沢)
 - 準優勝/中川 健吾(帯 広)
- U16女子(45Kg未満)
 - 優勝/伊藤 望(帯 広)
- U16女子(45Kg以上55Kg未満)
 - 優勝/千葉 有華(仙台西)
- U16女子(55Kg以上)
 - 優勝/小柳 茉生(新 潟)
- U16男子(50Kg未満)
 - 優勝/酒井 克也(塩 釜)
 - 準優勝/小野 葉嗣(塩 釜)
- U16男子(50Kg以上60Kg未満)
 - 優勝/菊地 逸斗(仙 南)
- U16男子(60Kg以上70Kg未満)
 - 優勝/松田 賢(帯 広)
 - 準優勝/吉澤 鴻志(横浜北)
- U16男子(70Kg以上)
 - 優勝/鈴木 勇也(新 潟)
- U19女子
 - 優勝/今野 杏夏(多賀城)
- U19男子(240)
 - 優勝/川下 義人(豊田大谷)
- U19男子(240+)
 - 優勝/清水 亮汰(帯 広)

2014年全日本空道ジュニア選抜選手権大会入賞者 (2014.5.10)
仙台市青葉体育館

- U13女子(42Kg未満)
 - 優勝/中村 粋里花(帯 広)
 - 準優勝/吉村 愛梨鈴(三 沢)
- U13男子(42Kg未満)
 - 優勝/遠藤 春翔(塩 釜)
 - 準優勝/榊原 幸之助(四日市)
- U13男子(42Kg以上52Kg未満)
 - 優勝/酒井 優太(塩 釜)
- U16女子(43Kg未満)
 - 優勝/高橋 菜月(塩 釜)
- U16女子(43Kg以上53Kg未満)
 - 勝利者/武石 夏(新 潟)
- U16女子(53Kg以上63Kg未満)
 - 勝利者/小高 奈緒(江 東)
- U16男子(48Kg未満)
 - 優勝/齊藤 翔平(三 沢)
 - 準優勝/古田 海翔(三 沢)
- U16男子(48Kg以上58Kg未満)
 - 優勝/曾山 遼太(岸和田)
 - 準優勝/柴田 拓斗(帯 広)
- U16男子(58Kg以上68Kg未満)
 - 優勝/齋藤 悠(仙 南)
 - 準優勝/鶴岡 稜梧(仙台西)
- U19女子(215未満)
 - 優勝/大倉 萌(帯 広)
 - 準優勝/城 実里(三河豊橋)
- U19男子(230以上240未満)
 - 優勝/川下 義人(豊田大谷)
 - 準優勝/伊東 宗志(日 進)

2014年第1回世界空道ジュニア選手権大会入賞者 (2014.11.15,16)
国立代々木競技場第二体育館

- U13 F-42
 - 勝利者/中村 粋里花(大道塾帯広)
- U13 F-52
 - 勝利者/菅野 奏羽(大道塾仙台東)
- U13 M-42
 - 優勝/遠藤 春翔(大道塾塩釜)
 - 準優勝/ヴァイマ・マクトゥン(アルメニア)
- U13 M-52
 - 優勝/酒井 優太(大道塾塩釜)
 - 準優勝/ミルテッシュ・ヴァルグヤン(アルメニア)

- U16 F-43
 - 勝利者/高橋 菜月(大道塾塩釜)
- U16 F-53
 - 勝利者/武石 夏(大道塾新潟)
- U16 F-63
 - 勝利者/小高 奈緒(大道塾江東)
- U16 M-48
 - 優勝/齊藤 翔平(大道塾三沢)
 - 準優勝/セル・グジュネフスキー(ウクライナ)
- U16 M-58
 - 優勝/曾山 遼太(大道塾岸和田)
- U16 M-68
 - 優勝/齋藤 悠(大道塾仙南)
- U19 F-215
 - 勝利者/大倉 萌(大道塾帯広)
- U19 F-225
 - 勝利者/アレクサンドラ・サビテヴァ(ロシア)
- U19 F-235
 - 勝利者/今野 杏夏(大道塾多賀城)
- U19 M-220
 - 優勝/グラティミル・ミロシュコフ(ロシア)
- U19 M-230
 - 優勝/アレクサンダー・アルカティエフ(ロシア)
- U19 M-240
 - 優勝/ジョージ・ポロディー(ロシア)
 - 準優勝/川下 義人(大道塾豊田大谷)
- U19 M-250
 - 優勝/アンドレイ・チェルノブ(ロシア)
- U19 M-260
 - 優勝/イワン・シュベト(ロシア)
- U19 M-270
 - 優勝/アルテム・タラクチャヤン(アルメニア)
- U19 M270+
- 勝利者/オスカー・ロバス・トベラ(スペイン)

2015年全日本空道ジュニア選抜選手権大会入賞者 (2015.11.14)
国立代々木競技場第二体育館

- U11女子(34Kg未満)
 - 優勝/末藤 寧々(北河内)
- U11男子(34Kg未満)
 - 優勝/坂本 琥珀(塩 釜)
 - 準優勝/千葉 權己(登 米)
 - 3 位/遠藤 将瑛(仙台西)
- U11男子(34Kg以上44Kg未満)
 - 優勝/吉田 優太(帯 広)
- U13女子(44Kg未満)
 - 優勝/赤塚 央幸(四日市)
- U13女子(44Kg以上54Kg未満)
 - 優勝/高橋 真綾(三 沢)
- U13男子(44Kg未満)
 - 優勝/小野 空雅(塩 釜)
 - 準優勝/藤澤 新(帯 広)
 - 3 位/山本 来偉(長 岡)
 - 4 位/今井 健太郎(四日市)
- U13男子(44Kg以上54Kg未満)
 - 優勝/五十嵐 鷹人(三 沢)
 - 準優勝/赤間 亮太(多賀城)
- U13男子(54Kg以上64Kg未満)
 - 勝利者/藤川 興昌(吉祥寺)
- U16女子(45Kg未満)
 - 勝利者/吉村 愛梨鈴(三 沢)
- U16女子(45Kg以上55Kg未満)
 - 優勝/中村 粋里花(帯 広)
- U16女子(55Kg以上65Kg未満)
 - 優勝/末永 あゆ(石 巻)
- U16男子(50Kg未満)
 - 優勝/榊原 幸之助(四日市)
 - 準優勝/中川 昇龍(岸和田)
- U16男子(50Kg以上60Kg未満)
 - 優勝/酒井 克也(塩 釜)
 - 準優勝/酒井 優太(塩 釜)
 - 3 位/赤間 優太(多賀城)

- U16男子(60Kg以上70Kg未満) ワンマッチ
 - 勝利者/江上 遼太郎(三 沢)
- U16男子(70Kg以上) ワンマッチ
 - 勝利者/國分 凱斗(仙台西)
- U19女子(体力指数215未満) ワンマッチ
 - 勝利者/小柳 茉生(新 潟)
- U19男子(体力指数220未満) ワンマッチ
 - 勝利者/田中 大貴(名 張)
- U19男子(体力指数220以上230未満)
 - 優勝/曾山 遼太(岸和田)
- U19男子(体力指数230以上240未満)
 - 優勝/菊地 逸斗(仙 南)
- U19男子(体力指数250以上260未満) ワンマッチ
 - 勝利者/斎藤 諒太(横須賀)
- U19男子(体力指数260以上)
 - 優勝/鈴木 勇也(新 潟)

2016年全日本空道ジュニア選抜選手権大会入賞者 (2016.11.12)
国立代々木競技場第二体育館

- U11女子(34Kg未満)
 - 優勝/相内 春花(青森市)
- U11女子(34Kg以上44Kg未満)
 - 優勝/神 舞優(青森市)
- U11男子(34Kg未満)
 - 優勝/鈴木 廉(四日市)
 - 準優勝/福本 章人(帯 広)
- U11男子(34Kg以上44Kg未満)
 - 優勝/酒井 晃希(塩 釜)
 - 準優勝/今村 将崇(総本部)
- U13女子(44Kg未満)
 - 優勝/小野寺 玲奈(帯 広)
 - 準優勝/星野 流名(豊 川)
- U13女子(44Kg以上54Kg未満)
 - 優勝/小泉 穂乃華(帯 広)
- U13男子(44Kg未満)
 - 優勝/吉田 優太(帯 広)
 - 準優勝/佐々木 龍希(小 樽)
 - 第3位/曾山 隆聖(岸和田)
- U13男子(44Kg以上54Kg未満)
 - 優勝/廣庭 皓太(吉祥寺)
 - 準優勝/村上 信哉(朝 倉)
- U13男子(54Kg以上64Kg未満) ワンマッチ
 - 勝利者/山田 栄一(帯 広)
- U16女子(45Kg未満) ワンマッチ
 - 勝利者/中山 七海(長久手)
- U16女子(45Kg以上55Kg未満)
 - 優勝/高橋 真綾(三 沢)
 - 準優勝/新井 ひなの(石 巻)
- U16女子(55Kg以上65Kg未満)
 - 優勝/渡辺 アリアナ(仙 南)
- U16男子(50Kg未満)
 - 優勝/遠藤 春翔(塩 釜)
 - 準優勝/赤間 亮太(多賀城)
- U16男子(50Kg以上60Kg未満)
 - 優勝/酒井 優太(塩 釜)
 - 準優勝/榊原 幸之助(四日市)
- U16男子(60Kg以上70Kg未満)
 - 優勝/曾山 智輝(岸和田)
 - 準優勝/榎並 耕平(西 尾)
- U16男子(70Kg以上80Kg未満)
 - 優勝/江上 遼太郎(三 沢)
- U19女子(体力指数215未満)
 - 優勝/小柳 茉生(新 潟)
- U19男子(体力指数220未満) ワンマッチ
 - 勝利者/田中 大貴(名 張)
- U19男子(体力指数220以上230未満)
 - 優勝/古館 公平(総本部)
- U19男子(体力指数230以上240未満)
 - 優勝/曾山 遼太(岸和田)
- U19男子(体力指数250以上260未満) ワンマッチ
 - 勝利者/本郷 善大(多賀城)

2017年全日本空道ジュニア選抜選手権大会入賞者 (2017.11.12)
仙台市青葉体育館

- U11女子 34Kg以下
 - 優勝/間瀬 心桜(三 沢)
 - 準優勝/遠藤 すず(石 巻)
- U11女子 44Kg以下
 - 優勝/加藤 咲希(新 潟)
- U11男子 34Kg以下
 - 優勝/星 空我(仙 南)
 - 準優勝/奥山 海晴(岸和田)
- U11男子 44Kg以下
 - 優勝/熊谷 慈英(仙 南)
- U13女子 44Kg以下
 - 優勝/稲垣 琴愛(四日市)
- U13女子 54Kg以下
 - 優勝/江上 礼華(三 沢)
- U13男子 44Kg以下
 - 優勝/駒形 祐磨(帯 広)
 - 準優勝/遠藤 将瑛(仙台西)
- U13男子 54Kg以下
 - 優勝/吉田 優太(帯 広)
- U13男子 64Kg以下 ワンマッチ
 - 勝利者/水流 蒼太(筑紫野)
- U16女子 45Kg以下
 - 優勝/小野寺 玲奈(帯 広)
 - 準優勝/小川さくら(帯 広)
- U16女子 55Kg以下
 - 優勝/中村 粋里花(帯 広)
- U16女子 65Kg以下
 - 優勝/小泉 穂乃華(帯 広)
- U16男子 50Kg以下
 - 優勝/齋藤 聖嗣(仙 南)
 - 準優勝/佐々木龍希(小 樽)
- U16男子 60Kg以下
 - 優勝/遠藤 春翔(塩 釜)
 - 準優勝/榊原 幸之助(四日市)
- U16男子 70Kg以下
 - 優勝/酒井 優太(塩 釜)
 - 準優勝/小野寺 稜太(帯 広)
- U16男子 90Kg以下 ワンマッチ
 - 勝利者/江上 遼太郎(三 沢)
- U19女子 215以下
 - 優勝/小西 里玖(長久手)
- U19女子 225以下 ワンマッチ
 - 勝利者/木戸 菜琳(豊田大谷)
- U19男子 230以下
 - 優勝/古館 公平(総本部)
- U19男子 240以下 ワンマッチ
 - 勝利者/曾山 遼太(岸和田)
- U19男子 250以下 ワンマッチ
 - 勝利者/曾山 智輝(岸和田)

2018年全日本空道ジュニア選抜選手権大会入賞者 (2018.5.12)
仙台市青葉体育館

- U13女子(42Kg以下)
 - 優勝/相内 春花(青 森)
 - 準優勝/佐藤 日和(登 米)
- U13女子(52Kg以下)
 - 優勝/神 舞優(青 森)
- U13男子(42Kg以下)
 - 優勝/鈴木 廉(四日市)
- U13男子(52Kg以下)
 - 優勝/酒井 晃希(塩 釜)
 - 準優勝/本田 亮太(叙 別)
- U16女子(43Kg以下)
 - 優勝/稲垣 琴愛(四日市)
- U16女子(53Kg以下)
 - 優勝/小野寺 玲奈(帯 広)
 - 準優勝/高橋 真綾(三 沢)

- U16女子(63Kg以下 ワンマッチ)
勝者/小泉 穂乃華(帯 広)
- U16男子(48Kg以下)
優 勝/今井 健太郎(四日市)
準優勝/坂本 琥珀(塩 釜)
- U16男子(58Kg以下)
優 勝/吉田 優太(帯 広)
準優勝/齋藤 聖覇(仙 南)
- U16男子(68Kg以下)
優 勝/今井 健太郎(陸(朝 倉))
準優勝/末藤 海瑛(岸和田)
- U19女子(215以下)
優 勝/中村 粋里花(帯 広)
- U19女子(225以下 ワンマッチ)
勝者/末永 あゆ(石 巻)
- U19男子(230以下)
優 勝/遠藤 春翔(塩 釜)
- U19男子(240以下)
優 勝/酒井 優太(塩 釜)
準優勝/小野寺 稜太(帯 広)
- U19男子(250以下 ワンマッチ)
勝者/曾山 智輝(岸和田)
- U19男子(270超 ワンマッチ)
勝者/江上 遼太郎(三 沢)

2018年 第2回世界空道ジュニア選手権大会入賞者 (2018.12.1,2)

愛知県体育館

- U13 F-42
勝者/相内 春花(大道塾青森)
- U13 F-52
勝者/神 舞優(大道塾青森)
- U13 M-42
優 勝/鈴木 廉(大道塾四日市)
準優勝/アルセン・アヴェチヤン(ロシア)
- U13 M-52
優 勝/酒井 晃希(大道塾塩釜)
- U16 F-43
優 勝/稲垣 琴愛(大道塾四日市)
- U16 F-53
勝者/小野寺 玲奈(大道塾帯広)
- U16 F-63
優 勝/アングリナ・スタロベロヴァ(ロシア)
- U16 M-48
優 勝/今井 健太郎(大道塾四日市)
準優勝/チムル・ボルコフ(ロシア)
- U16 M-58
優 勝/バティム・ルキナノフ(ロシア)
準優勝/吉田 優太(大道塾帯広)
- U16 M-68
優 勝/デニス・ズボフ(ロシア)
準優勝/鶴田 陸(大道塾朝倉)
- U19 F-215
優 勝/ビクトリア・ノスコバ(ロシア)
- U19 F-225
優 勝/イアナ・マレバヌヤ(ロシア)
- U19 F-235
優 勝/ケセニア・ヤコベンコ(ロシア)
- U19 M-220
優 勝/エルピン・カザノフ(ロシア)
- U19 M-230
優 勝/エフゲニー・ノビコフ(ロシア)
- U19 M-240
優 勝/ダニル・マコゴノフ(ロシア)
準優勝/アレクサンドル・ソボフ(ロシア)
- U19 M-250
優 勝/曾山 智輝(大道塾岸和田)
準優勝/デミアン・ブンドザ(ウクライナ)
- U19 M-260
優 勝/ダニル・ダニロフ(ロシア)
- U19 M-270
勝者/コンスタンチン・イワノフ(ロシア)
- U19 M270+
勝者/ミハイル・スツョノフ(ロシア)

2019年 全日本空道ジュニア選手権大会入賞者 (2019.11.9)

愛知県武道館

- U11女子(34kg以下)
優 勝/日野 光彩(帯 広)
- U11女子(44kg以下)
優 勝/長谷川 愛生(長 岡)
- U11男子(34kg以下)
優 勝/坂本 天音(塩 釜)
準優勝/佐藤 烈翔(帯 広)
- U11男子(44kg以下)
優 勝/遠藤 誠也(仙山西)
- U13女子(44kg以下)
優 勝/五十嵐 心桜(三 沢)
準優勝/永橋 心樹(長 岡)
- U13女子(54kg以下)
勝者/千代谷 遙佳(青森市)
- U13男子(44kg以下)
優 勝/篠原 虎汰朗(帯 広)
準優勝/小牧 快十(四日市)
- U13男子(54kg以下)
優 勝/齋藤 太一(仙 南)
- U13男子(64kg以下)
勝者/増田 悠人(筑紫野)
- U16女子(45kg以下)
優 勝/小川 さくら(帯 広)
準優勝/相内 春花(青森市)
- U16女子(55kg以下)
優 勝/小野寺 玲奈(帯 広)
- U16女子(65kg以下)
優 勝/高橋 諭禾(仙 南)
- U16男子(50kg以下)
優 勝/加藤 遼己(木 町)
準優勝/延命 恭芽(帯 広)
- U16男子(60kg以下)
優 勝/川崎 秀彪(仙台東)
準優勝/佐々木 龍希(小 樽)
- U16男子(70kg以下)
優 勝/廣庭 皓太(吉祥寺)
準優勝/小椋 海人(豊田大谷)
- U19女子(215以下)
優 勝/中村 粋里花(帯 広)
- U19女子(225以下)
勝者/岩月 彩音(豊田大谷)
- U19男子(220以下)
勝者/山田 凌雅(仙台東)
- U19男子(230以下)
優 勝/中川 昇龍(岸和田)
準優勝/佐々木 豊樹(帯 広)
- U19男子(240以下)
優 勝/酒井 優太(塩 釜)
- U19男子(250以下)
勝者/小野寺 稜太(帯 広)
- U19男子(260以下)
勝者/田中 衆太(西 尾)
- U19男子(270超)
勝者/江上 遼太郎(三 沢)

2021年 全日本空道ジュニア選手権大会入賞者 (2021.5.9)

おいちせ町民交流センターアリーナ

- U11女子(34kg以下)ワンマッチ
勝者/法両 莉希(三 沢)
- U11男子(34kg以下)
優 勝/安達 翔(塩 釜)
準優勝/山本 大氣(盛 岡)
- U11男子(44kg以下)ワンマッチ
勝者/門馬 冨賢(帯 広)
- U13女子(44kg以下)
優 勝/槻田 ゆい(塩 釜)
準優勝/日野 光彩(帯 広)
- U13女子(54kg以下)
優 勝/法両 天夢(三 沢)

- U13男子(44kg以下)
優 勝/飛澤 周希(盛 岡)
準優勝/片桐 憧歩(仙山西)
- U13男子(54kg以下)
優 勝/相原 琉唯斗(仙 南)
- U16女子(45kg以下)
優 勝/五十嵐 心桜(三 沢)
準優勝/飛澤 乃希(盛 岡)
- U16女子(55kg以下)
優 勝/相内 春花(青 森)
- U16女子(65kg以下)ワンマッチ
勝者/高橋 諭禾(仙 南)
- U16男子(50kg以下)
優 勝/星 空我(仙 南)
- U16男子(60kg以下)
優 勝/駒形 祐磨(帯 広)
準優勝/渋田 大斗(塩 釜)
- U16男子(70kg以下)
優 勝/鶴田 響輝(朝 倉)
- U19男子(220以下)ワンマッチ
勝者/山田 凌雅(仙台東)
- U19男子(230以下)
優 勝/佐々木 龍希(小 樽)
- U19男子(240以下)
優 勝/鶴田 陸(朝 倉)

2022年 全日本空道ジュニア選手権大会入賞者 (2022.4.3)

愛知県武道館

- U11女子(34kg以下)
優 勝/奥山 晴琉(岸和田)
- U11女子(44kg以下)
勝者/春本 侑里(日 進)
- U11男子(34kg以下)
優 勝/多治川 統将(名 張)
準優勝/瀧田 隼汰(総本部)
- U11男子(44kg以下)
勝者/佐藤 蓮太(仙山西)
- U12女子(42kg以下)
優 勝/吉羽 理美(総本部)
- U12男子(42kg以下)
優 勝/亀田 空(総本部)
準優勝/高橋 廉(小 樽)
- U12男子(52kg以下)
優 勝/大原 佑月(西 尾)
- U13女子(42kg以下)
優 勝/日野 光彩(帯 広)
- U13女子(52kg以下)
優 勝/長谷川 愛生(長 岡)
- U13男子(42kg以下)
優 勝/坂本 天音(塩 釜)
準優勝/五十嵐 拓心(三 沢)
- U13男子(52kg以下)
優 勝/疋良 偉覇(三 沢)
準優勝/飛澤 周希(盛 岡)
- U16女子(43kg以下)
優 勝/五十嵐 心桜(三 沢)
- U16女子(53kg以下)
優 勝/槻田 ゆい(木 町)
- U16女子(63kg以下)
勝者/由利 弥琴(仙山西)
- U16男子(48kg以下)
優 勝/中村 紀良(帯 広)
準優勝/青木 秀真(総本部)
- U16男子(58kg以下)
優 勝/奥山 海晴(岸和田)
準優勝/今村 将崇(総本部)
- U16男子(68kg以下)
優 勝/熊谷 慈英(仙 南)
準優勝/佐々木 翼(長 岡)
- U16男子(78kg以下)
優 勝/関 星斗(仙山西)
- U19女子(215以下)
優 勝/小野寺 玲奈(帯 広)

- U19女子(225以下)
勝者/高橋 京香(青 森)
- U19男子(220以下)
優 勝/棚木 斗維(西 尾)
- U19男子(230以下)
優 勝/佐々木 龍希(小 樽)
準優勝/加藤 遼己(木 町)
- U19男子(240以下)
優 勝/佐々木 惣一朗(仙台東)
準優勝/鶴田 陸(朝 倉)
- U19男子(250以下)
勝者/赤塚 丞一郎(長 岡)
- U19男子(260以下)
優 勝/田中 衆太(西 尾)

2022年 秋期全日本空道ジュニア選手権大会入賞者 (2022.11.13)

カメイアリーナ仙台

- U11女子(34kg以下)
優 勝/千葉 紗空(登 米)
準優勝/相内 結衣(青 森)
- U11女子(44kg以下)
勝者/植 らめる(岸和田)
- U11男子(34kg以下)
優 勝/内藤 雄星(新宿西)
準優勝/檜野 岳(仙台東)
- U11男子(44kg以下)
優 勝/平山 瑛人(多賀城)
準優勝/三浦 泉海(仙山西)
- U12女子(42kg以下)
優 勝/相内 美希(青 森)
- U12女子(52kg以下)
優 勝/春本 侑里(日 進)
- U12男子(42kg以下)
優 勝/佐藤 蓮太(仙山西)
準優勝/瀧田 隼汰(総本部)
- U12男子(52kg以下)
優 勝/村山 陽音(仙山西)
- U13女子(42kg以下)
優 勝/廣田 舞央(弘 前)
- U13女子(52kg以下)
優 勝/菊地 菜々乃(仙台東)
- U13男子(42kg以下)
優 勝/亀田 空(総本部)
準優勝/島橋 陽也(多賀城)
- U13男子(52kg以下)
優 勝/鈴木 奏多(仙山西)
準優勝/佐藤 大戦(総本部)
- U16女子(43kg以下)
優 勝/五十嵐 心桜(三 沢)
- U16女子(53kg以下)
優 勝/槻田 ゆい(木 町)
- U16男子(48kg以下)
優 勝/坂本 天音(塩 釜)
- U16男子(58kg以下)
優 勝/相原 琉唯斗(仙 南)
準優勝/飛澤 周希(盛 岡)
- U16男子(68kg以下)
優 勝/熊谷 慈英(仙 南)
準優勝/佐藤 歩(仙山西)
- U19女子(215以下)
優 勝/相内 春花(青森市)
- U19男子(230以下)
優 勝/曾山 聖聖(岸和田)
- U19男子(240以下)
優 勝/佐々木惣一朗(仙台東)
準優勝/佐々木 翼(長 岡)
- U19男子(250以下)
勝者/佐藤 裕太(横浜北)
- 平塚賞
優 勝/槻田 ゆい(木 町)

2023年第3回世界空道ジュニア
選手権大会入賞者 (2023.5.13,14)

国立代々木競技場第二体育館

- U13女子(42kg以下)
優勝/廣田 舞央(弘 前)
準優勝/原田 隼矢(仙台東)
- U13女子(52kg以下)
優勝/菊地 奈々乃(仙台東)
準優勝/ミラナ・マニロバ(マルタ)
- U13男子(42kg以下)
優勝/亀田 空(総本部)
準優勝/島橋 陽也(多賀城)
3位/ティミトリ・ペラヤ(ジョージア)
- U13男子(52kg以下)
優勝/佐藤 大峨(総本部)
準優勝/鈴木 奏多(仙台北)
- U16女子(43kg以下)
優勝/五十嵐 心桜(三 沢)
準優勝/横山 香織(総本部)
- U16女子(53kg以下)
優勝/槻田 ゆい(木 町)
準優勝/マリナム・ナナバ(ジョージア)
3位/カリナ・コンコバ(カザフスタン)
- U16女子(63kg以下)
優勝/由利 弥琴(仙台北)
準優勝/スコロ・アブドゥカミドヴァ(マルタ)
- U16男子(48kg以下)
優勝/中山 涼雅(帯 広)
準優勝/坂本 天音(塩 釜)
3位/ドミニク・アルチュレッタ(USA)
- U16男子(58kg以下)
優勝/相原 琉唯斗(仙 南)
準優勝/飛澤 周希(盛 岡)
3位/ラティ・シュルガイア(ジョージア)
4位/ハコビヤン・ダニエル(アルメニア)
- U16男子(68kg以下)
優勝/佐藤 歩(仙台北)
準優勝/ニカ・ペラヤ(ジョージア)
3位/熊谷 慈英(仙 南)
4位/ニチク・マズルチェヴィッチ(マルタ)
- U16男子(88kg以下)
優勝/サバ・マカカリア(ジョージア)
- U16男子(88kg超)
優勝/ノブス・マルテビウス(リトアニア)
- U19女子(215以下)
優勝/セヴィニ・モグスムザア(アゼルバイジャン)
準優勝/マリナ・ナタリア・ガサロフ(マルタ)
- U19女子(235以下)
優勝/高橋 京香(青 森)
準優勝/アーニャ・サーニ(インド)
- U19男子(220以下)
優勝/柵木 来斗(西 尾)
- U19男子(230以下)
優勝/レナート・アウトフ(カザフスタン)
準優勝/加藤 遼己(木 町)
3位/曾山 隆聖(岸和田)
- U19男子(240以下)
優勝/ナンバンティアン・ゴル(アルメニア)
準優勝/ウラジスラフ・グレビッチ(カザフスタン)
3位/ヌルスタン・パティルベコフ(キルギスタン)
4位/佐々木 翼(長 岡)
- U19男子(250以下)
優勝/ウルマツベク・ウル・リナト(キルギスタン)
準優勝/佐藤 裕太(横浜北)
- U19男子(260以下)
優勝/セドラク・カラベチアン(ジョージア)
準優勝/キーガン・メネセス(インド)
- U19男子(270以下)
優勝/イーサン・インズワース(USA)

2023年全日本空道ジュニア
選手権大会入賞者 (2023.11.19)

カメイアリーナ仙台

- U11女子(34Kg以下)
優勝/伊藤 沙優(登 米)
準優勝/粥川 ちよこ(日 進)
- U11女子(44Kg以下)
優勝/関 夢月(仙台北)
- U11男子(34Kg以下)
優勝/平田 洋介(多賀城)
準優勝/臼井 竣哉(筑紫野南)
- U11男子(44Kg以上)
優勝/西岡 真道(帯 広)
準優勝/平山 昊(筑紫野南)
- U11男子(54Kg以上)
優勝/佐久間 晴空(新 潟)
- U13女子(44Kg以下)
優勝/相内 美希(青 森)
準優勝/奥山 晴琉(岸和田)
3位/小林 美羽子(帯 広)
4位/木藤 芳菜(帯 広)
- U13女子(54Kg以下)
優勝/春本 侑里(日 進)
準優勝/齋藤 有紗(仙台北)
- U13男子(44Kg以下)
優勝/滝田 隼汰(総本部)
準優勝/平山 瑛人(多賀城)
3位/大越 栄吉(多賀城)
4位/三浦 泉海(仙台北)
- U13男子(54Kg以下)
優勝/佐藤 蓮太(仙台北)
準優勝/金内 綾大(小 樽)
- U13男子(68Kg以下)
優勝/森田 統二郎(札幌南)
準優勝/村山 陽音(仙台北)
- U16女子(45Kg以下)
優勝/佐々木 日向(仙台東)
準優勝/荒木 あかり(筑紫野)
- U16女子(55Kg以下)
優勝/長谷川 愛生(長 岡)
準優勝/法両 天夢(三 沢)
- U16男子(50Kg以下)
優勝/洪田 啓斗(木 町)
準優勝/柴尾 緯昊(小 樽)
3位/亀田 康(総本部)
4位/高橋 廉(小 樽)
- U16男子(60Kg以下)
優勝/相原 琉唯斗(仙 南)
準優勝/飛澤 周希(盛 岡)
3位/木藤 真阿(帯 広)
4位/大原 佑月(西 尾)
- U16男子(70Kg以下)
優勝/柴尾 頼芽(小 樽)
準優勝/吉村 隼之介(三 沢)
- U16男子(80Kg以下)
優勝/櫻澤 悠(湘 南)
- U19女子(215以下)
優勝/遠藤 すず(石 巻)
準優勝/相内 春花(青 森)
- U19男子(220以下)
優勝/柵木 来斗(西 尾)
- U19男子(230以下)
優勝/西條 萩斗(多賀城)
- U19男子(240以下)
優勝/林 凌聖(佐 久)
準優勝/佐藤 歩(仙台北)
- U19男子(250以下)
優勝/熊谷 慈英(仙 南)
準優勝/西村 孔志(岸和田)
- U19男子(270以下)
優勝/見目 ラズワン(栃木南)

2024年全日本空道ジュニア
選手権大会入賞者 (2024.11.3)

国立代々木競技場第二体育館

- U11女子(32Kg以下)
優勝/田中 桜惟(筑紫野南)
準優勝/伊東 紗衣(多賀城)
- U11女子(42Kg以下)
優勝/東 優季奈(筑紫野南)
- U11男子(32Kg以下)
優勝/鶴谷 匠海(総本部)
準優勝/村上 篤秀(仙 南)
3位/平林 已知(総本部)
4位/柴垣 凜空(四日市)
- U11男子(42Kg以上)
優勝/平山 遥人(多賀城)
準優勝/村上 幸太郎(長久手)
3位/東 凜朔(岸和田)
- U11男子(42Kg超)
優勝/古田 凜太郎(三 沢)
準優勝/山本 泰士(四日市)
- U12女子(37Kg以下)
優勝/神尾 莉穂(木 町)
準優勝/伊藤 沙優(朝 倉)
- U12女子(47Kg以下)
優勝/島橋 紗良(多賀城)
準優勝/関 夢月(仙台北)
- U12女子(47Kg超)
優勝/栗山 皐(筑紫野南)
- U12男子(37Kg以下)
優勝/平田 洋介(多賀城)
準優勝/臼井 竣哉(筑紫野南)
3位/中西 太一(四日市)
3位/千葉 啓太(登 米)
- U12男子(47Kg以下)
優勝/西岡 真道(帯 広)
準優勝/飯坂 瑛太(仙台北)
3位/平山 昊(筑紫野南)
3位/新山 碧己(仙台北)
- U12男子(47Kg超)
優勝/佐久間 晴空(新 潟)
- U13女子(42Kg以下)
優勝/相内 結衣(青 森)
準優勝/後藤 花(登 米)
3位/濱野 菜(帯 広)
- U13女子(52Kg以下)
優勝/千葉 莉緒(登 米)
準優勝/楯 らめる(岸和田)
- U13男子(42Kg以下)
優勝/時田 琉久(三 沢)
準優勝/角田 章圭(仙台北)
3位/槍野 岳(仙台東)
3位/相原 湧空斗(仙 南)
- U13男子(52Kg以下)
優勝/又木 道夫(帯 広)
準優勝/小川 武流(四日市)
3位/平野 空(筑紫野)
- U13男子(52Kg超)
優勝/大越 栄吉(多賀城)
準優勝/弓矢 晃楓(岸和田)
- U16女子(43kg以下)
優勝/相内 美希(青 森)
- U16女子(53kg以下)
優勝/長谷川 愛生(長 岡)
準優勝/平山 遥人(多賀城)
3位/松江 侑司朗(筑紫野)
3位/坂從 太一(新宿西)
- U16女子(63kg超)
優勝/岸上 姫乃(岸和田)
- U16男子(48kg以下)
優勝/島橋 陽也(多賀城)
準優勝/齊藤 篤向(紋 別)
3位/鶴田 愛翔(仙台北)
4位/藤代 天(長 岡)

- U16男子(58kg以下)
優勝/飛澤 周希(盛 岡)
準優勝/木藤 真阿(帯 広)
3位/佐藤 大峨(総本部)
3位/佐藤 蓮太(仙台北)
- U16男子(68kg以下)
優勝/七久保 蓮(総本部)
準優勝/柴尾 緯昊(小 樽)
3位/工藤 皓亮(帯 広)
4位/門馬 賢賢(帯 広)
- U19女子(215以下)
優勝/西田 美玖莉(豊田大谷)
準優勝/相内 春花(青 森)
- U19女子(225以下)
優勝/海発 千洋(新 潟)
- U19男子(220以下)
優勝/青木 秀真(総本部)
準優勝/柵木 来斗(西 尾)
- U19男子(230以下)
優勝/早瀬 敢汰(横須賀)
準優勝/小野 真斗(多賀城)
- U19男子(240以下)
優勝/相原 琉唯斗(仙 南)
準優勝/佐々木 翼(高 尾)
- U19男子(250以下)
優勝/熊谷 慈英(仙 南)
準優勝/高島 大智(高 尾)

2025年全日本空道ジュニア
選手権大会入賞者 (2025.11.3)

国立代々木競技場第二体育館

- U11女子(32Kg以下)
優勝/高橋 ひまり(水 戸)
準優勝/阿部 吾子(石 巻)
3位/喜島 葵(筑紫野)
- U11女子(42Kg以下)
優勝/鈴木 彩生(仙 南)
- U11女子(42Kg超)
優勝/平山 心虹(筑紫野南)
- U11男子(32Kg以下)
優勝/森 天星(四日市)
準優勝/渋谷 颯斗(盛 岡)
3位/塚本 健太(日 進)
- U11男子(42Kg以下)
優勝/大森 奏(総本部)
準優勝/山田 泰暉(長久手)
3位/真鍋 晴翔(帯 広)
3位/栗山 暉(筑紫野南)
- U11男子(42Kg超)
優勝/早狩 心玄(八 戸)
- U12女子(37Kg以下)
優勝/田中 桜惟(筑紫野南)
準優勝/石田 和(新 潟)
- U12女子(47Kg以下)
優勝/熱海 美緒(木 町)
- U12男子(37Kg以下)
優勝/鶴谷 匠海(総本部)
準優勝/佐藤 響樹(仙 南)
3位/平林 已知(総本部)
3位/村上 篤秀(仙 南)
- U12男子(47Kg以下)
優勝/古田 凜太郎(三 沢)
準優勝/平山 遥人(多賀城)
3位/松江 侑司朗(筑紫野)
3位/坂從 太一(新宿西)
- U12男子(47Kg超)
優勝/加藤 正宗(筑紫野南)
- U13女子(42Kg以下)
優勝/島橋 紗良(多賀城)
準優勝/伊藤 沙優(朝 倉)
- U13女子(52Kg以下)
優勝/石垣 凜和(木 町)
準優勝/栗山 皐(筑紫野南)

●U13女子(52Kg超)

優勝/松崎 莉緒(帯 広)

●U13男子(42Kg以下)

優勝/中西 太一(四日市)

準優勝/坂中 颯希(四日市)

3位/千葉 啓太(登 米)

3位/平田 洋介(多賀城)

●U13男子(52Kg以下)

優勝/西岡 真道(帯 広)

準優勝/新山 碧己(仙台西)

3位/田中 春馬(大阪南)

3位/平山 昊(筑紫野南)

●U13男子(62Kg以下)

優勝/望月 耀(富士山)

●U13男子(62Kg超)

優勝/佐久間 晴空(新 潟)

●U16女子(43kg以下)

優勝/濱野 菜(帯 広)

準優勝/相内 結衣(青 森)

●U16女子(53kg以下)

優勝/相内 美希(青 森)

準優勝/小林 美羽子(帯 広)

3位/楯 くらら(岸和田)

3位/飛澤 爽乃(盛 岡)

●U16女子(63kg以下)

優勝/春本 侑里(日 進)

●U16男子(48kg以下)

優勝/安達 翔(塩 釜)

準優勝/鍵主 光希(岸和田)

3位/藤代 天(長 岡)

3位/相原 湧空斗(仙 南)

●U16男子(58Kg以下)

優勝/佐藤 伶(帯 広)

準優勝/佐藤 蓮太(仙台西)

3位/高橋 廉(小 樽)

3位/島橋 陽也(多賀城)

●U16男子(68kg以下)

優勝/柴尾 緯昊(小 樽)

準優勝/平山 瑛人(多賀城)

3位/鈴木 貴太郎(仙台西)

3位/門馬 冴賢(帯 広)

●U16男子(68kg超)

優勝/岩佐 楓(仙 南)

●U19女子(215以下)

優勝/遠藤 すず(登 米)

準優勝/横山 香織(総本部)

●U19女子(225以下)

優勝/長谷川 愛生(長 岡)

準優勝/鈴木 ほの(つくば)

●U19男子(220以下)

優勝/飛澤 周希(盛 岡)

準優勝/藤代 泰(長 岡)

●U19男子(230以下)

優勝/木藤 真阿(帯 広)

準優勝/古賀 凛太郎(春 日)

3位/小野 真斗(多賀城)

●U19男子(240以下)

優勝/柴尾 頼芽(小 樽)

準優勝/七久保 蓮(総本部)

●U19男子(250以下)

優勝/高橋 龍(小 樽)

準優勝/安藤 光志(多賀城)

第80回 国民スポーツ大会デモン

80th National Sports Festival Demonstration Sport Kudo Competition

〈男子230以下〉

(身体指数=身長+体重)
230以下


優勝

準優勝

大西 凜駿 168+62 (230)
東京都 豊島区 24才 初段
強化指定選手A




近田 充 164+60 (224)
宮城県 多賀城市 44才 参段
東北予選(230以下)2位




小松 慎 170+60 (230)
新潟県 新潟市 26才 初段
関東予選(230以下)2位




中川 昇龍 165+65 (230)
大阪府 岸和田市 24才 初段
西日本予選(230以下)1位




巻 礼史 165+65 (230)
福岡県 筑紫野市 55才 弐段
九州地区推薦



鈴木 誠士 166+64 (230)
青森県 三沢市 22才 初段
東北予選(230以下)1位
強化指定選手B




佐々木 龍希 169+61 (230)
北海道 小樽市 22才 弐段
北海道予選(230以下)1位
強化指定選手B




阿部 真太郎 166.5+63.5 (230)
宮城県 多賀城市 35才 無級
東北予選(230以下)3位



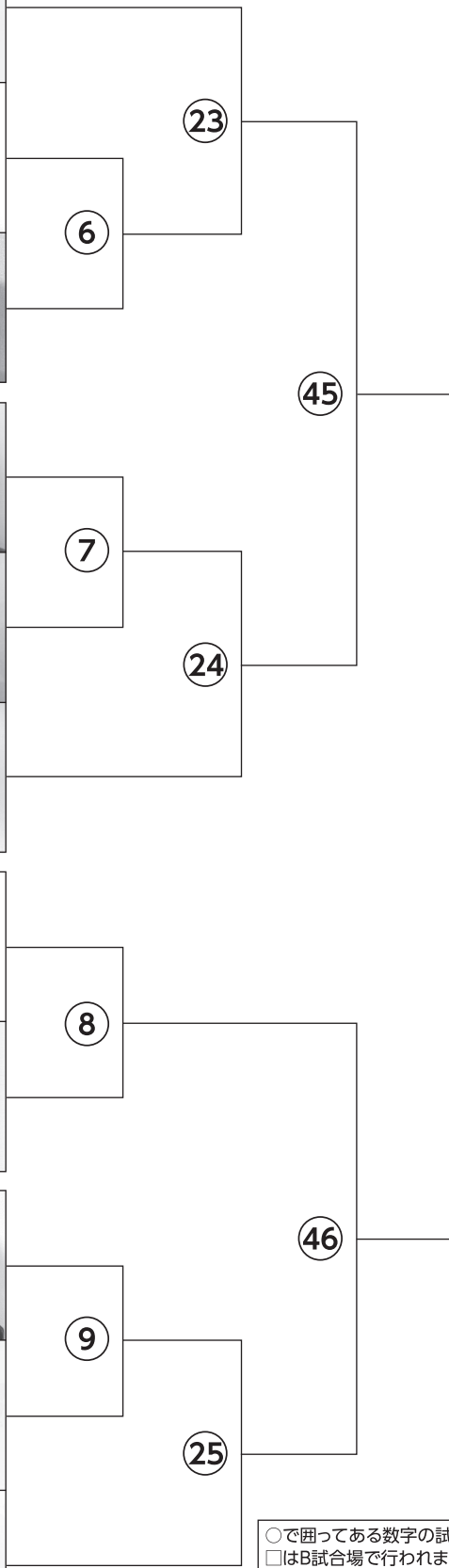
田中 脩斗 164+66 (230)
愛知県 日進市 22才 弐段
西日本予選(230以下)2位
強化指定選手B



今村 将崇 170+60 (230)
東京都 豊島区 20才 2級
関東予選(230以下)1位



目黒 雄太 166.7+63.3 (230)
新潟県 長岡市 34才 弐段
強化指定選手A

決勝3

○で囲ってある数字の試合はA試合場、
□はB試合場で行われます。

枠内の記載事項

氏名・身長+体重(身体指数)・
出身・年齢・級段位・戦績

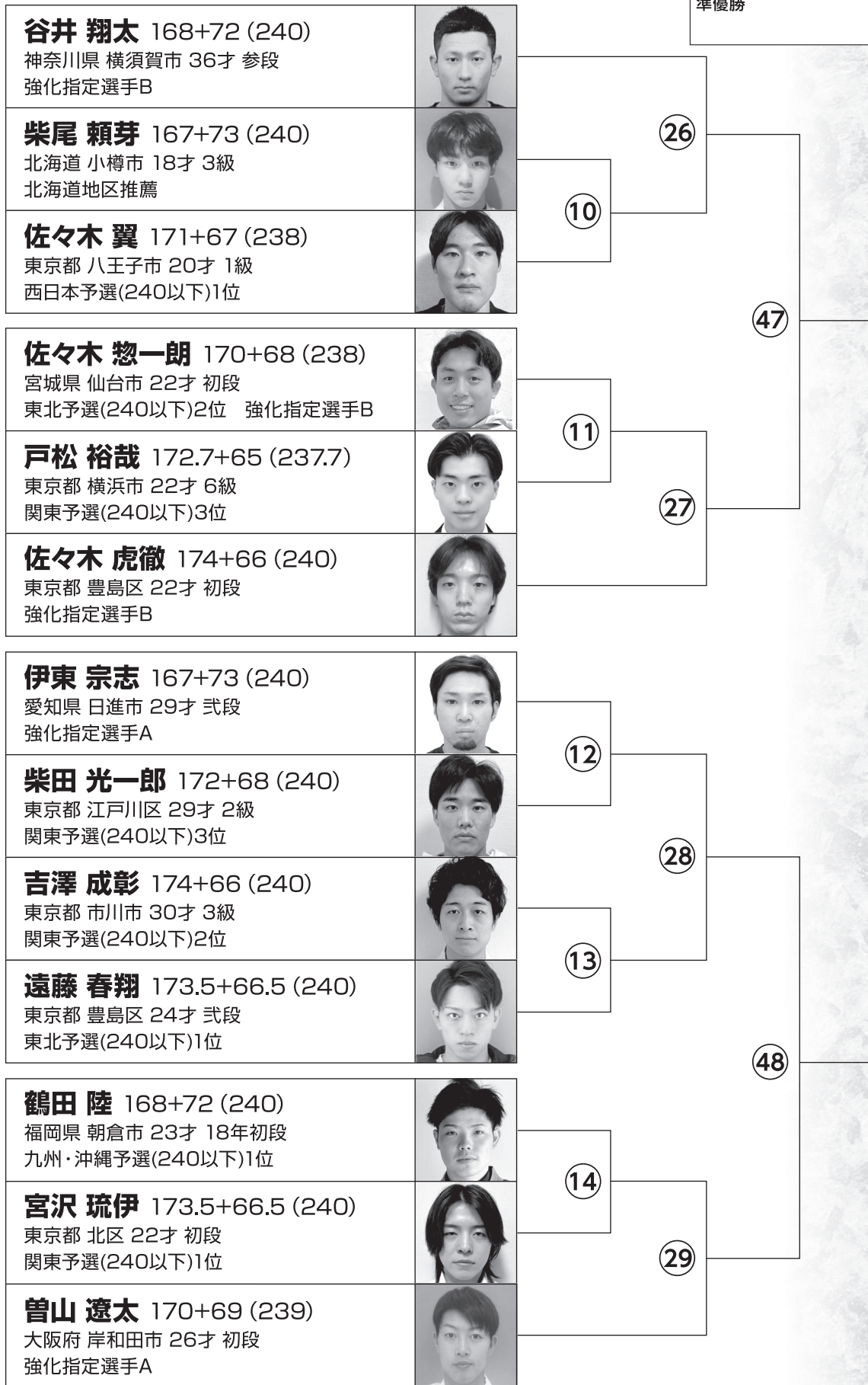
ストレーションスポーツ 空道競技

〈男子240以下〉

(身体指数=身長+体重)
240以下

優勝

準優勝



決勝
4

80th National Sports Festival Demonstration Sport Kudo Competition

第80回 国民スポーツ大会デモン

80th National Sports Festival Demonstration Sport Kudo Competition

〈男子250以下〉

(身体指数=身長+体重)
250以下

中村 凌 175+75 (250) 愛知県 日進市 33才 初段 強化指定選手A	
芹澤 宗丸 175+73 (248) 千葉県 市川市 24才 4級 関東予選(250以下)3位	
安藤 光志 179+71 (250) 宮城県 多賀城市 19才 無級 東北予選(250以下)2位	
佐藤 裕太 175+73 (248) 神奈川県 横浜市 22才 1級 関東予選(250以下)1位	
藤田 隆 172+78 (250) 秋田県 秋田市 40才 初段 東北予選(男子250以下)1位	
並木 仁也 179+71 (250) 東京都 千代田区 31才 4級 関東予選(250以下)2位	
市川 忠樹 176+74 (250) 大阪府 守口市 41才 弐段 西日本体力別(250以下)1位	
山田 崇太郎 170+80 (250) 東京都 中央区 42才 関東予選(250以下)3位	
鈴木 浩佑 176+73.5 (249.5) 静岡県 浜松市 37才 強化指定選手A	

優勝

準優勝

30

49

31

決勝
5

32

50

15

33

○で囲ってある数字の試合はA試合場、
□はB試合場で行われます。

枠内の記載事項 氏名・身長+体重(身体指数)・
出身・年齢・級段位・戦績

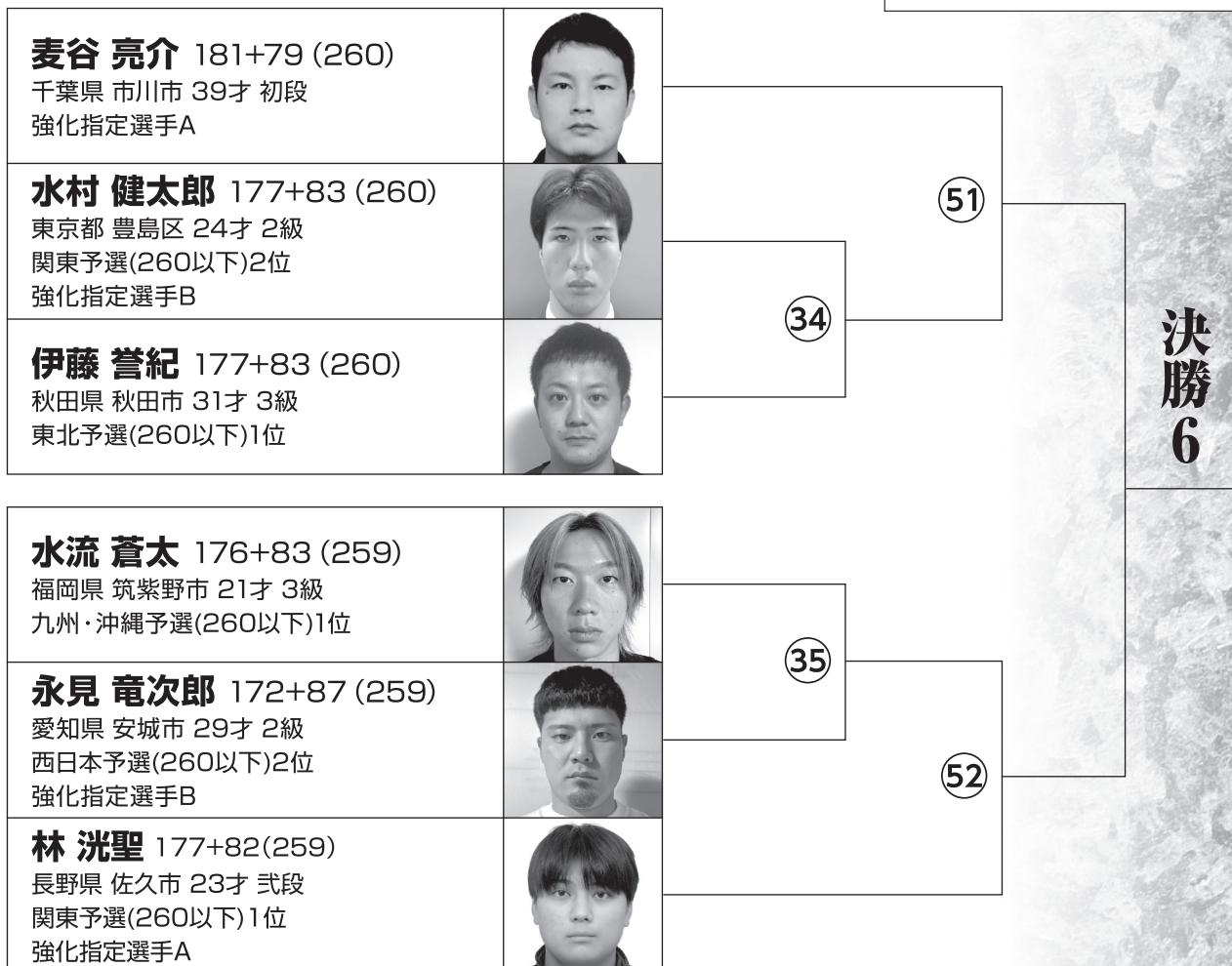
ストレーションスポーツ 空道競技

〈男子260以下〉

(身体指数=身長+体重)
260以下

優勝

準優勝



80th National Sports Festival Demonstration Sport Kudo Competition

第80回 国民スポーツ大会デモン

80th National Sports Festival Demonstration Sport Kudo Competition

〈男子260超〉

(身体指数=身長+体重)
260超

優勝
準優勝



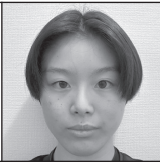


○で囲ってある数字の試合はA試合場、
□はB試合場で行われます。

枠内の記載事項 氏名・身長+体重(身体指数)・
出身・年齢・級段位・戦績

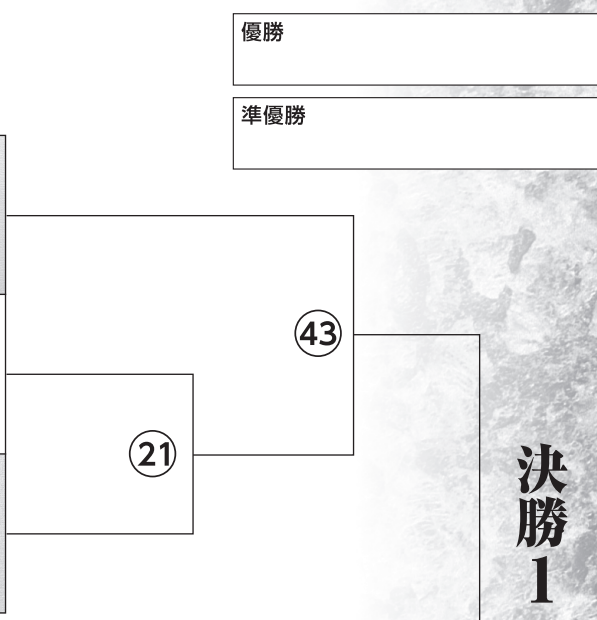
ストレーションスポーツ 空道競技

80th National Sports Festival Demonstration Sport Kudo Competition

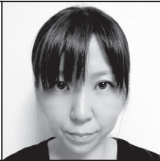

〈女子220以下〉

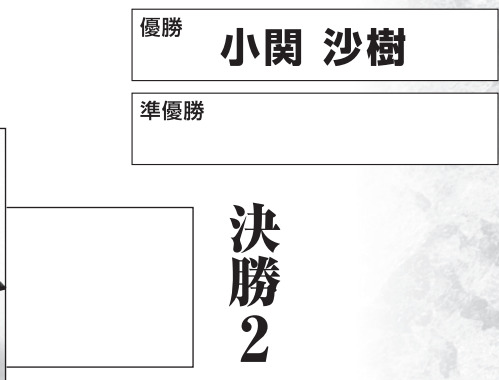
西田 美玖莉 153+48 (201) 愛知県 日進市 20才 初段 西日本予選(220以下)1位 強化指定選手B	
相内 春花 150+55 (205) 青森県 青森市 20才 4級 東北予選(220以下)1位	
横山 香織 150+45.5 (195.5) 東京都 豊島区 18才 5級 関東予選(220以下)1位	

廣田 晴香 158+61 (219) 大阪府 富田林市 29才 2級 西日本予選(220以下)2位	
仙石 梨江 161+56 (217) 東京都 三鷹市 30才 1級 関東体力別(220以下)2位 強化指定選手B	
小野寺 玲奈 152+65(217) 北海道 帯広市 22才 初段 強化指定選手A	



〈女子220超〉

小関 沙樹 161+64(225) 宮城県 仙台市 37才 初段 東北体力別(220超)1位 強化指定候補	
今野 杏夏 163+82 (245) 宮城県 多賀城市 29才 棄権 東北地区推薦	



HOKUTO-KI TOURNAMENT PREVIOUS CHAMPIONS

PREVIOUS CHAMPIONS

北斗旗 歴代入賞者一覧

81年無差別大会から、2025年第4回アジア大会までご紹介致します

'81 無差別 (9月6日) '81 OPEN CATEGORY

52名4ブロック (宮城県スポーツセンター)

- 優勝/岩崎 弥太郎 1st place Yatarou Iwasaki
- 準優勝/後藤 彰 2nd place Akira Goto
- 3位/村上 成之 3rd place Shigeyuki Murakami
- 4位/村上 明 4th place Akira Murakami
- 5位/鍋島 次雄 5th place Tsuguo Nabeshima
- 6位/紺野 栄樹 6th place Eiki Konno
- 7位/松本 剛 7th place Tsuyoshi Matsumoto
- 8位/小野 浩二 8th place Koji Ono

'82 無差別 (10月24日) '82 OPEN CATEGORY

58名4ブロック (宮城県スポーツセンター)

- 優勝/岩崎 弥太郎 1st place Yatarou Iwasaki
- 準優勝/西 良典 2nd place Yoshinori Nishi
- 3位/村上 明 3rd place Akira Murakami
- 4位/松本 剛 4th place Tsuyoshi Matsumoto
- 5位/村上 智章 5th place Tomoaki Murakami
- 6位/三浦 悦夫 6th place Etsuo Miura
- 7位/比嘉 正行 7th place Masayuki Higa
- 8位/阿部 新 8th place Mamoru Abe

'83 体力別・無差別 (10月24日)

58名4ブロック (宮城県スポーツセンター)

- '83 DEVISION CATEGORY (軽量)
- 優勝/岩崎 弥太郎 1st place Yatarou Iwasaki
 - 準優勝/村上 智章 2nd place Tomoaki Murakami
- (中量)
- 優勝/三浦 悦夫 1st place Etsuo Miura
 - 準優勝/星 秀明 2nd place Hideaki Hoshi
- (重量)
- 優勝/西 良典 1st place Yoshinori Nishi
 - 準優勝/長田 賢一 2nd place Kenichi Osada
- '83 OPEN CATEGORY (無差別)
- 優勝/西 良典 1st place Yoshinori Nishi
 - 準優勝/岩崎 弥太郎 2nd place Yatarou Iwasaki
 - 3位/三浦 悦夫 3rd place Etsuo Miura
 - 4位/長田 賢一 4th place Kenichi Osada
 - 5位/比嘉 正行 5th place Masayuki Higa
 - 6位/佐和田 亮二 6th place Ryoji Sawada
 - 7位/村上 智章 7th place Tomoaki Murakami
 - 8位/星 秀明 8th place Hideaki Hoshi

'84 体力別・無差別 (10月21日)

58名4ブロック (宮城県スポーツセンター)

- '84 DEVISION CATEGORY (軽量)
- 優勝/岩崎 弥太郎 1st place Yatarou Iwasaki
 - 準優勝/大和田 浩之 2nd place Hiroyuki Ohwada
- (中量)
- 優勝/渡部 行彦 1st place Yukihiko Watabe
 - 準優勝/三浦 悦夫 2nd place Etsuo Miura
- (重量)
- 優勝/長田 賢一 1st place Kenichi Osada
 - 準優勝/西 良典 2nd place Yoshinori Nishi
- '84 OPEN CATEGORY (無差別)
- 優勝/西 良典 1st place Yoshinori Nishi
 - 準優勝/長田 賢一 2nd place Kenichi Osada
 - 3位/岩崎 弥太郎 3rd place Yatarou Iwasaki
 - 4位/三浦 悦夫 4th place Etsuo Miura
 - 5位/佐和田 亮二 5th place Ryoji Sawada
 - 6位/渡部 行彦 6th place Yukihiko Watabe
 - 7位/大和田 浩之 7th place Hiroyuki Ohwada
 - 8位/比嘉 正行 8th place Masayuki Higa

'85 体力別 (5月26日) '85 DEVISION CATEGORY

58名4階級 (宮城県スポーツセンター)

- (軽量)
- 優勝/村上 雅博 1st place Masahiro Murayama
 - 準優勝/水野 一豊 2nd place Kazutoyo Mizuno
- (中量)
- 優勝/比嘉 正行 1st place Masayuki Higa
 - 準優勝/賀上 賢一 2nd place Kenichi Kagami
- (重量)
- 優勝/佐和田 亮二 1st place Ryoji Sawada
 - 準優勝/三浦 悦夫 2nd place Etsuo Miura
- (無差別)
- 優勝/西 良典 1st place Yoshinori Nishi
 - 準優勝/佐藤 一夫 2nd place Kazuo Satoh
- 競秀成績/佐和田 亮二 MVP Ryoji Sawada

'85 無差別 (11月30日) '85 OPEN CATEGORY

54名4ブロック (国立代々木第二体育館)

- 優勝/長田 賢一 1st place Kenichi Osada
 - 準優勝/西 良典 2nd place Yoshinori Nishi
 - 3位/佐和田 亮二 3rd place Ryoji Sawada
 - 4位/三浦 悦夫 4th place Etsuo Miura
 - 5位/峯岸 昭夫 5th place Akio Minegishi
 - 6位/熱海 智 6th place Satoshi Atsumi
 - 7位/鍋島 次雄 7th place Tsuguo Nabeshima
 - 8位/佐藤 一夫 8th place Kazuo Satoh
- 特別賞/黒田 利行 Special Prize Toshiyuki Kuroda /中畑 要 /Kaname Nakahata

'86 体力別 (5月25日) '86 DEVISION CATEGORY

75名4階級 (宮城県スポーツセンター)

- (軽量)
- 優勝/村上 雅博 1st place Masahiro Murayama
 - 準優勝/横木 研輔 2nd place Kensuke Yokogi
- (軽中量)
- 優勝/比嘉 正行 1st place Masayuki Higa
 - 準優勝/賀上 賢一 2nd place Kenichi Kagami
- (中量)
- 優勝/佐和田 亮二 1st place Ryoji Sawada
 - 準優勝/峯岸 昭夫 2nd place Akio Minegishi
- (重量)
- 優勝/西 良典 1st place Yoshinori Nishi
 - 準優勝/長田 賢一 2nd place Kenichi Osada
- 競秀成績/西 良典 MVP Yoshinori Nishi

'86 無差別 (11月30日) '86 OPEN CATEGORY

64名4ブロック (国立代々木第二体育館)

- 優勝/長田 賢一 1st place Kenichi Osada
 - 準優勝/山田 利一郎 2nd place Riichirou Yamada
 - 3位/佐藤 一夫 3rd place Kazuo Satoh
 - 4位/三浦 悦夫 4th place Etsuo Miura
 - 5位/鍋島 次雄 5th place Tsuguo Nabeshima
 - 6位/峯岸 昭夫 6th place Akio Minegishi
 - 7位/比嘉 正行 7th place Masayuki Higa
 - 8位/荒井 秀顕 8th place Hidenori Arai
- 特別賞/荒本 厚三 Special Prize/Kouzou Aramoto

'87 体力別 (5月31日) '87 DEVISION CATEGORY

88名4階級 (宮城県スポーツセンター)

- (軽量)
- 優勝/岩崎 弥太郎 1st place Yatarou Iwasaki
 - 準優勝/加藤 清尚 2nd place Kiyotaka Kato
- (中量)
- 優勝/佐和田 亮二 1st place Ryoji Sawada
 - 準優勝/比嘉 正行 2nd place Masayuki Higa
- (軽重量)
- 優勝/渡辺 正明 1st place Masaaki Watanabe
 - 準優勝/峯岸 昭夫 2nd place Akio Minegishi
- (重量)
- 優勝/長田 賢一 1st place Kenichi Osada
 - 準優勝/山田 利一郎 2nd place Riichirou Yamada
- 競秀成績/岩崎 弥太郎 MVP Yatarou Iwasaki

'87 無差別 (11月15日) '87 OPEN CATEGORY

64名4ブロック (国立代々木第二体育館)

- 優勝/山田 利一郎 1st place Riichirou Yamada
 - 準優勝/長田 賢一 2nd place Kenichi Osada
 - 3位/西 良典 3rd place Yoshinori Nishi
 - 4位/荒井 秀顕 4th place Hideaki Arai
 - 5位/峯岸 昭夫 5th place Akio Minegishi
 - 6位/加藤 清尚 6th place Kiyotaka Kato
 - 7位/三浦 悦夫 7th place Etsuo Miura
 - 8位/白鳥 隆俊 8th place Takatoshi Shiratori
- 特別賞/パーヤップ Special Prize /Paryap /中畑 要 /Kaname Nakahata

'88 体力別 (5月23日) '88 DEVISION CATEGORY

89名4階級 (宮城県スポーツセンター)

- (軽量)
- 優勝/加藤 清尚 1st place Kiyotaka Kato
 - 準優勝/蛸島 巨 2nd place Futoshi Takoshima
- (中量)
- 優勝/平岡 義雄 1st place Yoshio Hiraoka
 - 準優勝/山下 一盛 2nd place Kazumori Yamashita
- (軽重量)
- 優勝/峯岸 昭夫 1st place Akio Minegishi
 - 準優勝/渡部 行彦 2nd place Yukihiko Watabe
- (重量)
- 優勝/山田 利一郎 1st place Riichirou Yamada
 - 準優勝/長田 賢一 2nd place Kenichi Osada
- 競秀成績/峯岸 昭夫 MVP Akio Minegishi

'88 無差別 (11月23日) '88 OPEN CATEGORY

64名4ブロック (国立代々木第二体育館)

- 優勝/山田 利一郎 1st place Riichirou Yamada
 - 準優勝/比嘉 正行 2nd place Masayuki Higa
 - 3位/松下 善裕 3rd place Yoshihiro Matsushita
 - 4位/庄田 真人 4th place Masato Shoda
 - 5位/市原 海樹 5th place Minoki Ichihara
 - 6位/石塚 克宏 6th place Katsuhiko Ishizuka
 - 7位/黒田 利行 7th place Toshiyuki Kuroda
 - 8位/飯村 健一 8th place Kenichi Iimura
- 特別賞/京崎 武 Special Prize Takeshi Kyoazaki

'89 体力別 (5月7日) '89 DEVISION CATEGORY

86名4階級 (宮城県スポーツセンター)

- (軽量)
- 優勝/蛸島 巨 1st place Futoshi Takoshima
 - 準優勝/宮野 勝吉 2nd place Syokichi Miyano
- (中量)
- 優勝/飯村 健一 1st place Kenichi Iimura
 - 準優勝/阿部 健一 2nd place Kennichi Abe
- (軽重量)
- 優勝/野口 健 1st place Ken Noguchi
 - 準優勝/石田 圭市 2nd place Keiichi Ishida
- (重量)
- 優勝/長田 賢一 1st place Kenichi Osada
 - 準優勝/庄田 真人 2nd place Masato Shoda
- 競秀成績/飯村 健一 MVP Kenichi Iimura

'89 無差別 (11月15日) '89 OPEN CATEGORY

64名4ブロック (国立代々木第二体育館)

- 優勝/長田 賢一 1st place Kenichi Osada
 - 準優勝/峯岸 昭夫 2nd place Akio Minegishi
 - 3位/木村 優元 3rd place Masayuki Kimura
 - 4位/加藤 清尚 4th place Kiyotaka Kato
 - 5位/市原 海樹 5th place Minoki Ichihara
 - 6位/京崎 武 6th place Takeshi Kyoazaki
 - 7位/上野 正一 7th place Syouchi Ueno
 - 8位/山田 利一郎 8th place Riichirou Yamada
- 特別賞/蛸島 巨 Special Prize Futoshi Takoshima

'90 体力別 (5月27日) '90 DEVISION CATEGORY

- 64名4階級〈宮城県スポーツセンター〉
- (軽量)
- 優勝/飛永 耕治 1st place Kouji Tobinaga
 - 準優勝/蛸島 巨 2nd place Futoshi Takoshima
- (中量)
- 優勝/比嘉 正行 1st place Masayuki Higa
 - 準優勝/飯村 健一 2nd place Kenichi Iimura
- (軽重量)
- 優勝/福島 博信 1st place Hironobu Fukushima
 - 準優勝/城 浩 2nd place Hiroshi Jou
- (重量)
- 優勝/市原 海樹 1st place Minoki Ichihara
 - 準優勝/木村 優元 2nd place Masayuki Kimura
- 最優秀審判員/市原 海樹 MVP Minoki Ichihara

'90 無差別 (11月9日) '90 OPEN CATEGORY

- 64名4ブロック〈国立代々木第二体育館〉
- 優勝/市原 海樹 1st place Minoki Ichihara
 - 準優勝/石田 圭市 2nd place Keiichi Ishida
 - 3位/木村 優元 3rd place Masayuki Kimura
 - 4位/飯村 健一 4th place Kenichi Iimura
 - 5位/多田 英史 5th place Hidehumi Tada
 - 6位/箱垣 拓一 6th place Hirokazu Inagaki
 - 7位/福島 博信 7th place Hironobu Fukushima
 - 8位/蛸島 巨 8th place Futoshi Takoshima

'91 体力別 (5月26日) '91 DEVISION CATEGORY

- 64名4階級〈宮城県スポーツセンター〉
- (軽量)
- 優勝/加藤 清尚 1st place Kiyotaka Kato
 - 準優勝/蛸島 巨 2nd place Futoshi Takoshima
- (中量)
- 優勝/酒井 修 1st place Osamu Sakai
 - 準優勝/長谷川 朋彦 2nd place Tomohiko Hasegawa
- (軽重量)
- 優勝/城 浩 1st place Hiroshi Jo
 - 準優勝/石田 圭市 2nd place Keiichi Ishida
- (重量)
- 優勝/市原 海樹 1st place Minoki Ichihara
 - 準優勝/山田 利一郎 2nd place Riichirou Yamada
- 最優秀審判員/城 浩 MVP Hiroshi Jo

'91 無差別 (11月9日) '91 OPEN CATEGORY

- 64名4ブロック〈国立代々木第二体育館〉
- 優勝/加藤 清尚 1st place Kiyotaka Kato
 - 準優勝/沖見 正義 2nd place Masayoshi Okimi
 - 3位/市原 海樹 3rd place Minoki Ichihara
 - 4位/西出 太郎 4th place Tarou Nishiide
 - 5位/木村 優元 5th place Masayuki Kimura
 - 6位/酒井 修 6th place Osamu Sakai
 - 7位/品野 圭司 7th place Keiji Shinano
 - 8位/松下 善裕 8th place Yoshinori Matsushita

'92 体力別 (5月31日) '92 DEVISION CATEGORY

- 64名4階級〈宮城県スポーツセンター〉
- (軽量)
- 優勝/朝岡 秀樹 1st place Hideki Asaoka
 - 準優勝/阿部 広明 2nd place Hiroaki Abe
- (中量)
- 優勝/飯村 健一 1st place Kenichi Iimura
 - 準優勝/長谷川 朋彦 2nd place Tomohiko Hasegawa
- (軽重量)
- 優勝/武山 卓己 1st place Takumi Takeyama
 - 準優勝/酒井 修 2nd place Osamu Sakai
- (重量)
- 優勝/市原 海樹 1st place Minoki Ichihara
 - 準優勝/木村 優元 2nd place Masayuki Kimura
- 最優秀審判員/武山 卓己 MVP Takumi Takeyama

'92 無差別 (11月15日) '92 OPEN CATEGORY

- 64名4ブロック〈国立代々木第二体育館〉
- 優勝/長田 賢一 1st place Kenichi Osada
 - 準優勝/加藤 清尚 2nd place Kiyotaka Kato
 - 3位/市原 海樹 3rd place Minoki Ichihara
 - 4位/石田 圭市 4th place Keiichi Ishida
 - 5位/武山 卓己 5th place Takumi Takeyama
 - 6位/荒井 省司 6th place Syoji Arai
 - 7位/黒崎 豊 7th place Yutaka Kurosaki
 - 8位/牧野 壯樹 8th place Masaki Makino

'93 体力別 (4月18日) '93 DEVISION CATEGORY

- 64名4階級〈宮城県スポーツセンター〉
- (軽量)
- 優勝/小川 英樹 1st place Hideki Ogawa
 - 準優勝/高松 猛 2nd place Takeshi Takamatsu
- (中量)
- 優勝/多田 英史 1st place Hidehumi Tada
 - 準優勝/飯村 健一 2nd place Kenichi Iimura
- (軽重量)
- 優勝/加藤 清尚 1st place Kiyotaka Kato
 - 準優勝/牧野 壯樹 2nd place Masaki Makino
- (重量)
- 優勝/武山 卓己 1st place Takumi Takeyama
 - 準優勝/沖見 正義 2nd place Masayoshi Okimi
- 最優秀審判員/武山 卓己 MVP Takumi Takeyama

'93 無差別 (11月17日) '93 OPEN CATEGORY

- 64名4ブロック〈国立代々木第二体育館〉
- 優勝/市原 海樹 1st place Minoki Ichihara
 - 準優勝/石田 圭市 2nd place Keiichi Ishida
 - 3位/辻井 恭 3rd place Yasushi Tsujii
 - 4位/長沼 豊 4th place Yutaka Naganuma
 - 5位/中山 正和 5th place Masakazu Nakayama
 - 6位/品野 圭司 6th place Keiji Shinano
 - 7位/秋山 賢治 7th place Kenji Akiyama
 - 8位/鈴木 規正 8th place Norimasa Suzuki

'94 体力別 (4月18日) '94 DEVISION CATEGORY

- 64名4階級〈宮城県スポーツセンター〉
- (軽量)
- 優勝/小川 英樹 1st place Hideki Ogawa
 - 準優勝/宮野 勝吉 2nd place Syoukichi Miyano
- (中量)
- 優勝/飯村 健一 1st place Kenichi Iimura
 - 準優勝/多田 英史 2nd place Hidehumi Tada
- (軽重量)
- 優勝/酒井 修 1st place Osamu Sakai
 - 準優勝/国井 栄治 2nd place Eiji Kunii
- (重量)
- 優勝/武山 卓己 1st place Takumi Takeyama
 - 準優勝/沖見 正義 2nd place Masayoshi Okimi
- 最優秀審判員/酒井 修 MVP Osamu Sakai

'94 無差別 (11月5日) '94 OPEN CATEGORY

- 64名4ブロック〈駒沢オリンピック公園内球技場〉
- 優勝/山田 利一郎 1st place Riichirou Yamada
 - 準優勝/市原 海樹 2nd place Minoki Ichihara
 - 3位/秋山 賢治 3rd place Kenji Akiyama
 - 4位/加藤 清尚 4th place Kiyotaka Kato
 - 5位/中山 正和 5th place Masakazu Nakayama
 - 6位/長沼 豊 6th place Yutaka Naganuma
 - 7位/沖見 正義 7th place Masayoshi Okimi
 - 8位/森 直樹 8th place Naoki Mori

'95 体力別 (4月16日) '95 DEVISION CATEGORY

- 64名4階級〈宮城県スポーツセンター〉
- (軽量)
- 優勝/小川 英樹 1st place Hideki Ogawa
 - 準優勝/朝岡 秀樹 2nd place Hideki Asaoka
- (中量)
- 優勝/平岡 義雄 1st place Yoshio Hiraoka
 - 準優勝/黒崎 豊 2nd place Yutaka Kurosaki
- (軽重量)
- 優勝/森 直樹 1st place Naoki Mori
 - 準優勝/コニコ・アレクセイ 2nd place Alexei Kononenko
- (重量)
- 優勝/秋山 賢治 1st place Kenji Akiyama
 - 準優勝/沖見 正義 2nd place Masayoshi Okimi
- 最優秀審判員/森 直樹 MVP Naoki Mori

'95 無差別 (11月11日) '95 OPEN CATEGORY

- 64名4ブロック〈国立代々木第二体育館〉
- 優勝/酒井 修 1st place Osamu Sakai
 - 準優勝/中山 正和 2nd place Masakazu Nakayama
 - 3位/セム・シュルト 3rd place Semmy Sulit
 - 4位/五十嵐 祐司 4th place Yuji Igarashi
 - 5位/森 直樹 5th place Naoki Mori
 - 6位/伊藤 彰浩 6th place Akihiro Itou
 - 7位/土居 龍晴 7th place Tatsuharu Doi
 - 8位/箱垣 拓一 8th place Hirokazu Inagaki

'96 体力別 (4月21日) '96 DEVISION CATEGORY

- 64名4階級〈宮城県スポーツセンター〉
- (軽量)
- 優勝/小川 英樹 1st place Hideki Ogawa
 - 準優勝/箱垣 聡 2nd place Satoshi Inagaki
- (中量)
- 優勝/黒崎 豊 1st place Yutaka Kurosaki
 - 準優勝/ベシコフ・アレクサンダー 2nd place Veselchakov Alexander
- (軽重量)
- 優勝/コニコ・アレクセイ 1st place Alexei Kononenko
 - 準優勝/田中 真言 2nd place Shingen Tanaka
- (重量)
- 優勝/秋山 賢治 1st place Kenji Akiyama
 - 準優勝/金子 哲也 2nd place Tetsuya Kaneko
- 最優秀審判員/秋山 賢治 MVP Kenji Akiyama

'96 無差別 (11月16日) '96 OPEN CATEGORY

- 64名4ブロック〈国立代々木第二体育館〉
- 優勝/セム・シュルト 1st place Semmy Sulit
 - 準優勝/箱垣 拓一 2nd place Hirokazu Inagaki
 - 3位/アリエフ・ヴャチスラフ 3rd place Aliev Vyacheslav
 - 4位/中山 正和 4th place Masakazu Nakayama
 - 5位/岩本 秀之 5th place Hideyuki Iwaki
 - 6位/五十嵐 祐司 6th place Yuji Igarashi
 - 7位/森 直樹 7th place Naoki Mori
 - 8位/浪崎 純 8th place Jun Namisaki

'97 体力別 (5月25日) '97 DEVISION CATEGORY

- 64名4階級〈宮城県スポーツセンター〉
- (軽量)
- 優勝/小川 英樹 1st place Hideki Ogawa
 - 準優勝/土田 真也 2nd place Shinya Tsuchida
- (中量)
- 優勝/ベシコフ・アレクサンダー 1st place Veselchakov Alexander
 - 準優勝/長谷川 朋彦 2nd place Tomohiko Hasegawa
- (軽重量)
- 優勝/コニコ・アレクセイ 1st place Alexei Kononenko
 - 準優勝/土居 龍晴 2nd place Tatsuharu Doi
- (重量)
- 優勝/箱田 卓也 1st place Takuya Inada
 - 準優勝/沖見 正義 2nd place Masayoshi Okimi
- 最優秀審判員/小川 英樹 MVP Hideki Ogawa

'97 無差別 (11月16日) '97 OPEN CATEGORY

- 64名4ブロック〈国立代々木第二体育館〉
- 優勝/セム・シュルト 1st place Semmy Sulit
 - 準優勝/森 直樹 2nd place Naoki Mori
 - 3位/山崎 進 3rd place Susumu Yamazaki
 - 4位/コニコ・アレクセイ 4th place Alexei Kononenko
 - 5位/箱垣 拓一 5th place Hirokazu Inagaki
 - 6位/辻井 恭 6th place Yasushi Tsujii
 - 7位/五十嵐 祐司 7th place Yuji Igarashi
 - 8位/沖見 正義 8th place Masayoshi Okimi

'98 体力別 (5月31日) '98 DEVISION CATEGORY

- 64名4階級〈宮城県スポーツセンター〉
- (軽量)
- 優勝/高松 猛 1st place Takeshi Takamatsu
 - 準優勝/相馬 誠 2nd place Makoto Souma
- (中量)
- 優勝/小川 英樹 1st place Hideki Ogawa
 - 準優勝/長谷川 朋彦 2nd place Tomohiko Hasegawa
- (軽重量)
- 優勝/コニコ・アレクセイ 1st place Alexei Kononenko
 - 準優勝/土居 龍晴 2nd place Tatsuharu Doi
- (重量)
- 優勝/山崎 進 1st place Susumu Yamazaki
 - 準優勝/箱田 卓也 2nd place Takuya Inada
- 最優秀審判員/山崎 進 MVP Susumu Yamazaki

'98 無差別 (12月19日) '98 OPEN CATEGORY

- 64名4ブロック〈国立代々木第二体育館〉
- 優勝/コニコ・アレクセイ 1st place Alexei Kononenko
 - 準優勝/箱垣 拓一 2nd place Hirokazu Inagaki
 - 3位/山崎 進 3rd place Susumu Yamazaki
 - 4位/長野 常道 4th place Tsunemichi Nagano
 - 5位/佐藤 孝之 5th place Takayuki Satou
 - 6位/箱田 卓也 6th place Takuya Inada
 - 7位/寺本 正之 7th place Masayuki Teramoto
 - 8位/田村 高志 8th place Takashi Tamura

'99 体力別 (5月30日) '99 DEVISION CATEGORY

- 72名4階級 (宮城県スポーツセンター)
- (軽量)
- 優勝/辻村 元伸 1st place Motonobu Tsujimura
 - 準優勝/高松 猛 2nd place Takeshi Takamatsu
- (中量)
- 優勝/小川 英樹 1st place Hideki Ogawa
 - 準優勝/高田 久嗣 2nd place Hisashi Takada
- (軽重量)
- 優勝/飯村 健一 1st place Kenichi Iimura
 - 準優勝/岩木 秀之 2nd place Hideyuki Iwaki
- (重量)
- 優勝/山崎 進 1st place Susumu Yamazaki
 - 準優勝/楠田 卓也 2nd place Takuya Inada
- 観戦記録/小川 英樹 MVP Hideki Ogawa

'99 無差別 (11月21日) '99 OPEN CATEGORY

- 64名4ブロック (国立代々木第二体育館)
- 優勝/楠垣 拓一 1st place Hirokazu Inagaki
 - 準優勝/山崎 進 2nd place Susumu Yamazaki
 - 3位/森 直樹 3rd place Naoki Mori
 - 4位/武山 卓己 4th place Takumi Takeyama
 - 5位/沖見 正義 5th place Masayoshi Okimi
 - 6位/能登谷 佳樹 6th place Yoshiki Notoya
 - 7位/楠田 卓也 7th place Takuya Inada
 - 8位/岡崎 克史 8th place Katsumi Okazaki

2000 体力別 (5月7日) '00 DEVISION CATEGORY

- 72名4階級 (宮城県スポーツセンター)
- (軽量)
- 優勝/寺西 登 1st place Noboru Teranishi
 - 準優勝/伊藤 紀夫 2nd place Norio Ito
- (中量)
- 優勝/長谷川 朋彦 1st place Tomohiko Hasegawa
 - 準優勝/青木 政樹 2nd place Masaki Aoki
- (軽重量)
- 優勝/能登谷 佳樹 1st place Yoshiki Notoya
 - 準優勝/岩木 秀之 2nd place Hideyuki Iwaki
- (重量)
- 優勝/楠田 卓也 1st place Takuya Inada
 - 準優勝/金子 哲也 2nd place Tetsuya Kaneko
- 観戦記録/寺西 登 MVP Noboru Teranishi

2000 無差別 (11月19日) '00 OPEN CATEGORY

- 64名4ブロック (国立代々木第二体育館)
- 優勝/楠垣 拓一 1st place Hirokazu Inagaki
 - 準優勝/山崎 進 2nd place Susumu Yamazaki
 - 3位/コネニコ・アレクセイ 3rd place Alexei Kononenko
 - 4位/飯村 健一 4th place Kenichi Iimura
 - 5位/岩木 秀之 5th place Hideyuki Iwaki
 - 6位/中山 正和 6th place Masakazu Nakayama
 - 7位/平原 徳浩 7th place Norihiro Hirahara
 - 8位/村田 良成 8th place Yoshinari Murata

2001 体力別 (5月13日) '01 DEVISION CATEGORY

- 80名5階級 (宮城県スポーツセンター)
- (軽量)
- 優勝/小川 英樹 1st place Hideki Ogawa
 - 準優勝/榎並 博幸 2nd place Hiroyuki Enami
- (中量)
- 優勝/加藤 清尚 1st place Kiyotaka Kato
 - 準優勝/佐野 教明 2nd place Noriaki Sano
- (軽重量)
- 優勝/岩木 秀之 1st place Hideyuki Iwaki
 - 準優勝/長野 常道 2nd place Tsunemichi Nagano
- (重量)
- 優勝/藤松 泰通 1st place Yasumichi Fujimatsu
 - 準優勝/武山 卓己 2nd place Takumi Takeyama
- 観戦記録/藤松 泰通 MVP Yasumichi Fujimatsu

2001 第一回世界大会 (11月17日) '01 DEVISION CATEGORY

- 80名5階級 (国立代々木第二体育館)
- (軽量)
- 優勝/小川 英樹 1st place Hideki Ogawa
 - 準優勝/シニウチン・デニス 2nd place Siniutin Denis
- (中量)
- 優勝/高田 久嗣 1st place Hisashi Takada
 - 準優勝/ダジャエフ・ベスラン 2nd place Dashaev Beslan
- (軽重量)
- 優勝/ババヤン・ルドルフ 1st place Babayan Rudolf
 - 準優勝/コネニコ・アレクセイ 2nd place Alexei Kononenko
- (重量)
- 優勝/藤松 泰通 1st place Yasumichi Fujimatsu
 - 準優勝/ステファン・タピラツ 2nd place Stephen Tapilatu
- (超重量)
- 優勝/グリゴリエフ・デニス 1st place Grigoriev Denis
 - 準優勝/楠垣 拓一 2nd place Hirokazu Inagaki

2002 体力別 (5月5日) '02 DEVISION CATEGORY

- 70名5階級 (宮城県スポーツセンター)
- (軽量)
- 優勝/伊賀 泰司郎 1st place Taishiro Iga
 - 準優勝/寺西 登 2nd place Noboru Teranishi
- (中量)
- 優勝/後藤 一郎 1st place Ichiro Goto
 - 準優勝/吉岡 正裕 2nd place Masahiro Yoshioka
- (軽重量)
- 優勝/若月 里木 1st place Satoki Wakatuki
 - 準優勝/伊予田 徹 2nd place Tetsu Iyoda
- (重量)
- 優勝/清水 和磨 1st place Kazuma Shimizu
 - 準優勝/石田 圭一 2nd place Keiichi Ishida
- (超重量)
- 優勝/藤松 泰通 1st place Yasumichi Fujimatsu
 - 準優勝/楠田 卓也 2nd place Takuya Inada

2002 無差別 (11月17日) '02 OPEN CATEGORY

- 64名4ブロック (国立代々木第二体育館)
- 優勝/藤松 泰通 1st place Yasumichi Fujimatsu
 - 準優勝/清水 和磨 2nd place Kazuma Shimizu
 - 3位/アレキサンダー・ロバート 3rd place Alexander R. Roberts
 - 4位/寺本 正之 4th place Masayuki Teramoto
 - 5位/コネニコ・アレクセイ 5th place Alexei Kononenko
 - 6位/石田 圭一 6th place Keiichi Ishida
 - 7位/金子 哲也 7th place Tetsuya Kaneko
 - 8位/平塚 洋二郎 8th place Youjiro Hiratsuka

2003 体力別 (5月11日) '03 DEVISION CATEGORY

- 72名4階級 (宮城県スポーツセンター)
- (軽量)
- 優勝/伊賀 泰司郎 1st place Taishiro Iga
 - 準優勝/高松 猛 2nd place Kaina Takahashi
- (中量)
- 優勝/中川 博之 1st place Hiroyuki Nakagawa
 - 準優勝/藤本 直樹 2nd place Naoki Fujimoto
- (軽重量)
- 優勝/寺本 正之 1st place Masayuki Teramoto
 - 準優勝/コネニコ・アレクセイ 2nd place Alexei Kononenko
- (重量)
- 優勝/志田 淳 1st place Jun Shida
 - 準優勝/木村 猛 2nd place Takeshi Kimura
- (超重量)
- 優勝/藤松 泰通 1st place Yasumichi Fujimatsu
 - 準優勝/山崎 進 2nd place Susumu Yamazaki
- 観戦記録/寺本 正之 MVP Masayuki Teramoto

2003 無差別 (11月30日) '03 OPEN CATEGORY

- 48名4ブロック (ディファ有明)
- 優勝/山崎 進 1st place Susumu Yamazaki
 - 準優勝/清水 和磨 2nd place Kazuma Shimizu
 - 3位/アレキサンダー・ロバート 3rd place Alexander R. Roberts
 - 4位/寺本 正之 4th place Masayuki Teramoto
 - 5位/高橋 敏親 5th place Toshichika Takahashi
 - 6位/藤田 憲雄 6th place Norio Fujita
 - 7位/五十嵐 祐司 7th place Yuji Igarashi
 - 8位/岡崎 克史 8th place Katsumi Okazaki

2004 体力別 (5月16日) '04 DEVISION CATEGORY

- 74名4階級 (宮城県スポーツセンター)
- (軽量)
- 優勝/平安 孝行 1st place Takayuki Hirayasu
 - 準優勝/末廣 智明 2nd place Tomoeki Suehiro
- (中量)
- 優勝/飯村 健一 1st place Kenichi Iimura
 - 準優勝/佐野 教明 2nd place Noriaki Sano
- (軽重量)
- 優勝/コネニコ・アレクセイ 1st place Alexei Kononenko
 - 準優勝/山崎 進 2nd place Susumu Yamazaki
- (重量)
- 優勝/荒井 省司 1st place Shyoji Arai
 - 準優勝/藤澤 雄司 2nd place Yuji Fujisawa
- (超重量)
- 優勝/清水 和磨 1st place Kazuma Shimizu
 - 準優勝/楠田 卓也 2nd place Takuya Inada
- 観戦記録/コネニコ・アレクセイ MVP Alexei Kononenko

2004 無差別 (11月30日) '03 OPEN CATEGORY

- 57名4ブロック (国立代々木第二体育館)
- 優勝/藤松 泰通 1st place Yasumichi Fujimatsu
 - 準優勝/五十嵐 祐司 2nd place Yuji Igarashi
 - 3位/平塚 洋二郎 3rd place Youjiro Hiratsuka
 - 4位/楠田 卓也 4th place Takuya Inada
 - 5位/清水 和磨 5th place Kazuma Shimizu
 - 6位/服部 宏明 6th place Hiroaki Hattori
 - 7位/藤澤 雄司 7th place Yuji Fujisawa
 - 8位/高橋 腕 8th place Kaina Takahashi

2005 体力別 (5月29日) '05 DEVISION CATEGORY

- 90名5階級 (宮城県スポーツセンター)
- (軽量)
- 優勝/高橋 腕 1st place Kaina Takahashi
 - 準優勝/小川 英樹 2nd place Hideki Ogawa
- (中量)
- 優勝/寺本 正之 1st place Masayuki Teramoto
 - 準優勝/佐藤 繁樹 2nd place Shigeki Sato
- (軽重量)
- 優勝/笹沢 一有 1st place Kazuari Sasazawa
 - 準優勝/小野 亮 2nd place Ryo Ono
- (重量)
- 優勝/山崎 進 1st place Susumu Yamazaki
 - 準優勝/藤澤 雄司 2nd place Yuji Fujisawa
- (超重量)
- 優勝/藤松 泰通 1st place Yasumichi Fujimatsu
 - 準優勝/五十嵐 祐司 2nd place Yuji Igarashi
- 観戦記録/寺本 正之 MVP Masayuki Teramoto

2005 第二回世界大会 (5月29日) 2nd World Championship

- 114名6階級 (国立代々木第二体育館)
- (軽量)
- 優勝/コリャン・エドガー 1st place Kolyan Edgar
 - 準優勝/カリロフ・アンヴァ 2nd place Khalilov Anvar
- (中量)
- 優勝/岩木 秀之 1st place Hideyuki Iwaki
 - 準優勝/青木 政樹 2nd place Masashige Aoki
- (軽重量)
- 優勝/ケリモフ・シャムハル 1st place Kerimov Shamhal
 - 準優勝/シャラポフ・ヴァシリ 2nd place Sharapov Vasily
- (重量)
- 優勝/レシエニコフ・イワン 1st place Reshetnikov Ivan
 - 準優勝/ゴルバチョフ・イワン 2nd place Gorbatyuk Ivan
- (超重量)
- 優勝/藤松 泰通 1st place Yasumichi Fujimatsu
 - 準優勝/五十嵐 祐司 2nd place Yuji Igarashi
- (女子)
- 優勝/ビコワ・イリーナ 1st place Bikova Irina
 - 準優勝/ロディオナ・リュドミラ 2nd place Rodionova Lyudmila

2006 体力別 (5月21日) '05 DEVISION CATEGORY

- 73名6階級 (愛知県武道館)
- (軽量)
- 優勝/平安 孝行 1st place Takayuki Hirayasu
 - 準優勝/渡部 和暁 2nd place Kzuaki Watanabe
- (中量)
- 優勝/原田 治久 1st place Haruhisa Harada
 - 準優勝/巻 礼史 2nd place Reiji Maki
- (軽重量)
- 優勝/小野 亮 1st place Ryo Ono
 - 準優勝/服部 宏明 2nd place Hiroaki Hattori
- (重量)
- 優勝/佐々木 嗣治 1st place Tsuguharu Sasaki
 - 準優勝/鶴屋 浩 2nd place Hiroshi Tsuruya
- (超重量)
- 優勝/平塚 洋二郎 1st place Youjiro Hiratsuka
 - 準優勝/西出 太郎 2nd place Taro Nishide
- (女子)
- 優勝/前原 映子 1st place Eiko Maehara
- 観戦記録/佐々木 嗣治 MVP Tsuguharu Sasaki

2006 無差別 (11月12日) '06 OPEN CATEGORY

- 48名4ブロック (ディファ有明)
- 優勝/藤松 泰通 1st place Yasumichi Fujimatsu
 - 準優勝/清水 和磨 2nd place Kazuma Shimizu
 - 3位/笹沢 一有 3rd place Kazuari Sasazawa
 - 4位/平塚 洋二郎 4th place Youjiro Hiratsuka
 - 5位/勝 直光 5th place Naomitu Katsu
 - 6位/前田 陽介 6th place Yosuke Maeda
 - 7位/今里 太二 7th place Taiji Imazato
 - 8位/楠田 卓也 8th place Takuya Inada

2006 全日本空道女子選手権大会

- 5名総当たり戦 (ディファ有明)
- 優勝/岡 裕美 1st place Hiromi Oka

2007 体力別 (5月27日) '07 DEVISION CATEGORY

- 83名6階級 (愛知県武道館)
(軽量)
●優勝/末廣 智明 1st place Tomoaki Suehiro
●準優勝/高橋 腕 2nd place Kaina Takahashi
(中量)
●優勝/我妻 猛 1st place Takeshi Agatsuma
●準優勝/榎並 博幸 2nd place Hiroyuki Enami
(軽重量)
●優勝/コノニコ・アレクセイ 1st place Alexei Kononenko
●準優勝/山内 真也 2nd place Shinya Yamauchi
(重量)
●優勝/志田 淳 1st place Jun Shida
●準優勝/佐々木 嗣治 2nd place Tsuguharu Sasaki
(超重量)
●優勝/藤田 忠司 1st place Tadashi Fujita
●準優勝/稲田 卓也 2nd place Takuya Inada
(女子)
●優勝/寺島 裕美 1st place Hiromi Terashima
●最優秀成績/志田 淳 MVP Jun Shida
●特別賞/久松 勇二 Special Prize Yuji Hisamatsu

2007 無差別 (12月8日) '07 OPEN CATEGORY

- 48名4ブロック (国立代々木第二体育館)
●優勝/藤松 泰通 1st place Yasumichi Fujimatsu
●準優勝/吉澤 雅宏 2nd place Masahiro Yoshizawa
●3位/高橋 腕 3rd place Kaina Takahashi
●4位/稲田 卓也 4th place Takuya Inada
●5位/久松 勇二 5th place Yuji Hisamatsu
●6位/平安 孝行 6th place Takayuki Hirayasu
●7位/堀越 亮祐 7th place Ryosuke Horikoshi
●8位/前田 隼介 8th place Yosuke Maeda
●特別賞/キーン・マイク Special Prize Mike Keenan
●特別賞/堀越 亮祐 Special Prize Ryosuke Horikoshi
●サブミッション・アーツ賞/久松 勇二 Submission Arts Prize Yuji Hisamatsu

2007 全日本空道女子選手権大会

- 8名2ブロック (国立代々木第二体育館)
●優勝/森本 絢香 1st place Ayaka Morimoto
●準優勝/岡 裕美 2nd place Hiromi Oka

2008 春期体力別 (6月1日) '08 DEVISION CATEGORY

- 90名6階級 (仙台サンプラザホール)
(軽量)
●優勝/高橋 腕 1st place Kaina Takahashi
●準優勝/太田 秀俊 2nd place Hidetoshi Ota
(中量)
●優勝/堀越 亮祐 1st place Ryosuke Horikoshi
●準優勝/田中 俊輔 2nd place Syunsuke Tanaka
(軽重量)
●優勝/コノニコ・アレクセイ 1st place Alexei Kononenko
●準優勝/鈴木 清治 2nd place Seiji Suzuki
(重量)
●優勝/平塚 洋二郎 1st place Yojiro Hratsuka
●準優勝/佐々木 嗣治 2nd place Tsuguharu Sasaki
(超重量)
●優勝/稲田 卓也 1st place Takuya Inada
●準優勝/藤田 忠司 2nd place Tadashi Fujita
(女子)
●優勝/前原 映子 1st place Eiko Maehara
●最優秀成績/コノニコ・アレクセイ MVP Alexei Kononenko

2008 秋期体力別 (11月9日) '08 DEVISION CATEGORY

- 84名6階級 (国立代々木第二体育館)
(軽量)
●優勝/平安 孝行 1st place Takayuki Hirayasu
●準優勝/宮地 孟 2nd place Hajime Miyaji
(中量)
●優勝/田中 俊輔 1st place Syunsuke Tanaka
●準優勝/青木 政樹 2nd place Masashige Aoki
(軽重量)
●優勝/コノニコ・アレクセイ 1st place Alexei Kononenko
●準優勝/勝 直光 2nd place Naomitu Katsu
(重量)
●優勝/佐々木 嗣治 1st place Tsuguharu Sasaki
●準優勝/木村 猛 2nd place Takeshi Kimura
(超重量)
●優勝/キーン・マイク 1st place Mike Keenan
●準優勝/吉澤 雅宏 2nd place Masahiro Yoshizawa
(女子)
●優勝/前原 映子 1st place Eiko Maehara
●準優勝/神山 歩未 2nd place Ayumi Kamiyama
●最優秀成績/コノニコ・アレクセイ MVP Alexei Kononenko

2009 体力別 (5月17日) '09 DEVISION CATEGORY

- 85名6階級 (仙台市青葉体育館・仙台市武道館)
(軽量)
●優勝/平安 孝行 1st place Takayuki Hirayasu
●準優勝/太田 秀俊 2nd place Hidetoshi Ota
(中量)
●優勝/田中 俊輔 1st place Syunsuke Tanaka
●準優勝/堀越 亮祐 2nd place Ryosuke Horikoshi
(軽重量)
●優勝/コノニコ・アレクセイ 1st place Alexei Kononenko
●準優勝/笹沢 一有 2nd place Kazuari Sasazawa
(重量)
●優勝/池田 隼太 1st place Hayata Ikeda
●準優勝/阿部 和幸 2nd place Kazuyuki Abe
(超重量)
●優勝/吉澤 雅宏 1st place Masahiro Yoshizawa
●準優勝/キーン・マイク 2nd place Mike Keenan
(女子)
●優勝/前原 映子 1st place Eiko Maehara
●最優秀成績/コノニコ・アレクセイ MVP Alexei Kononenko

2009 第三回世界大会 (11月14-15日) 3rd World Championship

- 146名7階級 (国立代々木第二体育館)
(女子)
●優勝/ラディオナ・ルデュミラ 1st place Radionova Ludumila
●準優勝/イワノワ・ダリナ 2nd place Ivanova Daryna (-230)
●優勝/コリヤン・エドガー 1st place Kolyan Edgar
●準優勝/中村 知大 2nd place Tomohiro Nakamura (-240)
●優勝/アブドゥルケリム・シャミール 1st place Abdulkirimov Shamil
●準優勝/田中 俊輔 2nd place Syunsuke Tanaka (-250)
●優勝/ケリムフ・シャンハル 1st place Kerimov Shankhal
●準優勝/コノニコ・アレクセイ 2nd place Alexei Kononenko (-260)
●優勝/カリエフ・アダフ 1st place Khaliev Adan
●準優勝/カトリノフ・アレクセイ 2nd place Kharitonov Alexei (-270)
●優勝/パノフ・ユリー 1st place Panov Yury
●準優勝/ビノグラドフ・アレクサンダー 2nd place Vinogradov Alexander (270+)
●優勝/ラサノフ・イブラギン 1st place Larsanov Ibragin
●準優勝/ビルゲルト・ニコライ 2nd place Vingert Nikolay

2010 体力別 (5月16日) '10 DEVISION CATEGORY

- 80名6階級 (愛知県武道館第一競技場)
(-230)
●優勝/平安 孝行 1st place Takayuki Hirayasu
●準優勝/近田 充 2nd place Mitsuru Konda (-240)
●優勝/榎並 博幸 1st place Hiroyuki Enami
●準優勝/田中 洋輔 2nd place Yosuke Tanaka (-250)
●優勝/勝 直光 1st place Naomitsu Katsu
●準優勝/曳田 祐一 2nd place Yuichi Hikita (-260)
●優勝/阿部 和幸 1st place Kazuyuki Abe
●準優勝/平田 誠一 2nd place Seiichi Hirata (260+)
●優勝/加藤 久輝 1st place Hisaki Kato
●準優勝/キーン・マイク 2nd place Mike Keenan
(女子)
●優勝/神山 歩未 1st place Ayumi Kamiyama
●最優秀成績/平安 孝行 MVP Takayuki Hirayasu
●特別賞/中村 和裕 Special Prize Kazuhiro Nakamura

2010 無差別 (11月20日) '10 OPEN CATEGORY

- 48名4ブロック (国立代々木第二体育館)
●優勝/加藤 久輝 1st place Hisaki kato
●準優勝/堀越 亮祐 2nd place Ryosuke Horikoshi
●3位/中村 知大 3rd place Nakamura Tomohiro
●4位/我妻 猛 4th place Takeshi Agatsuma
●5位/田中 俊輔 5th place Syunsuke Tanaka
●6位/渡部 秀一 6th place Shuichi Watabe
●7位/阿部 和幸 7th place Kazuyuki Abe
●8位/平安 孝行 8th place Takayuki Hirayasu
●特別賞/田中 洋輔 Special Prize Yosuke Tanaka
●特別賞/草薙 一司 Special Prize Hitoshi Kusanagi

2010 全日本空道女子選手権大会

- 4名1ブロック (国立代々木第二体育館)
●優勝/神山 歩未 1st place Ayumi Kamiyama

2011 体力別 (5月22日) '11 DEVISION CATEGORY

- 59名6階級 (愛知県武道館第一競技場)
(-230)
●優勝/平安 孝行 1st place Takayuki Hirayasu
●準優勝/草薙 一司 2nd place Hitoshi Kusanagi (-240)
●優勝/田中 俊輔 1st place Syunsuke Tanak
●準優勝/堀越 亮祐 2nd place Ryosuke Horikoshi (-250)
●優勝/鈴木 清治 1st place Seiji Suzuki
●準優勝/魚津 礼一 2nd place Reiichi Uozu (-260)
●優勝/阿部 和幸 1st place Kazuyuki Abe (260+)
●優勝/加藤 久輝 1st place Hisaki Kato (女子)
●優勝/神山 喜未 1st place Konomi Kamiyama
●最優秀成績/加藤 久輝 MVP Hisaki Kato

2011 無差別 (11月12日) '11 OPEN CATEGORY

- 48名4ブロック (国立代々木第二体育館)
●優勝/堀越 亮祐 1st place Ryosuke Horikoshi
●準優勝/キーン・マイク 2nd place Mike Keenan
●3位/佐々木 嗣治 3rd place Tsuguharu Sasaki
●4位/中村 知大 4th place Nakamura Tomohiro
●5位/田中 俊輔 5th place Syunsuke Tanaka
●6位/杉浦 宗憲 6th place Muneyasu Sugiyura
●7位/榎並 博幸 7th place Hiroyuki Enami
●8位/阿部 和幸 8th place Kazuyuki Abe
●特別賞/谷井 翔太 Special Prize Shouta Tanii
●特別賞/藤田 隆 Special Prize Takashi Fujita

2011 全日本空道女子選手権大会

- 4名1ブロック (国立代々木第二体育館)
●優勝/神山 喜未 1st place Konomi Kamiyama

2012 体力別 (5月13日) '12 DEVISION CATEGORY

- 74名6階級 (仙台市青葉体育館)
(-230)
●優勝/宮路 孟 1st place Hajime Miyaji
●準優勝/平安 孝行 2nd place Takayuki Hirayasu (-240)
●優勝/内田 淳一 1st place Jyunichi Uchida
●準優勝/堀越 亮祐 2nd place Ryosuke Horikoshi (-250)
●優勝/コノニコ・アレクセイ 1st place Alexei Kononenko
●準優勝/笹沢 一有 2nd place Kazuari Sasazawa (-260)
●優勝/阿部 和幸 1st place Kazuyuki Abe
●準優勝/平塚 洋二郎 2nd place Youjiro Hiratsuka (260+)
●優勝/加藤 久輝 1st place Hisaki Kato
●準優勝/キーン・マイク 2nd place Mike Keenan (女子)
●優勝/吉倉 千秋 1st place Chiaki Yoshikura
●準優勝/神山 歩未 2nd place Ayumi Kamiyama
●最優秀成績/加藤 久輝 MVP Hisaki Kato

2012 無差別 (11月10日) '12 OPEN CATEGORY

- 48名4ブロック (国立代々木第二体育館)
●優勝/加藤 久輝 1st place Hisaki Kato
●準優勝/堀越 亮祐 2nd place Ryosuke Horikoshi
●3位/加藤 和徳 3rd place Kazunori Kato
●4位/中村 知大 4th place Tomohiro Nakamura
●5位/中村 和裕 5th place Kazuhiro Nakamura
●6位/渡部 秀一 6th place Shuichi Watabe
●7位/鈴木 智大 7th place Tomohiro Suzuki
●8位/草薙 一司 8th place Hitoshi Kusanagi
●特別賞/日黒 雄太 Special Prize Yuta Meguro

2012 全日本空道女子選手権大会

- 6名2ブロック (国立代々木第二体育館)
●優勝/吉倉 千秋 1st place Chiaki Yoshikura

2013 体力別 (5月19日) '13 DEVISION CATEGORY

- 84名6階級 (仙台市青葉体育館)
- (-230)
- 優勝/末廣 智明 1st place Tomoaki Suehiro
 - 準優勝/目黒 雄太 2nd place Yuta Meguro
- (-240)
- 優勝/飯村 健一 1st place Kenichi Iimura
 - 準優勝/堀越 亮祐 2nd place Ryosuke Horikoshi
- (-250)
- 優勝/コバノコ・アレキセイ 1st place Alexei Kononenko
 - 準優勝/魚津 礼一 2nd place Reiichi Uozu
- (-260)
- 優勝/平塚 洋二郎 1st place Yojiro Hiratsuka
 - 準優勝/笹沢 一有 2nd place Kazuari Sasazawa
- (260+)
- 優勝/加藤 久輝 1st place Hisaki Kato
 - 準優勝/キーン・マイク 2nd place Mike Keenan
- (女子)
- 優勝/前原 映子 1st place Eiko Maehara
 - 準優勝/庄子 亜久理 2nd place Aguri Syoji
- 観戦特別賞/コバノコ・アレキセイ MVP Alexei Kononenko

2013 無差別 (11月16日) '13 OPEN CATEGORY

- 51名4ブロック (国立代々木第二体育館)
- 優勝/加藤 久輝 1st place Hisaki Kato
 - 準優勝/中村 知大 2nd place Tomohiro Nakamura
 - 3位/谷井 翔太 3rd place Shouta Tani
 - 4位/目黒 雄太 4th place Yuta Meguro
 - 5位/渡部 秀一 5th place Shuichi Watabe
 - 6位/キーン・マイク 6th place Mike Keenan
 - 7位/深澤 元貴 7th place Mototaka Fukasawa
 - 8位/内田 淳一 8th place Junichi Uchida
- 特別賞/加藤 和徳 Special Prize Kazunori Kato
- 特別賞/塩田 さやか Special Prize Sayaka Shiota

2013 全日本空道女子選手権大会

- 10名2ブロック (国立代々木第二体育館)
- 優勝/前原 映子 1st place Eiko Maehara
 - 準優勝/庄子 亜久理 2nd place Aguri Syoji

2014 体力別 (5月11日) '14 DEVISION CATEGORY

- 89名6階級 (仙台市青葉体育館)
- (女子)
- 優勝/庄子 亜久理 1st place Aguri Syoji
 - 準優勝/前原 映子 2nd place Eiko Maehara
- (-230)
- 優勝/末廣 智明 1st place Tomoaki Suehiro
 - 準優勝/谷井 翔太 2nd place Shouta Tani
- (-240)
- 優勝/堀越 亮祐 1st place Ryosuke Horikoshi
 - 準優勝/内田 淳一 2nd place Junichi Uchida
- (-250)
- 優勝/コバノコ・アレキセイ 1st place Alexei Kononenko
 - 準優勝/勝 直光 2nd place Naomitsu Katsu
- (-260)
- 優勝/加藤 和徳 1st place Kazunori Kato
 - 準優勝/渡部 秀一 2nd place Shuichi Watabe
- (260+)
- 優勝/加藤 久輝 1st place Hisaki Kato
 - 準優勝/野村 幸汰 2nd place Kota Nomura
- 観戦特別賞/加藤 久輝 MVP Hisaki Kato

2014 第4回世界大会 (11月15・16日) 4th World Championship

- 134名7階級 (国立代々木第二体育館)
- (女子)
- 優勝/アリナ・レゼPKINA 1st place Alina Rezepkina
 - 準優勝/イリナ・ビコヴァ 2nd place Irina Bykova
- (-230)
- 優勝/中村 知大 1st place Tomohiro Nakamura
 - 準優勝/エドガー・コリアン 2nd place Edgar Kolyan
- (-240)
- 優勝/ゲガム・マナヴァズヤン 1st place Gegam Manavazyan
 - 準優勝/アンドレイ・グリシン 2nd place Andrey Grishin
- (-250)
- 優勝/ルスラン・ケレハセフ 1st place Ruslan Kelehsaev
 - 準優勝/清水 亮汰 2nd place Ryota Shimizu
- (-260)
- 優勝/アダム・カリエフ 1st place Adam Khaliev
 - 準優勝/アレクセイ・KHARITONOV 2nd place Alexei Kharitonov
- (-270)
- 優勝/コンスタンチン・カラウニKH 1st place Konstantin Karaulnikh
 - 準優勝/ユリ・パノフ 2nd place Yury Panov
- (270+)
- 優勝/シロマエフ・エヴェグ 1st place Shalomaev Eveyg
 - 準優勝/野村 幸汰 2nd place Kota Nomura

2015 体力別 (5月5日) '15 DEVISION CATEGORY

- 71名6階級 (仙台市青葉体育館)
- (-230)
- 優勝/目黒 雄太 1st place Yuta Meguro
 - 準優勝/田中 正明 2nd place Masaaki Tanaka
- (-240)
- 優勝/川下 義人 1st place Yoshito Kawashita
 - 準優勝/巻 礼史 2nd place Reiji Maki
- (-250)
- 優勝/加藤 智亮 1st place Tomoaki Kato
 - 準優勝/藤田 隆 2nd place Takashi Fujita
- (-260)
- 優勝/山田 壮 1st place So Yamada
 - 準優勝/加藤 和徳 2nd place Kazunori Kato
- (260+)
- 優勝/野村 幸汰 1st place Kota Nomura
 - 準優勝/岩崎 大河 2nd place Taiga Iwasaki
- (女子)
- 優勝/今野 春夏 1st place Kyoka Konno
 - 準優勝/神山 喜未 2nd place Konomi Kamiyama
- 観戦特別賞/野村 幸汰 MVP Kota Nomura

2015 無差別 (11月14日) '15 OPEN CATEGORY

- 49名4ブロック (国立代々木第二体育館)
- 優勝/清水 亮汰 1st place Ryota Shimizu
 - 準優勝/目黒 雄太 2nd place Yuta Meguro
 - 3位/田中 洋輔 3rd place Yosuke Tanaka
 - 4位/押木 英慶 4th place Yoshimichi Oshiki
 - 5位/加藤 和徳 5th place Kazunori Kato
 - 6位/野村 幸汰 6th place Kota Nomura
 - 7位/小芝 裕也 7th place Hiroya Koshiba
 - 8位/國枝 厚志 8th place Atsushi Kunieda
- 特別賞/川下 義人 Special Prize Yoshito Kawashita
- 特別賞/渡辺 慎二 Special Prize Shinji Watanabe

2015 全日本空道女子選手権大会

- 5名1ブロック (国立代々木第二体育館)
- 優勝/大谷 美結 1st place Miyu Otani

2016 体力別 (5月4日) '16 DEVISION CATEGORY

- 68名7階級 (仙台市青葉体育館)
- (-230)
- 優勝/目黒 雄太 1st place Yuta Meguro
 - 準優勝/近田 充 2nd place Mitsuru Konda
- (-240)
- 優勝/田中 洋輔 1st place Yosuke Tanaka
 - 準優勝/川下 義人 2nd place Yoshito Kawashita
- (-250)
- 優勝/清水 亮汰 1st place Ryota Shimizu
 - 準優勝/加藤 智亮 2nd place Tomoaki Kato
- (-260)
- 優勝/加藤 和徳 1st place Kazunori Kato
 - 準優勝/渡部 秀一 2nd place Shuichi Watabe
- (260+)
- 優勝/野村 幸汰 1st place Kota Nomura
 - 準優勝/岩崎 大河 2nd place Taiga Iwasaki
- (女子 -215)
- 優勝/渡辺富紀恵 1st place Fukie Watanabe
- (女子 215+)
- 優勝/大谷 美結 1st place Miyu Otani
- 観戦特別賞/目黒 雄太 MVP Yuta Meguro

2016 無差別 (11月12日) '16 OPEN CATEGORY

- 51名4ブロック (国立代々木第二体育館)
- 優勝/野村 幸汰 1st place Kota Nomura
 - 準優勝/清水 亮汰 2nd place Ryota Shimizu
 - 3位/押木 英慶 3rd place Yoshimichi Oshiki
 - 4位/川下 義人 4th place Yoshito Kawashita
 - 5位/目黒 雄太 5th place Yuta Meguro
 - 6位/内田 淳一 6th place Junichi Uchida
 - 7位/山崎 順也 7th place Junya Yamazaki
 - 8位/岩崎 大河 8th place Taiga Iwasaki
- 特別賞/辻野 浩平 Special Prize Kohei Tsujino
- 特別賞/加藤 久輝 Special Prize Hisaki Kato

2016 全日本空道女子選手権大会

- 7名1ブロック (国立代々木第二体育館)
- 優勝/大谷 美結 1st place Miyu Otani
 - 準優勝/東 由美子 2nd place Yumiko Azuma

2017 体力別 (5月27日) '17 DEVISION CATEGORY

- 70名7階級 (国立代々木第二体育館)
- (-230)
- 優勝/目黒 雄太 1st place Yuta Meguro
 - 準優勝/谷井 翔太 2nd place Syota Tani
- (-240)
- 優勝/神代 雄太 1st place Yuta Jindai
 - 準優勝/田中 洋輔 2nd place Yosuke Tanaka
- (-250)
- 優勝/加藤 智亮 1st place Tomoaki Kato
 - 準優勝/山崎 順也 2nd place Junya Yamazaki
- (-260)
- 優勝/清水 亮汰 1st place Ryota Shimizu
 - 準優勝/伊藤 新太 2nd place Arata Ito
- (260+)
- 優勝/岩崎 大河 1st place Taiga Iwasaki
 - 準優勝/野村 幸汰 2nd place Kota Nomura
- (女子 -215)
- 優勝/大倉 萌 1st place Moe Okura
- (女子 215+)
- 優勝/大谷 美結 1st place Miyu Otani
 - 準優勝/吉倉 千秋 2nd place Chiaki Yoshikura
- 観戦特別賞/清水 亮汰 MVP Ryota Shimizu

2017 第3回アジア大会 (11月12日) 3rd Asia KUDO Championship

- 78名8階級 (仙台市青葉体育館)
- (女子 -220)
- 優勝/作田千代美 1st place Chiyomi Sakuta
- (女子 220+)
- 優勝/大谷 美結 1st place Miyu Otani
- (-230)
- 優勝/谷井 翔太 1st place Shota Tani
 - 準優勝/目黒 雄太 2nd place Yuta Meguro
- 3位/近田 充 3rd place Mitsuru Konda
- (-240)
- 優勝/中村 知大 1st place Tomohiro Nakamura
 - 準優勝/巻 礼史 2nd place Reiji Maki
 - 3位/神代 雄太 3rd place Yuta Jindai
- (-250)
- 優勝/山崎 順也 1st place Junya Yamazaki
 - 準優勝/加藤 智亮 2nd place Tomoaki Kato
- 3位/安富 北斗 3rd place Hokuto Yasutomi
- (-260)
- 優勝/清水 亮汰 1st place Ryota Shimizu
 - 準優勝/加藤 和徳 2nd place Kazunori Kato
- 3位/フィ・ギョ・キム 3rd place WHI GYU KIM
- (-270)
- 優勝/バイラン・ゴザロフ 1st place BAYRAM GOZALOV
- (270+)
- 優勝/野村 幸汰 1st place Kota Nomura
- 観戦特別賞/野村 幸汰 MVP Kota Nomura
- 特別賞/バイラン・ゴザロフ Special Prize BAYRAM GOZALOV
- 平塚賞/谷井 翔太 Hiratsuka Prize Shota Tani

2018 体力別 (5月13日) '18 DEVISION CATEGORY

- 68名7階級 (仙台市青葉体育館)
- (230以下)
- 優勝/目黒 雄太 1st place Yuta Meguro
 - 準優勝/菊地 逸斗 2nd place Hayato Kikuchi
- (240以下)
- 優勝/神代 雄太 1st place Yuta Jindai
 - 準優勝/服部 晶汰 2nd place Akihiro Hattori
- (250以下)
- 優勝/藤田 隆 1st place Takashi Fujita
 - 準優勝/安富 北斗 2nd place Hokuto Yasutomi
- (260以下)
- 優勝/伊藤 新太 1st place Arata Ito
 - 準優勝/辻野 浩平 2nd place Kohei Tsujino
- (260超)
- 優勝/岩崎 大河 1st place Taiga Iwasaki
 - 準優勝/野村 幸汰 2nd place Kota Nomura
- (女子 220以下)
- 優勝/小柳 菜生 1st place Mai Koyanagi
- (女子 220超)
- 優勝/今野 春夏 1st place Kyoka Imano
- 観戦特別賞/目黒 雄太 MVP Yuta Meguro

2018第5回世界大会(12月1・2日) 5th World Championship

- 151名8階級(愛知県体育館)
(女子-220)
●優勝/アナスタシア・モシキナ 1st place Anastasiia Moshkina
●準優勝/クリスタ・サンドルキナ 2nd place Kristina Sandrkina
(女子220+)
●優勝/クリスタ・ステパニヤン 1st place Kristina Stepanyan
●準優勝/アレクサンドラ・サビシェヴァ (-230)
●優勝/ヴラジミール・ミロシュニコフ 1st place Vladimir Miroshnikov
●準優勝/中村 知大 2nd place Tomohiro Nakamura
●3位/エドガー・コリヤン 3rd place Edgar Kolyan
●4位/谷井 翔太 4th place Shota Tanii
(-240)
●優勝/ゲガム・マナヴァジアン 1st place Gegam Manavazian
●準優勝/ラウリ・ツタラウリ 2nd place Rauli Tutarauli
●3位/服部 晶洗 3rd place Akihiro Hattori
●4位/アンドレイ・グリシニン 4th place Andrei Grishin
(-250)
●優勝/イゴリ・ペルミン 1st place Igor Permin
●準優勝/ロマン・クリエフ 2nd place Roman Kuliev
●3位/加藤 智亮 3rd place Tomoaki Kato
●4位/山崎 順也 4th place Junya Yamazaki
(-260)
●優勝/清水 亮汰 1st place Ryota Shimizu
●準優勝/加藤 和徳 2nd place Kazunori Kato
●3位/アダム・カリエフ 3rd place Adam Khaliev
●4位/イワン・シュペド 4th place Ivan Shpedt
(-270)
●優勝/コンスタンチン・カラウリヌキ 1st place Konstantin Karaulnykh
●準優勝/アンドレイ・チェルニク 2nd place Andrei Chernykh
●3位/目黒 雄太 3rd place Tsuyoshi Meguro
(270+)
●優勝/マラット・アリシハバフ 1st place Marat Aliashkhabov
●準優勝/セルゲイ・ミナコフ 2nd place Sergei Minakov
●3位/野村 幸汰 3rd place Kota Nomura
●最優秀審判/ゲガム・マナヴァジアン MVP Gegam Manavazian

2019体力別(5月12日)'19 DEVISION CATEGORY

- 70名7階級(愛知県武道館)
(230以下)
●優勝/目黒 雄太 1st place Yuta Meguro
●準優勝/小芝 裕也 2nd place Yuya Koshiba
(240以下)
●優勝/寺口 法秀 1st place Norihide Teraguchi
●準優勝/伊藤 駿 2nd place Shun Ito
(250以下)
●優勝/安富 北斗 1st place Hokuto Yasutomi
●準優勝/玉木 直哉 2nd place Naoya Tamaki
(260以下)
●優勝/渡部 秀一 1st place Shuichi Watabe
●準優勝/加藤 智亮 2nd place Tomoaki Kato
(260超)
●優勝/奈良 朋弥 1st place Tomoya Nara
(女子220以下)
●優勝/熊谷 鞠月 1st place Mizuki Kumagai
(女子220超)
●優勝/チツアレフ・タチアナ 1st place Tatiana Tsytsareva
●最優秀審判/渡部 秀一 MVP Shuichi Watabe

2019無差別(11月9日)'19 OPEN CATEGORY

- 51名5ブロック(愛知県武道館)
●優勝/加藤 和徳 1st place Kazunori Kato
●準優勝/岩崎 大河 2nd place Taiga Iwasaki
●3位/服部 晶洗 3rd place Akihiro Hattori
●4位/目黒 雄太 4th place Yuta Meguro
●5位/寺口 法秀 5th place Norihide Teraguchi
●6位/曾山 遼太 6th place Ryota Soyama
●7位/加藤 智亮 7th place Tomoaki Kato
●8位/押木 英慶 8th place Yoshimichi Oshiki
●特別賞/岩崎 大河 Special Prize Taiga Iwasaki
女子の部
●優勝/今野 杏夏 1st place Kyoka Imano
●準優勝/大倉 萌 2nd place Moe Okura

2021体力別(5月9日)'21 DEVISION CATEGORY

- 38名6階級(おいらせ町民交流センターアリーナ)
(230以下)
●優勝/目黒 雄太 1st place Yuta Meguro
●準優勝/大西 凜蔵 2nd place Ririto Onishi
(240以下)
●優勝/谷井 翔太 1st place Syota Tanii
●準優勝/遠藤 春翔 2nd place Haruto Endo
(250以下)
●優勝/加藤 智亮 1st place Tomoaki Kato
●準優勝/小野寺 稜太 2nd place Ryota Onodera
(260以下)
●優勝/清水 亮汰 1st place Ryota Shimizu
●準優勝/近藤 瑞起 2nd place Mizuki Kondo
(260超)
●優勝/奈良 朋弥 1st place Tomoya Nara
(女子ワンマッチ)
●勝利者/渡邊 富紀恵 1st place Fukie Watanabe
●最優秀審判/清水 亮汰 MVP Ryota Shimizu

2022体力別(5月29日)'22 DEVISION CATEGORY

- 71名7階級(国立代々木競技場 第二体育館)
(230以下)
●優勝/目黒 雄太 1st place Yuta Meguro
●準優勝/ソムチャ・ヌエナ 2nd place Somchai Nuena
(240以下)
●優勝/伊東 宗志 1st place Soshi Ito
●準優勝/遠藤 春翔 2nd place Haruto Endo
(250以下)
●優勝/小野寺 稜太 1st place Ryota Onodera
●準優勝/佐川 太郎 2nd place Taro Sagawa
(260以下)
●優勝/近藤 瑞起 1st place Mizuki Kondo
●準優勝/麦谷 亮介 2nd place Ryosuke Mugitani
(260超)
●優勝/岩崎 大河 1st place Taiga Iwasaki
●準優勝/奈良 朋弥 2nd place Tomoya Nara
(女子220以下)
●優勝/大倉 萌 1st place Moe Okura
●優勝/内藤 雅子 1st place Masako Naito
●最優秀審判/近藤 瑞起 MVP Mizuki Kondo

2022アジア選抜(11月13日) Asia KUDO Invitational

- 54名8階級(カメイアリーナ仙台)
(女子-220)
●優勝/大倉 萌 1st place Moe Okura
●準優勝/プーレイヤ・ダヴァジャール 2nd place Purevijav Davaajargal
●3位/熊倉 彩夏 3rd place Ayaka Kumakura
(女子220+)
●優勝/内藤 雅子 1st place Masako Naito
(-230)
●優勝/谷井 翔太 1st place Syota Tanii
●準優勝/目黒 雄太 2nd place Yuta Meguro
●3位/中川 昇龍 3rd place Shoryu Nakagawa
(-240)
●優勝/遠藤 春翔 1st place Haruto Endo
●準優勝/伊東 宗志 2nd place Soshi Ito
●3位/エンクハット・モロムヤムツ (-250)
●優勝/寺阪 翼 1st place Tsubasa Terasaka
●準優勝/佐川 太郎 2nd place Taro Sagawa
●3位/高橋 直人 3rd place Naoto Takahashi
(-260)
●優勝/イ・ウン Chol 1st place Lee Eun Cheol
●準優勝/近藤 瑞起 2nd place Mizuki Kondo
●3位/宮原 穰 3rd place Jo Miyahara
(-270)
●優勝/西尾 勇輝 1st place Yuki Nishio
(270+)
●優勝/岩崎 大河 1st place Taiga Iwasaki
●準優勝/長沢 新 2nd place Shin Nagasawa
●最優秀審判/岩崎 大河 MVP Taiga Iwasaki

2023第6回世界大会(5月13・14日) 6th World Championship

- 97名8階級(国立代々木競技場 第二体育館)
(女子-220)
●優勝/小野寺 玲奈 1st place Reina Onodera
●準優勝/大倉 萌 2nd place Moe Okura
●3位/イリア・アグレスト 3rd place Ilaria Agresta
(女子220+)
●優勝/内藤 雅子 1st place Masako Naito
●準優勝/プリシラ・レモンドーニ 2nd place Priscilla Remondini
●3位/ザイネブ・ジェマ 3rd place Zaineb Jemaa
(-230)
●優勝/目黒 雄太 1st place Yuta Meguro
●準優勝/佐々木 龍希 2nd place Ryuki Sasaki
●3位/谷井 翔太 3rd place Syota Tanii
●4位/カルロス・フェリペ・メンドンサ・ガルシア 4th place Carlos Felipe Mendonca Garcia
(-240)
●優勝/寺口 法秀 1st place Norihide Teraguchi
●準優勝/曾山 遼太 2nd place Ryota Soyama
●3位/キョウ・ヒョン・キム 3rd place Kyung Hyun Kim
●4位/アドリアン・バル 4th place Hadrien Barre
(-250)
●優勝/小野寺 稜太 1st place Ryota Onodera
●準優勝/ヴィリウス・タラセヴィチウス 2nd place Vilius Tarasevicius
●3位/レムス・モガ 3rd place Remus Moga
●4位/寺阪 翼 4th place Tsubasa Terasaka
(-260)
●優勝/リディエール・コンザレズ 1st place Lidier Jorriñ Conzalez
●準優勝/近藤 瑞起 2nd place Mizuki Kondo
●3位/ナラ・フランカ・モウラオ・ゴントジョ 3rd place Nara Franca Mourao Gontijo
●4位/麦谷 亮介 4th place Ryosuke Mugitani
(-270)
●優勝/ヴサル・アリエフ 1st place Vusal Aliyev
●準優勝/ゲディミナス・マカウスカス 2nd place Gediminas Makauskas
●3位/西尾 勇輝 3rd place Yuki Nishio
●4位/ウーラム・キム 4th place Woo Ram Kim
(270+)
●優勝/岩崎 大河 1st place Taiga Iwasaki
●準優勝/アドリアーノ・リヴィオ・メネグヘッティ 2nd place Adriano Livio Meneghetti
●3位/タメル・テムサマニ 3rd place Tamer Tamsamani
●最優秀審判/リディエール・コンザレズ MVP Lidier Jorriñ Conzalez

2023無差別(11月19日)'23 OPEN CATEGORY

- 32名5ブロック(カメイアリーナ仙台)
●優勝/西尾 勇輝 1st place Yuki Nishio
●準優勝/佐々木 龍希 2nd place Ryuki Sasaki
●3位/遠藤 春翔 3rd place Haruto Endo
●4位/辻野 浩平 4th place Kohei Tsujino
●5位/服部 晶洗 5th place Akihiro Hattori
●6位/中上 悠大 6th place Yutaro Nakagami
●7位/目黒 雄太 7th place Yuta Meguro
●8位/小野寺 稜太 8th place Ryota Onodera
女子の部
●優勝/渡辺 伶那 1st place Reina Watanabe

2024体力別(5月26日)'24 DEVISION CATEGORY

- 50名6階級(愛知県武道館)
(女子220以下)
●優勝/小野寺 玲奈 1st place Reina Onodera
●準優勝/大倉 萌 2nd place Moe Okura
(230以下)
●優勝/目黒 雄太 1st place Yuta Meguro
●準優勝/佐々木 龍希 2nd place Ryuki Sasaki
(240以下)
●優勝/谷井 翔太 1st place Syota Tanii
●準優勝/伊東 宗志 2nd place Soshi Ito
(250以下)
●優勝/鈴木 浩佑 1st place Kosuke Suzuki
●準優勝/中村 凌 2nd place Ryo Nakamura
(260以下)
●優勝/林 洗聖 1st place Kosei Hayashi
●準優勝/麦谷 亮介 2nd place Ryosuke Mugitani
(260超)
●優勝/宮原 穰 1st place Jo Miyahara
●準優勝/山田 泰輔 2nd place Taisuke Yamada
●最優秀審判/宮原 穰 MVP Jo Miyahara
●東孝賞/宮原 穰 Azuma Takashi Award Jo Miyahara

2024無差別(11月3日)'24 OPEN CATEGORY

- 46名5ブロック(国立代々木競技場 第二体育館)
●優勝/中上 悠大 1st place Yutaro Nakagami
●準優勝/西尾 勇輝 2nd place Yuki Nishio
●3位/服部 晶洗 3rd place Akihiro Hattori
●4位/目黒 雄太 4th place Yuta Meguro
●5位/佐々木 龍希 5th place Ryuki Sasaki
●6位/谷井 翔太 6th place Syota Tanii
●7位/林 洗聖 7th place Kosei Hayashi
●8位/佐々木 虎徹 8th place Kotetsu Sasaki
女子の部
●優勝/小野寺 玲奈 1st place Reina Onodera
●準優勝/宮 梨江 2nd place Rie Miya

2025体力別 (5月25日) '25 DEVISION CATEGORY

47名7階級〈豊島区立 豊島体育館〉

(230以下)

- 優勝/目黒 雄太 1st place Yuta Meguro
- 準優勝/大西 凜麿 2nd place Ririto Onishi

(240以下)

- 優勝/曾山 遼太 1st place Ryota Soyama
- 準優勝/伊東 宗志 2nd place Soshi Ito

(250以下)

- 優勝/中上悠大朗 1st place Yutaro Nakagami
- 準優勝/鈴木 浩祐 2nd place Kosuke Suzuki

(260以下)

- 優勝/麦谷 亮介 1st place Ryosuke Mugitani
- 準優勝/林 沈聖 2nd place Kosei Hayashi

(260超)

- 優勝/松岡 陽太 1st place Yota Matsuoka

(女子 220以下)

- 優勝/小野寺玲奈 1st place Reina Onodera
- 準優勝/西田美玖莉 2nd place Mikuri Nishida

(女子 220超)

- 優勝/小関 沙樹 1st place Saki Koseki

- 最優秀成績/目黒 雄太 MVP Yuta Meguro

2025第4回アジア大会 (11月13日) 4th Asia KUDO Championship

56名8階級〈国立代々木競技場 第二体育館〉

(女子 -220)

- 優勝/小野寺 玲奈 1st place Reina Onodera
- 準優勝/Олесья Сергеевна Булдакова 2nd place Olesia Sergeevna Buldakova

(女子 220+)

- 優勝/服部 雅子 1st place Masako Hattori
- 準優勝/प्रियाकुमारी थापा 2nd place Priya Kumari Thapa

(-230)

- 優勝/大西 凜麿 1st place Ririto Onishi
- 準優勝/鈴木 誠士 2nd place Seiji Suzuki

(-240)

- 優勝/Вануш Чакхоян 1st place Vanush Chakhoyan
- 準優勝/佐々木 虎徹 2nd place Kotetsu Sasaki

(-250)

- 優勝/鈴木 浩祐 1st place Kosuke Suzuki
- 準優勝/中村 凌 2nd place Ryo Nakamura

(-260)

- 優勝/水村 健太郎 1st place Kentaro Mizumura
- 準優勝/麦谷 亮介 2nd place Ryosuke Mugitani

(-270)

- 優勝/Руслан Джфаров 1st place Ruslan Dzafarov
- 準優勝/Темірлан Айтимов 2nd place Temirlan Aitimov

(270+)

- 優勝/デユ・キム 1st place Daeyoo Kim

空道無門

KUDOMUMON VOL.19

空道全日本選手権パンフレット内の情報コーナー「空道無門」。国民スポーツ大会パンフレットに出張いたします！今大会の展望と、空道に関する企画記事をお楽しみください。

文責・全日本空道連盟広報部

第80回 国民スポーツ大会 デモンストレーションスポーツ空道展望

今大会で「コクタイ優勝」の称号を得ることは、のちに振り返ったときに、唯一無二の価値をもつ

【総論】

「コクタイ出場」「コクタイ優勝」といえば、スポーツ界を生きる者にとって、常にステータスであったといえよう。スポーツをやっていないひとに対しても「出たことがある」といえば「へえ、凄いね!」となるのが「コクタイ」である。そんなコクタイ(かつての国民体育大会、現在の国民スポーツ大会)において競技が実施された格闘技(徒手武道)は、柔道・ノンコンタクト空手・相撲・レスリング・ボクシングなどの社会的既得権をもつもの以外では、ほとんどない。フルコンタクト空手も、キックボクシングも、MMAも、ブラジリアン柔術も「コクタイ」で競技が実施されたことは、ないのだ。また、空道に関しても、次回はいつコクタイでの競技実施が実現するかは分からない状況である。それだけに今回、「コクタイ優勝」の称号を得ることは、のちに人生を振り返ったときに、唯一無二の価値をもつものとなる可能性が高い。その価値ある頂点を競う有力選手を、以下、紹介する。

各階級 展望

-230クラス

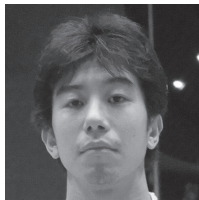
佐々木が戦線復帰。我々は、ついに目黒越えのドラマを目にするのか？



▲目黒雄太



▲佐々木龍希



▲大西凜駿



▲鈴木誠士

むろん2015、2016、2017、2018、2019、2021、2022年、2024、2025年と全日本-230クラス9連覇を達成している“ミスターKUDO”目黒雄太が優勝候補筆頭である。しかし、今大会はその目黒の独自の試合展開……ノーガード、側転したり、飛び跳ねたり、寝技で下から頭突きしたり……が打破される可能性が、過去イチ高いと思われる。まず、2023世界選手権、2024年全日本決勝で目黒と鏖した佐々木龍希が、戦線復帰を果たすことがトピックだ。佐々木は高校卒業とともに大道塾総本部内弟子となり、19歳で全日本無差別で準優勝を果たす(2023)など、目覚ましい進撃を続けていたが、2025年年初に父である佐々木亮一・大道塾小樽支部支部長が急逝したことに伴い帰郷、支部運営を引き継ぎ、それ以来、競技からは遠ざかっていた。果たして、現時点での戦闘力は、以前と同様か？いや、以前以上に伸びているのか？一方、レスリング仕込みのタックルや反り投げを駆使し直近の国際大会(2025アジア選手権)でこの階級の王者となった大西凜駿はディフェンディングチャンピオンの立位置にいてもよいだろう。また、この三つ巴の闘いに、ともに佐々木と旗の割れる接戦を展開した過去をもつ鈴木誠士、田中脩斗、関東予選優勝の今村将崇、西日本予選優勝の中川昇龍らが割って入るかが見もの。我々は、ついに「目黒越え」のドラマを目にするのか？そのドラマの主人公となるのは誰なのか？

-240クラス

5強コンプリート！ 史上最高レベルの闘いを制するのは？



▲曾山遼太



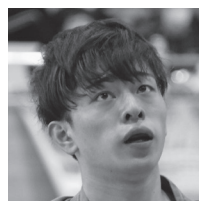
▲伊東宗志



▲谷井翔太



▲佐々木虎徹



▲遠藤春翔

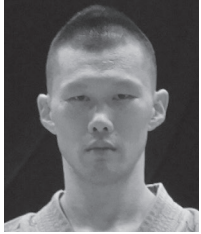


▲佐々木翼

昨年2025年、悲願の全日本体カ別-240クラス優勝を果たした曾山遼太、22年全日本同カテゴリー優勝、24・25年同準優勝の伊東宗志、2024年ワールドカップにおいて、東欧&旧ソ連圏の強豪を連破して王者となった谷井翔太、2025年アジア選手権準優勝の佐々木虎徹と、近年トップ戦線で活躍する4強に加え、2022年アジア選手権優勝以来の戦線復帰となる遠藤春翔は、横一線といってよいだろう。いわば5強コンプリート！ハイキックの曾山、硬いパンチの伊東、プロMMA並行活動中の谷井、ムエタイスタイルの佐々木、スピード最速の遠藤……このメンバーが全員揃ったトーナメントは、-240クラス45年の歴史において最高レベルの闘いといって過言ではないだろう。追走する西日本予選優勝の佐々木翼、九州・沖縄予選優勝の鶴田陸、東北予選決勝を遠藤と争った佐々木惣一朗らも侮れない。

ー250クラス

山田の“世界一の関節技”は30秒×2回で仕留め切るのか？



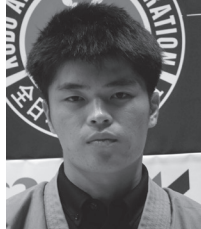
▲鈴木浩祐



▲山田崇太郎



▲中村凌



▲佐藤裕太

現状では、空道のトップレベルの大会への出場を果たすのは空道競技のための練習を専門に行っている団体・大道塾の選手が大半を占めるが、この階級は、大道塾所属でない2選手が台風の目となりそうだ。ひとは、2024・2025年と、この階級の全日本連覇を果たしている鈴木浩祐。鈴木は「小杉道場」という団体の所属選手だが、柔道出身でキックボクシングのアマチュア全日本大会優勝の実績を持ち、道着を掴んでの打撃攻防など、空道オリジナルのテクニク攻防への対応力もしっかり身につけている。もうひとは、プロMMAの世界で活躍し、数々のサブミッションレスリング系競技で世界選手権優勝経験を持つ山田崇太郎。関東予選でも腕関節技で一本! 足関節技でも一本!と、その持ち味を発揮していただけに、今大会においても打撃系の選手を寝技地獄に引きずり込むことができるか、目が離せない。1試合において1回につき30秒、2回までしか許されない寝技で一本を取り続ける名人芸に、場内から驚嘆の声があがることになるのか? 迎え撃つ大道塾勢は、ボクシングと柔道のキャリアを武器に、離ればパンチでKO、組めば豪快な内股を決め、2024・2025年と2年連続でこの階級の全日本ファイナリストとなった中村凌、自衛隊で修練する日本拳法仕込みの右ストレートを武器に2018年のこの階級の全日本王者となった藤田隆、5歳から空道ひと筋で関東予選優勝の佐藤裕太、シュートボクシングのアマチュア全日本大会優勝経験のある並木仁也ら。空道ならではの多様な武道・格闘技のバックボーンが織りなす技の交錯が、楽しみだ。

ー260クラス

中間距離で打ち合いの林か? 離れて蹴り・組んで膝の麦谷か?



▲林洸聖



▲麦谷亮介



▲水村健太郎

2024年のこの階級の全日本王者であり、2025年は準決勝で拳を骨折し、勝利を納めつつ決勝を棄権した林洸聖が1年ぶりの戦線復帰。2024年は林に敗れ準優勝、2025年は林の棄権により決勝不戦勝で優勝した麦谷亮介は、林を倒し、昨年得た全日本王者の称号がフロックによるものでないことを証明できるか? 中間距離で剛腕を振りたい林と、離れてのミドルキック、組んでの膝蹴りを得意とする麦谷の距離の制し合いに注目されたし。しかし、半年前、2025年アジア選手権で同年のロシアナショナル大会3位のオレグ・イワノフから殊勲の星を挙げた永見竜次郎、その永見に競り勝って2025年アジア王者となった水村健太郎は、いずれも麦谷に勝利した経験を持っている。元高校球児らしい強肩によるストレートパンチでダウンを奪う永見、ハイキックから寝技までトータル型の水村。誰が頂点に立っても、おかしくない。

260+クラス



▲奈良朋弥



▲山田泰輔

奈良、5年ぶりの戴冠を地元で 達成するドラマをみせるか?

2019年にこの階級の全日本王者となり、コロナ問題により全日本選手権が中止となった2020年を挟んで、2021年に連覇を果たしたにもかかわらず、その後、2023年世界選手権出場を逃すなど、トップ戦線から外れていた奈良朋弥は、地元・青森で復活の狼煙をあげられるか? 2024年のファイナリスト、日本拳法出身の山田泰輔が迎え撃つ。

女子 ー220クラス



▲小野寺玲奈



▲西田美玖莉

小野寺に、演武レベルのフォームの表現を期待!

2023年世界選手権-220クラスで優勝を果たし、2025年アジア選手権で、前年の全ロシア選手権-220クラス優勝者であるオレシア・ブルダコワを下し、2024年、2025年と全日本連覇を遂げている小野寺玲奈が、頭一つ抜きんでいる。パワー・スピード・フォームの乱れのなさを兼ね備えた打撃、掴んでの頭突きや蹴りで重心の崩れをつくってから投げ、投げからの流れるような寝技……と、空道の理想形ともいえる闘いのフォームを、演武レベルの美しさで披露し続けてくれる可能性が高い。小野寺と同じくジュニア競技で全日本を制し、一般カテゴリーに昇格した西田美玖莉、相内春花、横山香織には、チャレンジャーとして、爪痕を残してほしいところ。

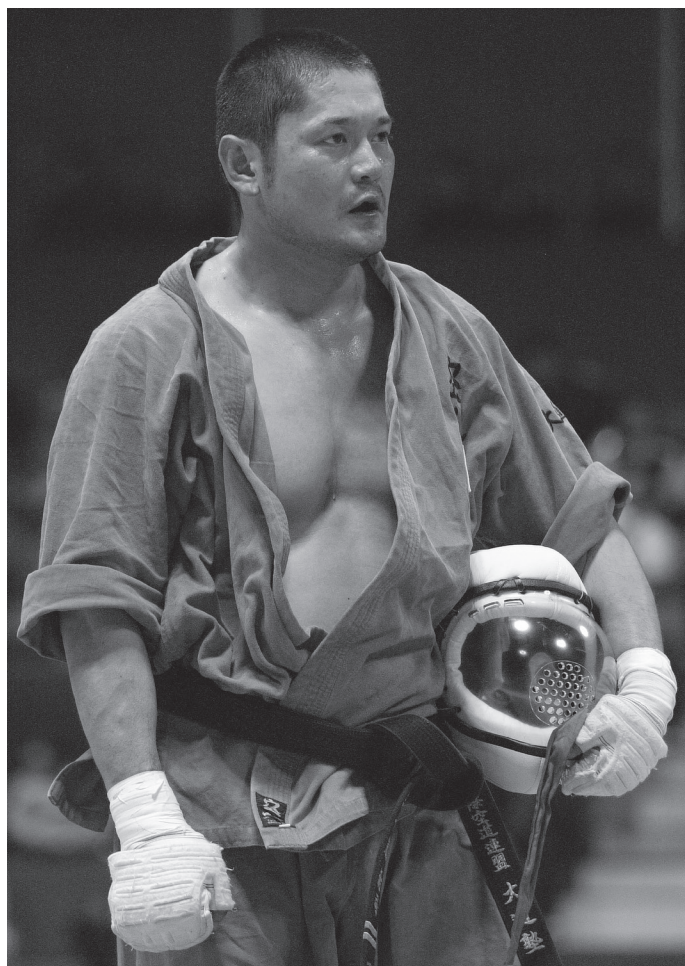
国スポ特別企画

2004全日本空道無差別選手権準優勝 & 2005世界空道選手権260+クラス準優勝

五十嵐 祐司

を知っていますか？

空道を国スポに導き、いまは天から見守る漢



前ページ「大会展望」で述べた通り、「コクタイ」で競技種目として採用されることは、すごいこと、である。そこに至るには、社会的に認められる＝国(政府)や県・市(各地区自治体)に認められる、各地区のスポーツ協会に加盟する……ことが必須。野球やサッカー、バスケットボール、柔道、剣道など、古くから中・高・大学の部活動と結びついているような競技以外の新興スポーツがそこに到達するには、障壁があまりに多い。歴史あるものを尊び古くからのつきあいを大切に……考え方を誤れば新参者を除け者にする動きになりがち……よくも悪くもこの国特有の文化が、その背景にはあるのだろう。コクタイで競技実施？ そんなの無理に決まってる……格闘技界でも、多くの団体・関係者がそう考えていたであろう中で、かねてから「タイキョー(かつての日本体育協会、現日本スポーツ協会)への加盟や、コクタイ競技化、さらにはオリンピック種目化を目指そう」と、格闘技ブームのなかでプロ競技化に背を向け、コンプライアンス遵守の「社会体育」をポリシーとしたのが、空道創始者・東孝である。そして、その教えを守り、地道な地域での活動の末に今回の国スポ採用を勝ち得たのが、五十嵐裕司・前大道塾三沢支部・支部長なのだが……。残念ながら、この大会会場に、五十嵐師範の姿はない。だからこそ、その功績を伝えずにはいられない。

五十嵐裕司

1971年12月、青森県、津軽平野に生まれ、県下の秀才が集まる弘前大学教育学部附属中学校を経て(3学年先輩にプロレスラー・総合格闘家の船木誠勝がいた)、弘前市のミッションスクール、東奥義塾高等学校に入学、在学時に少林寺拳法の道場に通い始める。1990年4月1日、仙台の東北学院大学に進学すると同時に、第11期寮生として現横須賀支部・支部長の森直樹とともに、大道塾入門。

五十嵐が大道塾東北本部寮生として過ごした90年代前半は、寮生といえばフィジカルエリート集団であり、卒業までに北斗旗(空道全日本選手権)の入賞者として名を刻む者も多かった時代。しかし、五十嵐は寮に在籍していた時期に成績を残すことはなく、退寮し仙台で就職し、通いの塾生として稽古を積んでから、1995・96・97年の全日本無差別でベスト8入りを果たしている。その後、帰郷し、三沢市・弘前市で支部活動をスタートさせ、選手生活からは離れたが、2001年世界選手権最重量級(260+クラス)決勝でロシア人選手に惜敗した稲垣拓一から「次はおまえだぞ！」と日本人の頂点奪還

を託され選手に復帰、2003年に全日本無差別ベスト8入りすると、2004年全日本無差別準優勝、2005年全日本260+クラス準優勝を経て、2005世界空道選手権では、ロシア人選手を破って決勝進出、優勝は藤松泰通に譲ったものの260+クラス準優勝を遂げ、日本人の最重量級世界王座奪還の立役者となった。

五十嵐には、無差別大会でも、階級別大会でも、国際大会、全日本選手権のいずれでも優勝経験がない。選手としては、遅咲きかつ、パイプリー的な存在だったといえよう。

支部長としても、順風満帆だったわけではない。五十嵐は、成人に対しても、少年少女に対しても、誰に対しても厳しさを貫く指導者だった。三沢という土地柄、白人・黒人・ヒスパニック系……米軍基地関係者の道場入門もしばしばあったが、ウェイトトレをやり込んだらしきマッチョマンたちも、スパーリングでは気持ちを折られ、厳しい規律にも耐えられず、定着しなかったという。

少年部に関しては、地域にライバルとなる武道・格闘技道場がなかったことも手伝って50人ほどの会員数を維持していたが、一般部に関しては、五十嵐が選手に復帰して以降、自らに課した激しい稽古に成人男性たちを付き合わせた結果、そのハードさに耐え切れず、大半がいなくなってしまうという。一方、早くから自治体スポーツ協会加盟に向けた努力を重ねるが、こちらもなかなか実らず……。

そんな茨の道が続いたなか、光明が差ししてきたのは、青森県在住のトップアスリートのネットワークに加わり、交流を深めているなかで、県の職員から、一所懸命さを評価されて「ダメもとで国スポに申請してみませんか?」と提案を受けてからだった。

三沢・弘前での実直な活動とコンスタントな青森県空道大会開催が評価されたこと、7~8年後に国スポ開催地となることになった自治体の都合が、タイミングよく合致したのである。あおり国スポにおいて空道がデモンストレーションスポーツとして実施競技になることが、2019年に決定したのだ。`社会体育、を標榜する東孝・大道塾塾長(当時)は、この報告を受けて、おおいに喜んだに違いない。

ところが、(おそらく2019年に)五十嵐の(おそらく大腸の)癌罹患が発覚し、2020年7月21日には東塾長が胃癌の告知を受ける。「おそらく」と書いているのは、周囲を氣遣う五十嵐が、自らの生徒などには病状を公表することのないまま逝去の日を迎えたため、入退院を繰り返す様子をみていた生徒の父兄である病院関係者などの情報からそのように推測しているに過ぎないからである。

この頃、五十嵐が大道塾に入門したときからの盟友である寺沢純悦・大道塾八戸支部・支部長には、五十嵐と東塾長のメールのやりとりがCCで届くようになる。そこには、五十嵐の病状が記されており、もしもの場合に国スポの運営を引き継ぐことを依頼する意味を感じ取ったという。

東塾長は書籍『遺言』のなかで世界選手権での日本人優勝について「2005年の第2回大会での藤松の優勝の陰には、藤松と決勝を争った五十嵐裕司がロシア選手の進撃を止めたことがあって……」と記しているが、この原稿が執筆されたのは、東塾長が2021年4月3日に息を引き取る僅か1~2カ月前、2021年2~3月だと判断される。

この記述は、五十嵐から病についての知らせを受け、エールを贈るために、自らも厳しい体調でありながらキーを叩いたものだったのだろうか?

東塾長逝去の直後、コロナ禍により予定されていた全日本体力別選手権の大会会場が使えなくなるという緊急事態のなか、五十嵐は地元・青森県上北郡おいらせ町の体育館での実施を連盟に提案し、2021年5月9日、誰にもその肉体が癌に蝕まれているとは知らせぬまま、大会運営の陣頭指揮をとっている。



90年10月頃、芋煮会での集合写真、一番前の坊主が五十嵐。今回、発掘されたなかでもっとも古い写真



稲垣拓一と「津軽海峡冬景色」の歌碑の前で。稲垣は、第2回世界選手権(2005年)前、東京から青森まで赴き、五十嵐に稽古をつけていた



今回の企画に伴い、五十嵐師範と時間を共にしたみなさんに「思い出の写真をお送りください」とお願いし、寄せられた数々の集合写真のなかから3点ほどピックアップ。懐かしい面々を発見!



五十嵐師範がお気に入りだったという写真。2005年世界選手権2回戦、ロシアのクーチキン・イワンに右ストレートを浴びせる。通常、勝っても喜びを表情に出さない五十嵐師範であったが、この大会での初戦で一本勝ちした際は、客席の三沢支部の応援団に向かって拳を突き上げたという。それだけ、気持ちが高揚していたのだろう

2021年の秋頃には、五十嵐は、入院する度に指導代行を依頼していた鈴木克史を「明日からまた入院なんだよ、ちょっとスパリングしてくれよ」と呼び出す。鈴木は「痩せてはいらっしやいましたが、ボコボコにされました。最後まで強くて何度も倒されました」と振り返る。

鈴木は2001年、23歳のときに、K-1やPRIDEをテレビ観戦していて「ちょっと自分もやってみようかな」と軽い気持ちで三沢支部に入門し、当時の多くの道場生が、現役復帰を決めた五十嵐の稽古相手を務め切れずに去っていくなか、20年以上に渡り五十嵐の傍らに立ち続けたパートナーであった。本人は「現役時代を支えたという自負はあります……耐え抜いてなんとかしがみついていただけなんですけど」と苦笑いする。

五十嵐は、最後のスパーの1年後、2022年11月10日に自宅で家族に看取られ亡くなり、葬儀はキリスト教式で執り行われたという。

その2週間ほど前、奥さんに支えられ、点滴を打ちながらも道場に顔を出し、稽古を見守っていた五十嵐は「話があるから来てくれ」と鈴木を呼び「今年中に俺はもうダメだからお前に任せる」と告げたという。それが最後の会話だった。

競技実績はシニアの試合に数度出場した程度しかない鈴木だが「空道に対する情熱や事務処理能力、人柄とか含めて、おもしろいとは言っていました」と胸を張る。

おそらく、1年前の最後のスパーを終えた時点で、五十嵐はその方針を決めていたに違いない。スパーは、誰に対しても厳しさを貫く五十嵐だからこそ鈴木に与えた、試練だったのだろう。



2005年世界選手権準決勝、平塚洋二郎戦での左ミドルキック。この世界選手権前には、同じく日本代表となった小松洋之(当時、秋田同好会責任者)が三沢まで出向き、ガチスパーを行っていたという



2005年世界選手権決勝、藤松泰通戦。下段蹴りを浴びせる



2005年世界選手権表彰式の後、青森からの応援団と。「三沢支部・弘前支部、の飲み会で、五十嵐さんが吉幾三の『立佞武多(たちねぶた)』を歌うと、参加者全員、狂ったようにヤテマレー!ヤテマレー!と合唱する。支部の皆さんは、五十嵐さんと大騒ぎするのが大好きだった。」(小松洋之・談)

関係者が語る五十嵐祐司との思い出

※メールでお送りいただいた内容、電話取材でお答えいただいた内容を、編集サイドが編集・要約したものです。並び順はスペースの都合による配置となっています。



2019年9月。大会で挨拶する五十嵐。この頃はがん告知を受けつつ、それに関係者に知らせることなく運営に携わっていたものと思われる

稲垣拓一

(1998・2000年全日本無差別優勝、2001年世界選手権260+クラス準優勝)

五十嵐支部長とは道場と東北学院大学の先輩後輩でもあり親しくさせて頂きました。彼が社会人になってからも交流があり、途中お互いの偏屈から疎遠な時期もありましたが、晩年を通すと、長い間とても良いお付き合いをさせて頂いたと思います。彼がサラリーマンを辞めて五十嵐道場一本で生業をたてると決めてから、彼の凛とした姿勢はひょうきんな一面をも覆いつくしていたと思います。それはそれでストレスがあったようで、時折東京に来ては私と一緒に息抜きをしていたように思います。指導者として道場経営、地域に根差した営業活動には目を見張るものがあり、地元の名士として活躍していたことは間違いのない事実です。五十嵐支部長のその礎があったからこそ2026年の国体にこぎつけました。間違いなく彼の功績です。

そんな彼から「第二回世界大会に向けて本格復帰したい。先輩の力を貸してほしい」と私への懇願がありました。当時サラリーマンだった私は無理やり青森に仕事を作っては、官費で青森に同ってミットをもったりスパーリングをしたりした記憶があります。彼の首相撲からの膝蹴りは殺傷能力の高いものがありましたが、超重力級の大きな外人対策にはかえって不利になる場面も想定し、彼の長いリーチを生かして「ジャブとストレートを磨け。特にジャブは右ストレートと同じ威力を込めろ」と偉そうに助言した記憶があります。そんなこともありながら、彼は第二回世界大会で決勝まで上り詰めました。人懐っこさもありましたが、反面頑固で、本音は一部の人間にしか漏らさなかつたと思います。強さと繊細さを兼ね備えた人の心の機微のわかる素晴らしい後輩でした。あまりにも早すぎる生涯でしたが間違いなく空道に多大なる貢献をしたと思います。どうかこれからも東先生と共に五十嵐祐司を皆様の記憶の底に静かに鎮めて頂きたいとお願いいたします。

武山卓己

(1992年全日本-250クラス優勝、1993年全日本260+クラス優勝)

出会いは今から37年前、当方16歳、五十嵐さん18歳。ともに10代での出会いでした。初対面は当時寮生1年生として弘前市から仙台にやってきたばかりの頃。寮生1年生の飯炊き当番(所謂ちゃんこ番)に四苦八苦しながら先輩方の夕食の準備をしている時になります。頭にタオルを巻き、鋸で木を切るかのごとくイカを包丁でごりごりしている時にはじめて言葉を交わしたのを覚えています。当時の東北本部は屈強な先輩方が多数在籍されていた時代。また常時住み込みの職員・内弟子・寮生もズラリ勢ぞろいするという激しい時代の東北本部道場…。稽古最後に行われるスパーリングでは名指しされた同士が試合以上のガチンコ組手をやる熱き良き時代に、五十嵐さんとはよくガチンコ組手をやらされたものです。その当時の五十嵐さんの強烈な印象は当時の寮長・木村優元先輩の強烈な後蹴りで悶絶している姿。そんな時代を共に過ごし、けって文字起こしが憚れるような若気の至り、甘美でほろ苦いプライベートな出来事も、今となっては懐かしい思い出です。

当時から先を読む”先見の明”はやはりありました。「MMA」が格闘技の潮流として世間一般に認知される以前、当時パンクラスで活躍中のガイ・メツァー率いる「ライオンズ・デン」に格闘技留学したことは知人ぞ知る話。帰国後に語られる現地での練習話に選手たちは興味津々に聞き入ったものです。いまや誰もが「MMA」を知る時代となりましたが、25年以上も前、一人の日本人が「MMA」の修行に渡米した先駆けの武道人であったことも知っておいて頂きたいです。

2022年9月28日に開催された”2022年全日本空道ジュニア選手権東北予選”。この大会の結果により翌年の”第6回世界空道選手権大会”日本代表が決まる大事な大会でした。大会の数日前まで青森支部から出場する弟子たちの大会パンフ記載の氏名誤字チェックや、当日は諸事情により大会出席が微妙な状況もメールでやり取りしていました。この時点で誰しも命に拘る病と闘病していたことも知る由もなく…。大会当日はご本人と会えずじまいとなりましたが、後日、会場2階の観覧席の片隅に五十嵐さんの姿があったことを大会スタッフから聞きました。ご逝去の約1ヶ月前となる出来事。

きっと今頃、東先生、佐藤節夫理事長、平塚和彦評議員長の三役とワイワイやって(飲んで)いるのでしょうね♪ 50年後は先輩、後輩、皆で二次会から参加するのでもう少しだけ待っていてください。あなたの愛した空道を次世代に継承したら皆行きますから。

平塚禎嘉

(全日本空道連盟 副理事長)

五十嵐に初めて会ったのは、お互い18歳の頃、彼が私の実家に当時の東北本部への入寮の挨拶に来たときでした。私の父・和彦(初代大道塾評議委員長、元全日本空道連盟副理事長)から「今度の新寮生はお前と同じ年で、同じ学校(東北学院大学:長田賢一、稲垣拓一、武山卓己、小松洋之…らを輩出した名門!)に入るそうだと聞かされており、どんな厳つい男が来るのかと思っていましたら、背こそ高いものの(後年とは違って)ほっそりとした、いかにも北国出身らしい色白でちょっとほんわかした青年が訪ねてきて拍子抜けしたことを覚えています。この男が後にあんな立派な人になるとは、この時点で想像だにしていませんでした。

歴代の東北本部職員・寮生の皆さんと親しくお付き合いさせて頂いておりましたが、特に五十嵐は同級生という気やすさもあり、ちよくちよく遊びに行ったり話をしたりしていました。彼も寮生の例に漏れず、奇行?が多かったのですが、ご紹介できる無難な範囲で挙げますと「自転車ドライブスルー事件」

ということがありました。私たちが学生のときはマクドナルドのドライブスルーがある店舗は仙台でもまだそれ程多くはなく、五十嵐の出身地青森には無かったそうで、ドライブスルーなるもの存在を知った五十嵐ははたか興味をそそられ、早速行ってみたそうなのです。後日それを聞いた私は、五十嵐は車を持っていないはずだし、誰かに車に乗ってもらって行ったのかな、と思い本人に尋ねてみたところ、「自転車で行ってきた」という予想外の答えが！（しかも結構遠い店舗）「店員さんに何か言われなかった？」と聞いてみたら「次回は車でご来店くださいね」と言われたとニコニコしていた五十嵐でした。

入寮したものの諸事情で中途退寮する寮生は決して少なくなく、五十嵐もその一人となったのですが、彼は退寮後も通いの塾生として稽古を継続、その後故郷青森で自らの支部を興し、日頃の稽古相手が弟子という練習環境としては恵まれない中にも関わらず2000年代前半を代表する大道塾重量級のエースとして活躍、また、一線を退いた後には指導者として多くの選手を育てあげたことは、固定観念に囚われない彼の特異性の一端を表していると思います。

最後のやりとりになったのは、おそらく2021年に青森で行われた全日本体力別大会の会場でのことだったと思います。（コロナ問題で当初の開催日を急遽スライドさせることとなり開催場所を探していた中で）開催地を引き受けてくれたことへのお礼や彼の体調の話の他には、この時は既に亡くなっていた私の父の話や、同年代であるお互いの子どもの話など、他愛もない話をして別れたと思いますが、まさかそれが最後になるとはその時思いもしませんでした（仮に最後になるかもしれないと思っていたとしても、やはりどうでもいい話をしていました）。

選手として、指導者として、また空道をスポ国に導いた男として、大道塾・空道の歴史に鮮やかな軌跡を遺した五十嵐につきか再会したときに、自分も頑張ってきたと胸を張れるよう、空道の発展に貢献していきたいと思います。

鈴木克史

（三沢支部を五十嵐支部長から引き継ぎ、運営）

五十嵐支部長が三沢にて支部を開設当初、K-1やPRIDEの全盛期で、自分が総合格闘技に興味を持ち始めたとき五十嵐支部長を知る方からご紹介を受け入門させていただきました。五十嵐支部長の当初の印象は非常に礼儀正しく親切な方でした。支部開設して間もないはずなのに、一般の大人たちで賑わっており大変活気がございました。当初は稽古も楽しく参加していた記憶がございます。

三沢という土地柄、アメリカ人も多く人種も多彩で（白人、黒人、スパニッシュ系等々）お酒の稽古？も多く、大変刺激的で楽しい時間を過ごさせていただきました。五十嵐支部長が支部を開設し第一回世界大会後、五十嵐支部長が第二回世界に向け現役復帰となり、その時から道場の雰囲気が一変いたしました。まず、三沢で支部を開設し1年半で常設道場を開設し、稽古に専念できる環境を整えたこと。そして、現役復帰に向けての稽古を開始しました。自分はあまりの激しさに衝撃をうけました。あまりの激しさに、一般の塾生たちが次々と退会していった記憶がございます。自分はその稽古について行けたわけではございませんが、世界を見据えて積み重ねていかなければならない努力、研鑽の積み重ねを学ばせていただきました。当時は、まだ会社員でありながら、道場運営も行ったうえで、現役選手として活躍されました。これだけの努力をされた方にいまだに会ったことはございません。

この時の五十嵐支部長との経験が、自分の人生においても大きな経験となりました。世界大会本番、五十嵐支部長は右の拳を、激しい稽古により粉碎骨折しておりました。それでも、その拳を決勝まで打ち抜いて闘い抜く姿をみせていただきました。世界大会準優勝の結果は常人ではできない努力の賜物だと、自分たちに教えていただきました。

五十嵐支部長が亡くなる直前、塾生で最後に会話ししたのは自分だと思っています。五十嵐支部長が自分自身の寿命が持たないと思ったとおもわれ、自分と二人で話をしたいと呼び出しをいただきました。

寺沢純悦

（大道塾八戸支部・支部長）

1989年4月、自分が専門学校に進学するため仙台に出て、八戸支部から東北本部へ4級の時に移籍し、その一年後の1990年4月に大道塾寮生として五十嵐も東北本部へ入寮しました。同じ青森県人（自分は八戸、五十嵐は弘前）、歳も1971年生まれ（自分が2月、五十嵐が12月）で同年だったこともあり、自然と意気投合。「寺沢先輩」と、自分に対しては五十嵐は「先輩」と一応最後までつけてくれましたが、ただの呼び名の一種としてつかってた模様です（笑）。そのころしていたバイトも、デバ地下の精肉屋で一緒。時々店長から「ほれ、二人食え」と、いい肉をもらい、「うめえうめえ」と一緒に食べてました。

東北学院大学生と、大道塾の寮生としての両立が大変だったのは近くで見て感じました（記憶間違いでなければ、最初の年は4単位だけ取得、それでも4年で卒業したんだからすごい）。先輩たちの、理不尽な（笑）、言動行動もだいたい神経をけずられたらしく、自分に愚痴をいってたりしてました。日中に時間があるときには、五十嵐は自分のアパートに来てしゃべったり休んだりしてたのですが、そのうちに五十嵐個人の私物も、自分にわからないように少しずつもってくるようになり、のちに、あいつは笑いながら「学生と寮生の両立は無理だと感じたので、大道塾は一旦辞めて、とりあえずここ（私のアパート）に住もうと思ひ、私物を運んでいた」と言っていました。北斗旗体力別（宮城県スポーツセンター）が近くなると、無断でポスターを電柱等に糊で貼ったり、ゼッケンを手書きで書いたり……という作業に追われ「大変ですよ」とこぼしていたことも思い出します。

当時の東北本部は、比嘉（正行）先輩、峯岸（昭夫）先輩、長田先輩、黒崎（豊）さん、明田（耕司）先輩、木村（優元）先輩他、いらっしゃいましたが、自分のイメージは木村先輩、黒崎さんと、後輩の五十嵐が三人でセットで道場において、回してるような記憶があります。そのなかで、肉体的、精神的にも揉まれて強くなったようです。通いの道場生は、東北学院大生時の稲垣拓一先輩、遠藤（泰弘）先輩、自分等々、寮生と通い道場生のなかでも、後輩キャラとしての五十嵐がいた感じです。

そのあたりの組手で覚えているのは、稲垣先輩と五十嵐が、顔面無しスパで稽古をつけるというシチュエーションがあり、果敢に攻めていったんですが、運悪く五十嵐の蹴りが稲垣先輩の急所に強くあたり組手ストップ。だいたい時間が掛かりましたが稲垣先輩回復後、五十嵐に「まだおわりじゃねーぞ、やるぞ」と。そこから、サンドバッグ状態（苦笑）。組手の終わりは、稲垣先輩の体重の乗った後ろ蹴りが五十嵐の腹部に直撃、息ができないどころの話じゃないダメージだったと記憶しています。

だんだん五十嵐にも寮生の後輩ができ、東北本部に田尻さんが入寮。五十嵐より年が上だったらしく、五十嵐は「田尻さん」と呼んでました。この田尻さんって方はいろいろ気持ちのおおらかな方で、小さいことがだいたい気にならない感じの方でした。田尻さんが入寮してだんだん慣れてきたころ、五十嵐の毎日使ってる歯ブラシが、自身で使う前にすこし歯で湿ってると「おかしいなあ」と疑問に思いつながら数日それで歯を磨いた五十嵐。でも、その湿ってるのが何日も続くので、「田尻さん？まさか使っていないよね」と怖々尋ねると、田尻さんは「すこしつかせてもらってました（それで田尻さん自身の歯を磨いてたの意）」と、悪びれるわけでもなく。数日間、一緒に歯ブラシをシェアした寮生先輩後輩。さすがに五十嵐は田尻さんを叱ったらしいのですが、次の日にはそれを、珠玉のお笑いネタ！に見事に昇華させ、鉄板ネタとして、先輩後輩の笑いをかささらってましたね、さすが五十嵐。

大学生後半になると、高校生の武山卓己が泉支部から東北本部へ移籍。若き天才から、五十嵐も自分もいい刺激をもらって稽古してました。その後武山入寮。

小川（英樹）さんもそこら辺の時期に他流派から大道塾へ入門、東北本部へ。道場に来た日を今も覚えています。いま思うと、黒崎さん、武山、小川さん等々道場が天才だらけでオーバーフロー状態、いいときでしたね。自分が仙台を離れるときには、五十嵐が一人見送りにきてくれて大泣きしてくれて、それ見て自分も大泣きした切ない記憶もあります。

その後は五十嵐は結婚して、アメリカで修行したり、WARSに出場したり、北斗旗でも活躍。青森に帰ってきて道場を三沢に開き、その後の五十嵐自身の活躍はみなさんがご存じのとおりです。自分が八戸支部を任された時には色々サポートしてくれました。比較的近くに住んでいましたが、頻繁にあうことはなく、でも3ヶ月に一回くらいの間隔でスタバでコーヒー、くだらないけど笑える話、空道真面目話で、楽しい時間を過ごせました。

五十嵐は人より先に物事をみてました。青森県空道協会、三沢市空道協会を設立し、県、市町村行政に入り込み、空道を大きくする努力をしていました。毎年の青森県大会開催など、五十嵐の活動の、その集大成が「あおり国スポ」です。誰も真似できません、たぶんこの後も。

国スポにデモスポで採用されたのは、県から「どうですか？申請だけでも」と声をかけられたのがはじまりだと、記憶しています。それもこれも、毎年毎年青森県大会を開催し、生徒を増やしていたことが、五十嵐が所属していた「あおりアスリートネットワーク」(青森県主体で県ゆかりのスポーツ人をあつめた団体。柔道五輪銀メダリストの泉浩らがメンバーだった)の関係者の目に留まり、それが認められて声を掛けられたものと思っております。

「ガンの告知を医師から受けた」と、五十嵐から泣きながら打ち明けられました。でも、死ぬとは思えず、医学の進歩の方が癌に勝つと思ってたし、信じてました。五十嵐にも闘病時に伝えましたが、自分が五十嵐に「これ、いつか『いやあ先輩、あんときは危なく死ぬかとおもいましたよお、ワハハ』って、お前だと絶対笑って話してるから、おもしろおかしく」と、実際に治って、そういうシチュエーションが絶対くる、と思ってました……来ませんでしたね。

五十嵐が癌の治療をしている最中も、彼は県と市町村と国スポ案件でメールのやりとりをして進めていましたが、ちょくちょく自分を「cc」で参加させてたのは、「なにかあったら国スポ頼みましたよ」的な意味も入ってるな感じがして、五十嵐が逝くことを受け入れられない……モヤモヤしか残らない、複雑な気持ちで時間が過ぎていきました。

それでも治療中、コーヒー談義は定期的で開催され、大道塾・国スポの話の合い間「家族とどこどこに旅行に行った」「今の生活があるのは家族のおかげ」といったことを五十嵐は話してました。

最期は、五十嵐の病状・現状・状態がLINEで送られてきましたが、あまりにも壮絶で受け止めきれませんでした。会うことは出来ず、訃報を総本部経由で知った次第です。五十嵐が遺してくれた宿題「国スポ」を、あいつに褒められるようやり終えたいと思います。

長田 賢一

(全日本空道連盟理事長)

私が東北本部の責任者をしていた時に寮生として入ってきたときは、厳しい稽古を科すまでもならない甘さがあり印象すらありません。退寮後も大会に出場していてそれなりに戦績も上がっていましたが、頑張りに声をかけるくらいで認めるほどではありませんでした。

そんな五十嵐の変貌について2度、驚くことがありました。一回目は世界大会前の稽古です。まったく別人のように稽古に取り組む姿勢が変わり、真摯に妥協なく自分を追い詰め、自分のスタイルを持ち得るようになっていく様は、こいつと闘いたくないと思わせるほどでした。稽古した時に組んだ時の力強さと、自信と、さらに向上しようと思って取り組んでる雰囲気は、寮生のころや全日本に出場していたころの五十嵐ではありませんでした。稽古で向い合った時に、私が持っていない、または、私が至らないしっかりとした質量を感じるのには加藤(清尚)、稲垣、そして、五十嵐でした。

二回目が支部長として活躍している中で、スポーツ協会加盟を果たしながら、いち早くスポーツ協会加盟団体としての在り方や目標を誰よりも明確に出来ていたときです。支部長の仕事だけではなく、スポーツ協会や地域や後援者との繋がりなど、本当にしっかりとした活動が出来ており、地域のスポーツ団体

として組織運営のみならず地域の名士として空道協会を運営している様はなぜそこまでできるのか不思議ではなかったほどで、尊敬の念をもってお付き合いをさせていただいておりました。よく「こうあったほうが良い」とか、「大道塾のこが駄目だ」とかメールでやり取りをしていましたが、塾長になってからも意見を頂いておりました。仙台で行ったジュニアの大会の際「選手の出場は願いますが、欠席させていただきます」と連絡を頂いていましたが「だいぶ瘦せられていましたが、一番端の方で座って見ていらっやいました」と後から何人もの人から聞きました。「会いたかったなあ」と思いましたが、それが五十嵐の音沙汰を聞く最後となってしまい本当に残念なりません。

アレクセイ・コノネンコ

(ロシア出身、全日本-250クラス11回、1998年全日本無差別優勝)

私は1995年に日本、仙台、東北本部にきて、五十嵐先輩はそのときに東北本部所属でした。最初はとても怖い先輩だと思えました。組手は基本的に毎回100パーセントの力で、死人がいつか出るかと思えました。五十嵐先輩は稽古が終わってから寮生を利用してさらにミットとスパーをやっていました。顔とマナーに関しては怖い先輩でしたが、実際とてもやさしかった。日本の生活にまだ慣れない私を何回か自宅に招待して奥さんのおいしい料理をご馳走して下さい、お酒を飲ませてくれました。

五十嵐先輩は打撃の選手でしたが、ある時期に組み技と総合を習うためにアメリカに単独で行きました。一か月ぐらいアメリカで重く、強い選手たちと練習した成果でたった一か月で寝技ものすごく強くなりました。遠征の後に東北夏合宿の黒帯戦(寝技大会)の2回戦で先輩と当たって、強くなった肉体と磨かれた技を実感し、先輩の腕力でギックリ腰になって敗退しました。

東北本部にいたころ、ある日に五十嵐先輩は足ひきずって稽古にきました。理由を聞いたら、前の日出張帰りで最終新幹線で仙台を寝過ごして終点古川新幹線ターミナルまで行ってしまったそうです。遅い時間で帰るお金も手段もなく、古川から仙台まで夜中30キロぐらい徒歩しようです。そのまま朝6時から出勤して、歩きすぎて膝を痛めたのに夜道場に来ました。レジェンドですよ!!!

2010年ころに東先生と五十嵐先輩とイラン遠征に行ってきました。そのときに治安の悪いところであるにもかかわらず、毎日朝ホテルの近隣を走り、ホテルの玄関の前でシャドーボクシングをしていました。私はそのときに上階の部屋の窓から見ていました。イランはイスラムの国であり、お酒は禁じられていますが、東先生は現地の塾生に「お酒を持ってこい!」とおっしゃり、塾生はお酒を隠して部屋まで持ってきて「ばれないように飲んでください」と頼んでいました。しかし、東先生と五十嵐先輩と3人で酔っ払って夜ラーメン屋を探しに外に出ました。何とか丸く収まりましたが現地の人たちにずいぶん迷惑をかけたと思います(笑)。



クーチキン・イワン戦。ハイキックに軸足刈りを合わせる

国際空道連盟大会規則

KUDO INTERNATIONAL FEDERATION – RULES –

(2021年12月10日改定)

第一章 試合場

- 第1条 試合場は、高さ60cm以下とし、13m四方の広さの中央9m四方を場内とし、その周囲2mを場外とする。場外との境界に場外注意表示90cmを設ける。試合場は、可能な限りシートで覆う。2つ以上の隣接した試合場を設ける場合は、両試合場の間に4mの共用の場外域が確保されなければならない。
- 第2条 正面から見て左手に青、右手に白の開始線を設ける。開始線の間隔は1.8mとする。
- 第3条 試合場は「投げ」による攻防を考慮し、マットもしくは畳などにより、相応の弾力をもたせること。

第二章 服装

- 第4条 試合者は、指定された青もしくは白の空道着を着用する。
- 第5条 試合番号がある場合は、番号が小さい側が青の道着を着用する。番号がない場合は対戦表上下の上、もしくは左右の左が青の道着を着用する。ゼッケンがある場合は、大会主催者の指示に従って道着に縫いつけなければならない。
- 第6条 道着上衣の袖は腕を下にたらしした時に肘に掛かる程度の長さ、袖口は皮膚をつままずに掴みが可能な程度、道着下衣の裾は踝から5cm前後の長さ、裾口は皮膚をつままずに掴みが可能な程度、帯は結んだ時に太腿半ば前後の長さまでとする。
- 第7条 道着に許されるパッチは縦横の合計が18cm以下、貼付が許可される場所は左袖のみとする。ただし、国際大会においては、国代表としてのエンブレムを左胸に貼り付けることを許可する。
- 第8条 試合者は、指定された顔面プロテクター、フィストガード、帯止めを着用する。
- 第9条 顔面プロテクターは、後部の上下2か所をそれぞれヒモで固定しなければならない。
- 第10条 指定された道着、防具の加工をしてはならない。
- 第11条 試合者の道着の下は、上半身は裸体、下半身は下着とファウルカップを着用する。
注1) 女子の試合者の道着の下は、上半身は柔らかな素材の下着と半袖Tシャツ等の白または黒色の上衣一枚および指定された胸プロテクターを着用する。下半身は下着と女子用ファウルカップ、腰サポーターを着用する。
注2) 長髪の選手は柔らかな素材のもので髪の毛を纏め、マスク外に髪が大きく出ないようにしなければならない。
- 第12条 試合者は、マウスピースを着用しなければならない。
- 第13条 試合者がバンテージ着用を希望する場合は、指定バンテージでなければならない。
- 第14条 その他の上半身、下半身の衣類は、大会本部に事前に申告、許可を得なければならない。
注) その他の衣類については白または黒色のものを着用するものとする。
- 第15条 大会前、又は大会中の怪我等のためにサポーター、テーピング、包帯等を使用したい場合は、事前に大会ドクターに許可を得なければならない。サポーターを使用する場合は、医師による診断書を提出しなければならない。
- 第16条 道着、防具は、やぶれや汚れ、悪臭のない清潔なものを着用しなければならない。
- 第17条 試合者は、爪を短く切り、金属その他、相手に危害を及ぼす恐れのある物は一切身に付けてはならない。
- 第18条 バンテージ以外の上記の事柄は、一試合前に選手待機場所で選手係によって確認されていなければならない。
- 第19条 バンテージは、一試合前に選手待機場所で相手側セコンドによって確認されていなければならない。

第三章 参加条件 (安全面)

- 第20条 大会前14日以内に、頭部への直接打撃・ノックダウンが認められている空道または他競技の試合に出場していないこと。
- 第21条 大会前90日以内に、空道もしくは他競技の試合・練習における頭部打撃によるノックダウン（いわゆる打撃技のみならず、投げ技によるものも含む）を喫していないこと。また、大会前90日以内に、頭部打撲を伴う事故（交通事故・転落・転倒等、原因を問わない）を喫していないこと。
- 第22条 原因を問わず頭部打撃や打撲により入院を要した場合は、医師の診察・承諾を得た上で、診断書を提出すること。
- 第23条 上記に加え、180日以内に2度のノックダウンがあった場合は120日間、1年以内に3度のノックダウンがあった場合は150日間の試合停止とする（最後のノックダウンから換算）。また、試合停止期間が明けてから試合に参加を希望する場合は医師による頭部CTスキャナー検査を含む精密検査に合格し、医師の診察・承諾を得た上で、診断書を提出すること。
- 第24条 本大会の競技ルールで試合を行うことで後遺症の残る可能性のある頭頸部・脳や脊椎（頸椎・胸椎・腰椎など）、心臓等の身体枢要部分に疾病、障害、先天性奇形等の診断を受け治療中を含めそれらの既往症がないこと。また、HIV、ウイルス性肝炎等、出血による感染の可能性のある疾患や、世界保健機関や開催地（開催国）が極めて危険で入国制限・入院等の行動制限を求める感染症（エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘瘡、南米出血熱、ペスト、狂犬病など）の治療中またはキャリアの疑いがある旨の診断を受けていないこと（完治している場合を除外）。四肢の骨・関節・腱・靭帯や感覚器はじめ、身体のあらゆる部位に関して、本大会での試合が規定通りに行われた結果、後遺症の残る傷害を負ったとしても、主催者側に保障責任がないことを承諾していること。
- 注記) 第三章 参加条件 (安全面) でのノックダウンとは「意識喪失・記憶障害・頭痛、めまいやふらつき、嘔吐などの脳震盪症状があった場合を指す（これらの症状は急性硬膜下出血など深刻な障害の疑いがある）。ノックダウンから試合までの期間が規定以下の場合や原因を問わず頭部打撃や打撲により入院を要した場合は、意識障害・記憶障害などの重篤な症状がなく、段階的復帰プロトコル（GRTP）に従って競技復帰した選手が医師の診察・検査結果「参加可能」である場合に限り、診断書などを添付して主管する空道機関（国際空道連盟・全日本空道連盟など）に参加申請することができる。主管する空道機関が承認した場合、特例で試合参加を許可することもある。

第四章 試合方法

- 第25条 試合は場内で行うものとする。
- 第26条 試合者は、試合場の中央1.8mの距離を置いて立ち、主審の指示でまず正面に礼、次いで主審に礼の後、互いに向き合い礼を交わり構え、主審の「始め」の宣告で直ちに試合を始める。
- 第27条 試合は、「本戦」3分、「延長戦」3分、「再延長戦」3分とし、その間の休息は30秒間とする。
※女子の場合は、「本戦」から「再延長戦」まで、各2分とする。
- 第28条 試合は、禁止箇所を除いて、突き、蹴り、肘打ち等を全身に直接加撃することによって「一本」を奪うか、絞め、関節技で「一本」を奪う、もしくは「技有り」「有効」「効果」によるポイントの多少で勝敗を決する。
- 第29条 一本の技ごとに試合を中断せず、試合時間中をフルに闘って勝敗を決める。
（但し、少なくとも一方がダウンを伴う「有効」以上のポイントを奪取した場合、場外に出た場合、寝技が終了した場合を除く）
- 第30条 「投げ」、および「投げ」からの突き、肘打ち、蹴りによる「極め」も有効な攻撃とする。
- 第31条 「本戦」、「延長」もしくは「再延長」の3分間において各2回、各々30秒間の寝技の攻防を認める。
※女子の場合は、各1回とする。
- 第32条 関節技や絞め技については見込み一本は宣しないので選手は反撃不可能な場合は必ずその意志表示をすること。
- 第33条 身長と体重の数値の和を「身体指数」とし、これ以下に階級に分ける階級別制を採用する。
①230以下 ②240以下 ③250以下 ④260以下 ⑤260超
（国際大会は、⑤270以下 ⑥270超）
※階級分けのない「無差別大会」を実施することもある。
- 第34条 身体指数（身長×体重のcm数値+kg数値）の差が20以上ある場合はファウルカップを着用し、両者に蹴りによる金的攻撃を、差が30以上ある場合は、拳もしくは掌底による金的攻撃も認める。
- 第35条 「階級別大会」においては各クラス優勝者の中より、決勝までの全試合の取得ポイントの合計を試合数で割った数値のもっとも多い

者を最優秀勝利者とする。

※「無差別大会」での3・4位及び5～8位の順位も同様にして決定する。

第五章 審判員

第36条 審判団は、主審1名、副主審1名、副審3名の5名をもって原則とする。

第37条 審判団に加えて、監査役1名を置く。

第38条 監査役は、判定には関与せず、以下の役割を持つ。

1. 主審からの要請に応じて、各種の助言や、寝技の攻防の回数等の回答等
2. 金的等の違反行為に関する助言、悪質な違反行為の判断と審判長への説明・進言
3. 大会ドクターの登壇要請（主審、副主審とともに、要請権限をもつ）
4. 審判団の旗に間違いが認められた場合の、指摘・是正
5. その他、監査役が必要と認めたとき

第39条 主審は、場内に在って試合の進行及び勝負の判定を司る。

第40条 副主審は、主審を補佐する。主審と副主審は正対して選手を観察し、正確かつ公平な判断を下すよう互いの死角を補う。

第41条 副審は、主審・副主審の死角で起こる技の有効性・違反行為・場外などの事柄に対して責任を負う。

第42条 各審判員は、公正な条件の下で選手を競わせるとともに、その安全を確保する義務を負う。

第43条 審判団は試合の優劣について判定を行い、その判定についての全責任を負う。

第44条 主審は、試合開始を「始め」、中断と場外を「待て」、再開を「続行」、終了を「止め」と宣告、指示する。

第45条 主審は、試合者に以下の行為があった場合は、「待て」の宣告により試合を一時中断し、適切な処置を講ずる。

1. 試合者の一方、もしくは双方が場外に出たとき。
2. 試合者が禁止事項を犯そうとし、または犯したとき。
3. 試合者が負傷したり、発病したとき。
4. 試合者の服装を整えさせるとき。
5. その他、審判員が必要と認めたとき。

第46条 主審、副主審、および副審は、「効果」「有効」「技あり」「一本」の技があったと認めた場合、または違反行為があったと認めた場合、または「場外」等、試合を中断すべきと認めた場合、および試合の勝敗が「判定」となった場合は、審判動作基準に拠り、それぞれの動作を正さなければならない。

第六章 セCOND

第47条 試合者は、1名もしくは2名のセCONDを指名し、試合に帯同させなければならない。

第48条 セCONDとは、試合の際に出場選手に付き添い、試合中に指示を出し、インターバルの時に選手に作戦を授ける役割を持つ者を指す。

第49条 セCONDは、選手が「有効」2もしくは「技有り」1による4ポイントを奪われながらも試合続行の意志表示をした場合、続行か否かを選手のダメージを考慮して判断する責務がある。

第50条 セCONDは、一試合前に選手待機場所で相手選手のバンテージチェックを行う責務がある。

第51条 セCONDは、試合時に主審が選手の「治療許可証」の提示を求めた場合に、それを提示する責務がある。

第52条 セCONDは、試合（延長戦を含む）開始前に顔面プロテクターの装着を補助することができる。

第53条 セCONDは、試合時に指定された衣服を着用し、セCOND席に着座しなければならない。

第54条 セCONDの試合中の声援は節度あるものでなければならず、立ち上がったの声援、試合場を叩く、判定への不服や審判への批判、相手選手や審判団への暴言等、礼節を欠いた行為をしてはならない。

第55条 セCONDは、インターバル中の選手を補助する行為をしてはならない。

注1) 選手の補助とは、怪我の治療、マッサージ、水分や栄養の補給である。

注2) 大会主催者から提供される飲料の補給は、この限りではない。

第56条 セCONDの違反行為は、選手の違反行為と見なす。

第七章 大会ドクター

第57条 試合場毎に、1名以上の大会ドクターを置く。

第58条 試合者が頭部もしくは背部（脊柱）に強烈な衝撃を受けたとき、または主審が重大な負傷が起こったと判断したとき、主審は大会ドクターを呼ぶ。いずれの場合においても、大会ドクターはできるだけ短時間に試合者の診察を行い、主審に試合が続行できるか否かを告げる。

第59条 出血があった場合、安全面の見地から、主審は大会ドクターを呼ぶ。出血している間は試合を行うことはできない。

第60条 大会ドクターを呼ぶ権限は、主審の他にも、監査役および副主審がもつ。

第八章 試合

第61条 勝敗は次の1.～3.があり、審判5名の内3名以上が認めた時に成立する。

1. 一本勝ち（技有り・有効・効果・相手の反則の合算で8ポイント先取した時を含む）

2. 判定勝ち

a. 「技有り」を4ポイント、「有効」を2ポイント、「効果」を1ポイント、「反則1」は相手へ1ポイント、「反則2」は相手へ2ポイントとした、総ポイント数の差による優勢勝ち

b. 内容での優勢勝ち

3. 相手の失格、又は棄権による勝ち

注1) 反則によるポイントを含めた総ポイント数の多い方が勝ちとなる。

注2) 総ポイント数が同じ場合は、上位の判定（「技有り」>「有効」>「効果」）があった方が勝ちとなる。上位の判定を「ビッグポイント」と呼ぶ。

第62条 「一本」の判定は次の各号によって行なう。「一本」は8ポイントとする。

1. 4秒以上ダウンした場合。

2. ダウンはしないが、6秒以上の戦意喪失があった場合。

3. ダウンとか戦意喪失はしないが、6秒以上、上段（顔面）を主体とした効果的な加撃が一方的に行なわれた場合。

4. ダウンや戦意喪失はしないが、主審が「技有り」をコールまたは旗3本の支持があった後ダウンもしくは背を向け場外へ逃亡した場合。

5. 絞め技、関節技が決まり、極められた者が「参った」の発声か、手で相手または自分の体、又は畳を2度以上たたいて合図した場合、もしくは意識を失った場合。

6. 技有り・有効・効果・相手の反則の合算で8ポイント先取した場合。

注1) 「ダウン」とは、加撃によるダメージもしくは自らの攻撃による事故・怪我で一瞬でも足裏以外の体の一部（手、肘、膝、臀部等）を畳（マット）に着いた状態を指す。

注2) 戦意喪失とは、選手が攻撃、防御の意志を明示しない状況を指す。

注3) 打撃とは、頭突き、突き（パンチ）・掌底・肘・バックハンドなどの手技を意味する。

注4) 加撃とは、打撃、及び全ての蹴りを意味する。

注5) 攻撃とは、加撃に加え、投げ、寝技に入ることや、絞め技や関節技などの全てを意味する。

第63条 「技有り」の判定は、次の各号によって行なう。「技有り」は4ポイントとする。

1. 2秒以上4秒未満のダウンがあった場合。

2. ダウンはしないが、4秒以上6秒未満の戦意喪失があった場合。

3. ダウンとか戦意喪失はしないが、4秒以上6秒未満、上段（顔面）を主体とした効果的な加撃が一方的に行なわれた場合。
4. ダウンや戦意喪失はしないが、主審が「有効」をコールまたは旗3本の支持があった後ダウンもしくは背を向け場外へ逃亡した場合。

第64条 「有効」の判定は、次の各号によって行なう。「有効」は2ポイントとする。

1. 2秒未満のダウンがあった場合。（程度により「効果」もあり得る）
2. ダウンはしないが、2秒以上4秒未満の戦意喪失があった場合。
3. ダウンとか戦意喪失はしないが、2秒以上4秒未満、上段（顔面）を主体とした効果的な加撃が一方的に行なわれた場合。（程度により「効果」もあり得る）
4. ダウンや戦意喪失はしないが、主審が「効果」をコールまたは旗3本の支持があった後ダウンもしくは背を向け場外へ逃亡した場合。

第65条 「効果」の判定は、次の各号によって行なう。「効果」は1ポイントとする。

1. 「上段」への加撃による効果
 - ダウンはしないが頭部が大きく振れたり腰が落ちる
 - 態勢が大きく崩れる
 - 防具がなければ確実に効果的と判断される（カウンターパンチ、肘打ちなど）
2. 「中段」や「下段」への加撃による効果
 ダウンはしないが腹部を押さえる、「下段」への攻撃により足を引きずるなど、明らかにダメージがあると認められる場合。
3. 「投げ」による効果
 量がなければ大きなダメージを与える攻撃になったと思われる「強くて鮮やかな投げ」があった場合。「鮮やか」とは、相手に体勢を崩されることなく、中腰で直ちに「極め」の動作を行える状態を言う。
4. 「極め」による効果（「極め」の動作については第67条を参照）
 下記の状況から、立っていた場合はそのまま、投げた側も倒れた場合は素早く立ちあがり、「極め」の動作があった場合。
 - 「投げ」等で相手を転倒させる
 - タックルを切る
 - 相手がうつ伏せになり亀の姿勢を取る
 - 故意、アクシデントを問わず、相手が転倒する
 - 金的への加撃が認められる場合で、金的への加撃により相手が膝をつくなどする
5. 「寝技」での効果
 所謂、「馬乗り」もしくは膝で相手の動きを制し、上もしくは横からの充分に威力があると思える「突き」、「肘打ち」が、無防備な状態の「上段」に寸止めで4連打（各一呼吸程度以内の間隔）以上された場合。
 注1）「馬乗り」状態とは、倒れている人間（仰向き・横向き・俯せに関わらず）の上体に、脚を絡まれることなく、馬乗りになった状態を言う。
 注2）これによる「効果」は、30秒の「寝技」の時間の中で1回までとする。
6. タックルに対する加撃とその判定については、第69条を参照。
7. 「効果」「有効」「技有り」「一本」を表にすると以下ようになる。

技の程度 攻撃の種類	効果 (1ポイント)	有効 (2ポイント)	技有り (4ポイント)	一本 (8ポイント)
相手の攻撃、もしくは自らの攻撃による事故・怪我でダウンした場合	2秒未満のダウン（ダメージの程度により「効果」又は「有効」）		2秒以上4秒未満のダウン	4秒以上のダウン
相手の攻撃、もしくは自らの攻撃による事故・怪我でダウンしないがダメージがある場合	上段の攻撃で頭部が大きく振れる、腰が落ちる、態勢が大きく崩れる。中段の攻撃で屈む、腹部を押さえる。下段の攻撃で足を引きずる等。	2秒以上4秒未満の戦意喪失か上段中心の一方向的攻撃（ダメージの程度によっては「効果」）	4秒以上6秒未満の戦意喪失か上段中心の一方向的攻撃	6秒以上の戦意喪失か上段中心の一方向的攻撃
	第72条注4項			
強くて鮮やかな「投げ」	「極め」がない場合「効果」1。「極め」があった場合「効果」2			
相手が転倒、もしくは投げてからの「極め」	「効果」1			
寝技・マウントパンチ	第65条5項	—	—	第62条5項
一回目の違反行為で「警告」、ポイントへの影響はなし	2回目の違反行為で「反則1」となり、相手に1ポイント	3回目の違反行為で「反則2」となり、相手に2ポイント	4回目は「反則3」で「失格」となる。	—

注1）「加撃」による「効果」、「有効」、「技有り」、「一本」を時間で表わすと以下ようになる。

	2秒	4秒	6秒以上
ダウンした場合	「効果」もしくは「有効」	「技有り」	「一本」
ダウンしない場合	「効果」	「効果」もしくは「有効」	「技有り」 「一本」
連続攻撃中にダウン、もしくは背を向けて場外へ逃れた場合	第64条4項	第63条4項	第62条4項 —

注2）選手は副審により「効果」や「有効」の笛が吹かれた場合でも、主審が「待て」と言うまで攻撃は止めない。（攻撃を続行すれば「有効」「技有り」「一本」の可能性はある）

注3）「突き」や「蹴り」はスピードのある技術であり、一旦その動作に入っていると主審の「待て」や「止め」の指示があっても、止められない場合がある。従って、選手は主審の指示があってもすぐに防御を止めない。もし「待て」や「止め」の指示後の「故意」ではない攻撃によりダメージを受けた場合は判定の材料となる。

第66条 立ち技においては10秒間の掴みが認められる。

1. 掴みとは、道着の襟、袖、裾や腕、脚などを握る、掌で抑える、引っ掛ける等の状態で、相手の行為を制したり、バランスを崩そうとする行為を指す。
2. 首相撲も掴みと同等の行為とする。
3. それらは組み技と総称され、組み技の状態とは片方もしくは双方が相手の身体もしくは道着を掴んだ状態を指す。
4. 身体指数差20未満であれば、組み技状態での、禁止部位以外への加撃が認められる（禁止される行為については第74条2項を参照）。
5. 掴みなどで服装が乱れた場合は、主審の指示に従い選手は短時間（10秒が目安）で自ら服装を正さねばならない。

第67条 「極め」の動作とは、転倒した者の上半身に対して、攻撃者が中腰から打撃を当てることのできる適切な距離で、正拳突き、肘打ち、もしくは蹴りを2回以上、相手に当てることなく出した場合を意味する。

1. 転倒とは、故意、アクシデントを問わず、足裏以外の体の一部（手、肘、膝、臀部等）が畳（マット）に着いた状態を指す。
2. 「畳がなければ大きなダメージを与える攻撃になっていたと思われる強い投げ」により一方が倒れており、その姿勢に対して「極め」の動作があった場合は、「投げ」+「極め」で「効果」2とする。
3. 転倒した者が下から反撃し「極め」の動作を2回以上させない場合は、「効果」にはならない。
4. 投げられた者が下から反撃する事で立っている者にダメージを与えたなら、程度により判定の材料となる。
5. 一般的な投げや巻き込み、タックル等で攻撃者も倒れた場合は素早く立ち上がり、また足払いの場合はそのまま中腰の姿勢を取り「極め」の動作をしなくては「効果」にはならない。
6. これによる「効果」は、一連の動作の中で1回までとする。

第68条 絞め技、関節技は、寝技の攻防においてのみ認められる。

1. 寝技とは、少なくともどちらか一方が足裏以外の体の一部（手、肘、膝、臀部等）を畳（マット）に着いた状態を指す。
2. 肘関節、肩関節、膝関節、足関節（足首～アキレス腱）への関節技が認められる（禁止される行為については第74条5項を参照）。
3. 頸動脈、気管を圧迫する絞め技が認められる（禁止される行為については第74条5項を参照）。
4. 寝技の攻防（絞め技、関節技及び「馬乗りや、膝で相手の動きを制した状態」からの「寸止め」の突き）は「本戦」及び、「延長戦」、「再延長戦」もしくは「再試合」の3分間において各々2回、各30秒間のみ認められる。
5. 女子部の寝技の攻防は、「本戦」「延長」もしくは「再延長」の2分間において各々1回、各30秒間のみ認められる。
6. 寝技の攻防においては突き、蹴りの攻撃が認められる（禁止される行為については第74条1項および2項を参照）。

第69条 寝技に移行するためのタックルが認められる。

1. タックルは「攻撃」と見なされる。
2. タックルに対しては、初撃に限り蹴りによる加撃が認められる。また打撃が認められ、これらによってホールドした両手を離し床についたり、ホールドの状態も含め全体的に脱力感が認められた場合、ダウンしたものと見做す（禁止行為については第74条2項を参照）。
3. 一方の選手が足裏以外の体の一部を畳（マット）につく態勢を取って、立位の相手を掴みつつ攻撃する場合は、立位の選手には（後手からの）打撃が認められる（禁止行為については第74条2項を参照）。この時間は寝技の時間として計時する。

第70条 失格・棄権は次の各号による。

1. 選手の方が第74条に示す禁止行為（遅延行為を含む）により「失格」となった場合、残る一方の「不戦勝（「技有り」相当＝4ポイント）」とする。
2. 選手がアクシデントにより試合の途中で棄権をした場合、対戦者に与えられるポイントはそれまでの取得ポイントと4ポイント（「技有り」相当）のうち、より大きな方の数字のポイントとする。
3. 事前に審判長へ棄権の申し出があった場合は、残る一方の「不戦勝（「技有り」相当＝4ポイント）」とする。
4. 試合の勝者がその後の試合を棄権する場合、その選手および審判長が認めたならば、敗者を次の試合に出場させることができる。この場合は、対戦相手にポイント1が与えられる。

第九章 判定法

第71条 試合者の一方がその対戦者に対して、そのダメージが審判にもはっきり分かる程度の効果的な技を加えた場合は、それぞれ程度により「効果」「有効」「技有り」「一本」と宣告される。

第72条 判定基準は以下の表による。

	本 戦		延 長 戦
<p>※A</p> <p>(階級別) クラス準決勝戦 まで</p> <p>(無差別) 1回戦から ベスト8以前 まで</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 一方に2ポイント以上のポイント数があり、かつポイントに差がある場合は、ポイントが多い者の勝ち。 2. 両者に2ポイント以上のポイント数があり、かつポイント数が同じ場合は、ビッグポイントがある者の勝ち。 ※「技有り」>「有効」>「効果」の順で上位（ビッグ）と見なす。「技有り」による4ポイントは、「有効」や「効果」による4ポイントに勝る。同様に「有効」による2ポイントは、「効果」による2ポイントに勝る。 3. それでも差がない場合は、「反則」の少ない者の勝ち。 4. 内容に拘らずポイントが1のみの場合は、決定的な材料にはせず、「判定」となり、「引き分け延長戦」もありうる。（ただしポイントが多い者が負ける事はない） 	休憩 30 秒	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「本戦」と「延長戦」を通しポイントが多い者の勝ち（1対0でも可）。 2. ポイント数が同じ場合は、ビッグポイントのある者の勝ち。 3. それでも差がない場合はこの延長戦でポイントが多い者の勝ち。 4. それでも差のない場合は「本戦」と「延長戦」を通じ「反則」の少ない者の勝ち。 5. それでも差がない場合は、「本戦」から「延長戦」を通じ「警告」を受けた者の負け。 6. それでも差がない場合は、旗判定。 ① 第73条の規定による「加撃」、「投げ」、「寝技」の順で効果的な攻撃の多い者の勝ち。 ② それでも差がない場合は、「延長戦」の後半に主導権を取った（優勢に試合を進めた）者の勝ち。必ず勝敗の「判定」をだす。「再延長戦」はない。
<p>※B</p> <p>(階級別) 決勝戦のみ</p> <p>(無差別) ベスト8以上 決勝戦まで</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 一方に2ポイント以上のポイント数があり、かつポイントに差がある場合は、ポイントが多い者の勝ち。 2. 両者に2ポイント以上のポイント数があり、かつポイント数が同じ場合は、ビッグポイントがある者の勝ち。 ※ビッグポイントについては、Aで記述のとおり。 3. それでも差がない場合は、「反則」の少ない者の勝ち。 4. 上記以外では必ず「延長戦」。 	同 30 秒	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「本戦」と「延長戦」を通し一方に2ポイント以上のポイント数があり、かつポイントに差がある場合は、ポイントが多い者の勝ち。 2. 「本戦」と「延長戦」を通し両者に2ポイント以上のポイント数があり、かつポイント数が同じ場合は、ビッグポイントがある者の勝ち。 3. それでも差がない場合は、「本戦」と「延長戦」を通じ「反則」の少ない者の勝ち。 4. 内容に拘らずポイントが1のみの場合は、決定的な材料にはせず、「判定」となり、「引き分け再延長戦」もありうる。（ただしポイントが多い者が負ける事はない）
再延長戦（30秒の休息の後）			
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「本戦」と「延長戦」、「再延長戦」を通しポイント数が多い者の勝ち。 2. ポイント数が同じ場合は、ビッグポイント数のある者の勝ち。 3. それでも差がない場合は、この「再延長戦」でポイント数が多い者の勝ち。 4. それでも差のない場合は、「本戦」から「再延長戦」迄に「反則」の少ない者の勝ち。 5. それでも差がない場合は、「本戦」から「再延長戦」迄に「警告」を受けた者の負け。 6. それでも差のない場合は旗判定。 ① 第73条の規定による「加撃」、「投げ」、「寝技」の順で効果的な攻撃の多い者の勝ち。 ② それでも差がない場合は、「再延長戦」の後半に主導権を取った（優勢に試合を進めた）者の勝ち。必ず勝敗の「判定」をだす。「再々延長戦」はない。 		

注1) 「加撃」とは、第62条の注4) のとおり。

注2) 主審は、選手が「有効」2もしくは「技有り」1による4ポイントを奪われながらも試合続行の意志表示をした場合でも、選手の安全性を確保するために試合を一旦止め、その選手のセコンドにその旨を告げ、続行可否かを確認しなければならない

- い。従って選手には必ず、1名以上の監督者（セコンド）がつかなくてはならない。
- 注3) 選手が注2)に更にポイントが加算され、5ポイント以上を奪われながらも続行の意志表示をした場合、それ以上の続行は無理だと主審が判断したなら、主審のみの判断により、「試合続行不可能」としてその時点で試合を止め「技有り優勢勝ち（ポイント数は取得ポイント）」と出来る。
- 注4) アクシデントによる怪我やダメージについては以下の通りとする。
- 選手が試合継続の意志を見せない場合、その時間に応じて「有効」→「技有り」→「一本」とする。時間基準は、第65条7項と同じ。
 - 出血があった場合は主審は試合を中断し、医師を呼び治療開始時点からの計時を指示する。治療に要する時間は「遅延行為」とみなす（第74条7項を参照）。

- 第73条 第71条に規定したようなポイントや違反行為に差がなかった場合、「優勢」の判定は次の各号の順位によって行なう。
1. 上段（顔面）を中心とした突き、蹴りが単発でも連続でも的確に多く入っていて、防具がなければ効果的な攻撃となったときみなされる場合。
 2. 1項の規定で互角の場合、投げ、足払い、タックル等の決まった回数の多い方が有利となる。
 3. 2項の規定でも互角の場合、寝技の攻防で積極的に攻撃した方が有利となる。
- 注) この条項は試合終了後の「判定！」の際に主審、副審の旗の判定動作で明示される。試合中に優勢の判定動作はない。

第十章 禁止行為

- 第74条 下記の行為は違反行為であり、初めは「警告」、以降は「反則」となる。

- 注1) 初めは、「警告」を宣告される。
- 2回目「反則1」（相手に1ポイント）、3回目「反則2」（相手に2ポイント）を宣告される。
- 4回目の「反則3」（相手に4ポイント）を宣告された選手は「失格」となる。
- 注2) 「反則勝ち」の場合、3位と4位、及び5位～8位決定時、得点は4ポイントで計算する。
- 注3) 違反行為が故意もしくはダメージが大きい場合は「警告」なしで、初めから「反則1」（相手に1ポイント）となる場合もある。
- 注4) 違反行為が特に悪質、または違反行為によるダメージが特に大きい場合、審判長及び副審判長が違反行為の程度を判断し、違反行為を犯した選手に「反則2」（相手に2ポイント）もしくは「反則3」（相手に4ポイント）が宣告される場合があり、「反則3」を宣告された選手は「失格」負けとなる。
- 注5) 違反行為によってダメージを負い、即時試合を続行するのは不可能だが、時間を空ければ再開可能と選手およびセコンドに確認の上で主審が判断した場合は、2試合後に試合を再開できる。
- 注6) ドクターが確認し、違反行為によるダメージが大きく2試合を空けても試合続行不能と判断された場合、反則を犯した選手を「失格」負けとする。ただし、違反となった行為が明らかに故意ではなく、違反行為を犯した選手が十分に反省していると審判長および審判団が判断した場合に限り、特例として「失格」負けとなった選手が次の試合に出場できる。この場合は、対戦相手にポイント2が与えられる。
- 注7) 打撃、加撃、攻撃の意味については、第62条の注3)～注5)のとおり。
1. 攻撃の禁止行為
 - 有効相当以上のダウンをした相手への更なる攻撃
 - 立ち技、寝技を問わず、脊椎へのあらゆる攻撃
 - 注1) 頸椎を強く曲げる、捻る等の、頸椎に大きなストレスをかける攻撃は、特に悪質な違反行為と見做す。
 - 注2) フロントチョークは、頸椎への攻撃と見なされない場合のみ許される。
 2. 加撃の禁止行為
 - 後頭部への加撃
 - 頭頂部への加撃
 - 喉への加撃
 - 腎臓への加撃
 - 関節蹴りによる、膝関節への前方や側方からの加撃
 - 注) ただし、後方からの、膝関節の曲がる方向への加撃は認められる。
 - 立ち技における、体力指数差が20未満の場合の金的への加撃、指数差20以上30未満の場合の打撃による金的攻撃
 - 注1) 寝技における金的攻撃は体力指数差に関係なく認められない。
 - 注2) 体力指数差が20以上の場合蹴りによる金的への加撃が認められる。体力指数差が30以上の場合蹴りに加えて拳もしくは掌底による金的への加撃も認められる。但し、金的以外の部位への連続的な加撃の中で、繋ぎの技として使用することを認めるものであり、金的のみの連続的な加撃や、決め技として使用することは認められない。金的への加撃によって相手が膝をつくなどした場合は、その後直ちに「極め」の動作をすることにより、「効果」となる。
 - 身体指数差20以上での組み技における打撃
 - 注) 身体指数差が20以上ある場合は、掴んでの打撃は禁止。掴んでの蹴りは許される。
 - 身体指数差30以上での組み技における加撃
 - 注) 身体指数差が30以上ある場合は、掴んでの打撃に加えて、蹴りも禁止。
 - 双方が足裏以外の部位を畳（マット）についた状態の寝技において、上に位置する（相手の頭部より垂直方向上位に自分の頭部を位置させている）者の、頭部、顔面への加撃
 - 注) 寝技において関節技・絞め技が極まりかけの状態となった時の、極められかけている選手の違反行為（上に位置する者からの頭部への加撃など）は、特に悪質な違反行為と見做す
 - 双方が足裏以外の部位を畳（マット）についた状態の寝技において、上に位置する（相手の頭部より垂直方向上位に自分の頭部を位置させている）者の、相手の胸部、膝関節への、地面に対して平行方向以外からの加撃
 - 寝技において、相手選手の身体が床と拳足に挟まれる方向への頭部、顔面、胸部、膝関節への加撃
 - 注) お互いにアキレス腱固めをしている時の顔面や腹部への踵落とし、一方の立位の状態での上の者からの頭部や顔面への垂直な打撃など
 - タックルに来た相手に対しては、初撃に限り蹴りでの加撃が認められるが、それ以上の蹴りでの加撃は禁止
 - 寝技の攻防で先に立ち上がった選手による、タックルや下から技を掛けようとした相手に対しての蹴りでの加撃。ただし、後手で打撃は可。この時間は、寝技の継続とみなして計時を継続する
 - 一方のみが立ち上がっている場合、タックルなどの攻撃の意志を見せない相手への加撃
 - 注) 相手が転倒した場合は第65条4項に従い、「極め」の動作のみが許される。
 3. 掴みの禁止行為
 - 「投げ」や「タックル」や「打撃」の為に、先手後手を問わず連続した10秒間を超える掴み
 - 装備（顔面プロテクター、フィストガード、ファウルカップ）、髪、喉、性器を掴む行為
 - 注) 但し（「膝蹴り」などの為に）顔面プロテクターを抱える事は認められる。
 4. 投げ技の禁止行為
 - 故意・過失を問わず、投げて頭部や頸椎に大きなダメージ（すぐに立ち上がれない状況を生じるなど）を与える行為
 - 注1) 相手が投げられまいと堪えて自ら頭部・顔面から着地したと判断される場合であっても、投げた側の違反行為とする。
 - 注2) 投げられまいと堪えたりしがみついたことでダメージを生じたと判断される場合は、ダメージを受けた側も違反行為とする。
 - ダメージを与えなくても、相手の頭頂部や後頭部から先に畳（マット）に着地させ、投げた後も相手の背中が畳（マット）に着かないような投げ技
 - 注1) バックドロップなど、頭部や頸椎に大きなダメージを与え得る危険な投げは、特に悪質な違反行為とみなす。
 - 注2) 身体の回転の勢いによって胴体部分が順次着地していく場合は可とする。
 - ダメージを与えなくても、相手の頭部や顔面から先に畳（マット）に叩きつけるような投げ技（一本背負いや肩車で引手や膝の屈曲角度をコントロールして相手を頭や顔面から着地させる行為など）
 - 注1) 立位から（フロントチョークのような状態で）頭頂部がマットに落ちるように勢いよく寝技に引き込んだり、絞めたまま自分の後方に投げるような、頭部や頸椎に大きなダメージを与え得る危険な行為は、特に悪質な違反行為とみなす。

注2) 相手が投げられまいと堪えて自ら頭部・顔面から着地したと判断される場合は、違反行為としない。

注3) 身体の回転の勢いによって胴体部分が順次着地していく場合は可とする。

- 前屈した状態で、自身の頭が畳(マット)に先につくような動作で技を掛ける行為
- 故意・過失を問わず、全体重を浴びせて投げ、腹部もしくは胸部に大きなダメージ(すぐに立ち上がれない状況を生じるなど)を与える行為
 - 注1) 投げられまいと相手がしがみついたと判断される場合であっても、体重を浴びせて投げることは違反行為とする。
 - 注2) 投げられまいとしがみつくとダメージを生じたと判断される場合は、ダメージを受けた側も違反行為とする。
- ダメージを与えなくても、体重を浴びせたり、無理に巻き込む(軸足のバネを利かすことなく、体を利用して倒れ込むように巻き込むなど)行為
 - 注) 相手が投げられまいと堪えた結果巻き込んだ形となったと判断される場合は、違反行為としない。
- 膝関節や足首に重症を負う恐れがある蟹挟み

5. 絞め技、関節技の禁止行為

- 自分や相手の帯、或いは直接手指、手掌で施す、気管、頸動脈への絞め技
- 肘関節、肩関節、膝関節、足関節(足首～アキレス腱)以外の部位への関節技
 - 注) 例えば指の関節を極める行為は禁止。
- 膝関節を伸展する以外の方向に極める行為
- 相手の踵の部分を回したり、相手のつま先を掴んで、膝関節、足首を極める行為
 - 注) いわゆるヒールホールド、アングルホールドなど。
- 立った状態で絞め技や関節技を「極める」こと
 - 注) 引き込みや飛びつきで寝技に持ち込んだ後に「極める」ことは可とする。
- 立位から体重を浴びせて極める関節技

6. 戦意にかかわる禁止行為

- 故意に背中を向け続けたり、30秒以上攻撃をしない等、試合に積極性が見られない場合
- 立ち技、寝技を問わず、相手の攻撃から場外逃避したと見做される場合

7. 遅延行為

- 正当な理由なく主審とのやりとり等で試合を中断する、わざと帯を解く、装備や道着を着崩す、或いはマウスピースを吐き出す、着衣の乱れを正すのに10秒以上掛けるなど、スタミナ、ダメージを回復させる時間を得たと見做されるあらゆる遅延行為
- 対戦者が呼出し後試合場に現れない場合は遅延行為と見做され、即「警告」。以降30秒経過後に「反則1」、40秒経過後に「反則2」となり、50秒経過後「失格」となる。
- 試合中の出血等による治療で試合が中断される場合
 - ▶ 「治療時間」が2分経過時点で、「警告」
 - ▶ 2分10秒「反則1」(相手に1ポイント)
 - ▶ 2分20秒経過時点で「反則2」(相手に2ポイント)
 - ▶ 2分30秒経過時点で、「反則3」として「失格」を宣言される
 - 注) 治療開始(ドクターが選手に触れた)時点から試合再開(マスクの装着終了まで)を「治療時間」として計時する。

8. 服装、装備の禁止行為

- 服装、装備行為の要件を満たさないあらゆる行為
 - 注1) ファウルカップ、及び指定の空道着、ゼッケン、マウスピース、リストガード、帯止めを適切に着用または装着していない場合、複数の物の不着用で反則が累積される事はないが、これらの原因により試合開始に遅延を生じた場合は、遅延行為と見做れ74条7項の「対戦者が呼出し後試合場に現れない場合」が適用される。
 - 注2) 大会主催者の指示のとおりゼッケンを固定していないことが原因となって試合中にゼッケンが外れたと見なされる場合は、違反行為とする。
- 大会メディカルスタッフが認めていないテーピングの使用、サポーターの着用
 - 注) これらの原因により試合開始に遅延を生じた場合は、遅延行為と見做され74条7項の「対戦者が呼出し後試合場に現れない場合」が適用される。
- 指定外のバンデージの使用、及び指定のバンデージであっても水等で濡らして使用したり、過度にテーピングで固めていたり、パット等の異物を挿入している等した場合
 - 注) これらの原因により試合開始に遅延を生じた場合は、遅延行為と見做され74条7項の「対戦者が呼出し後試合場に現れない場合」が適用される。
- 顔面プロテクター後部の上下2箇所をヒモで固定していない場合
 - 注1) この原因により試合再開に遅延を生じた場合は、遅延行為と見做され74条7項の「対戦者が呼出し後試合場に現れない場合」が適用される。
 - 注2) 上下2箇所をヒモで固定してあっても、試合中に繰り返しプロテクターが外れた場合は、固定が不十分であることが原因とみなし、2回目「警告」、3回目「反則1」などとする。ただし、対戦者がプロテクターを掴んだことによって外れたと判断される場合は、この限りではない。

9. セコンドの禁止行為

- 試合中1名もしくは2名のセコンドが、指定された場所に着席していない場合
 - 注1) この原因により試合開始に遅延を生じた場合は、遅延行為と見做され74条7項の「対戦者が呼出し後試合場に現れない場合」が適用される。
 - 注2) セコンドの違反行為は、選手の違反行為としてカウントされる。
- 試合時に主審が選手の「治療許可証」の提示を求めた時に、セコンドが提示できない場合
 - 注) この原因により試合開始、再開に遅延を生じた場合は、遅延行為と見做され73条7項の「対戦者が呼出し後試合場に現れない場合」が適用される。
- セコンドが、席を離れて試合場を叩いたり、審判や選手を貶めるような発言をしたり、罵声を上げるなど、審判員が礼節を欠くと判断する行為

10. その他の禁止行為

- 顔面プロテクターの口にあたる部分を、呼吸を妨げるようにふさぐ行為
- 爪で引っ掻く、もしくは皮膚を掴む、つまむ、ひねる行為
- 相手の身体の開口部に指を入れる行為
- 審判員の指示に従わない、もしくは審判員、対戦者等への暴言や侮辱的行為
- 審判員の判定や判断に対する、選手やセコンドによる不満表示やアピール
- 上記のほか、審判員が特に悪質もしくは品位(マナー)を欠くと見做した、選手の技、言動、行為
- 計量時に身体指数が申告数値より
 - ▶ 1未満高い場合は「警告」。
 - ▶ 1以上2未満高い場合は「反則1」(相手に1ポイント)
 - ▶ 2以上3未満高い場合は「反則2」(相手に2ポイント)
 - ▶ 3以上高い場合は、「反則3」として「失格」

第75条 過去に例のない想定外の戦法・技術が使われた場合、又、成文化されていない戦法の可否については、危険度・武道精神・スポーツマンシップの面から考えて問題がないか、1. 大会総委員長、2. 審議委員長、3. 審判長、4. 監査役、5. 主審の計5人の内の3人以上で審議され判定が下される。又、後日その判断に関し、上記及び審判団で協議され、その結果を試合規約として成文化する。

第十一章 その他

第76条 選手ならびにセコンドは、KIFアンチ・ドーピングコードを遵守すること。

本規則は、日本語で作成され、参考として英語に翻訳される。これら両言語版の間に矛盾抵触がある場合、日本語版が優先する。

ジュニアの各クラスでの主なルールの違い(一般部とシニアの列は参考)

	U14	U16	U18	一般部	シニア
年齢基準日	大会開催年の12月末日 14歳未満	大会開催年の12月末日 14歳以上16歳未満	大会開催年の12月末日 16歳以上18歳未満	大会開催年の12月末日 18歳以上	大会日で 30歳以上
試合時間 (本戦)	1分30秒	2分	男子:3分 女子:2分	男子:3分 女子:2分	2分
(延長戦)	1分	1分30秒	男子:2分 女子:1分30秒	男子:3分 女子:2分	1分30秒
打撃	掴みの有無にかかわらず、上段への加撃は回し蹴りのみ可 (後ろ回し蹴りを含む)		上段への打撃は、 肘打ちと頭突きを禁止	大会規則のとおり	大会規則のとおり
蹴り	助走をつけての飛び蹴りは禁止		大会規則のとおり		
	連続的な下段蹴りは禁止	連続的な下段蹴りも可	大会規則のとおり		
掴み	3秒以内	5秒以内	10秒以内	10秒以内	10秒以内
	*掴んでの上段への加撃は回し蹴り(後ろ回し蹴りを含む) のみ可		上段への打撃は、 肘打ちと頭突きを禁止	大会規則のとおり	大会規則のとおり
投げ	タックルと、足払い、大内刈り、小外刈り、小内刈り、 支え釣り込み足に限定		大会規則のとおり	大会規則のとおり	大会規則のとおり
寝技	なし	1回(30秒) *延長戦も同様 *許される関節技は、「腕ひしぎ (十字固め、膝固め、脇固め、腕固 め、腹固め)、腕からみ、アキレス 腱固め」の7種類に限定 *許される絞め技は、「裸絞め、十字 絞め、送り襟絞め、片羽絞め、三角 絞め」の5種類に限定	男子:2回(30秒×2) 女子:1回(30秒) *延長戦では男女共1回 *許される技:空道認定技 *絞めと関節には「見なし一本」 を採用	男子:2回(30秒×2) 女子:1回(30秒) *延長戦も同様 *許される技:空道認定技	1回(30秒) *延長戦の寝技は男女共1回 *許される技:空道認定技
その他	*連続での攻防は10秒以内。 主審は、打撃・蹴撃の攻防が長くなりすぎないように、約10秒で 一旦試合を止めるなど十分な配慮をする。		*立ち技での連続的な 上段への打撃は、 4~5連打までとする	—	*連続での攻防は10秒以内。 主審は打撃・蹴撃の攻防が長 くなりすぎないように、約10秒で 一旦試合を止めるなど十分な 配慮をする。
	*1ダウン(技有り)で試合終了 (ポイント累積で4pの場合は試合続行可能) *当該試合中の累積5ポイントで試合終了		*1ダウン(有効)で試合終了 (ポイント累積で2pの場合は試 合続行可能) *当該試合中の累積5ポイント で試合終了	大会規則のとおり	*1ダウン(有効)で試合終了 (ポイント累積で2pの場合は 試合続行可能) *当該試合中の累積5ポイント で試合終了 *主審はダウンやダメージが確 認された場合、早い段階で試 合を停止させる。
	*主審はダウンやダメージが確認された場合、一般部よりも早い段階で試合を停止させる。				
	*その他の禁止行為は、「有効な技イラスト」および「大会規則第十章」のとおり				

※上表におけるアンダーライン箇所は、全日本空道連盟からKIFに提案した結果、現在は国際ルールとして承認されている。

大会規則
U14



大会規則
U16



大会規則
U18



ジュニアの技の判定基準

	U14	U16	U18
安全方針	<p>※ジュニアでは上段打撃の攻防が長くなりすぎないように一旦試合を止めるなど、安全面での十分な配慮をする。</p> <p>※成長過程にある青少年の安全に配慮し、ダメージが大きくなりすぎないように早めに「効果」「有効」「技あり」「一本」などの判定を下す。</p> <p>※一般部以上に安全を優先するため1度のダウン(U14とU16では「技有り」、U18では「有効」となるダウン)で試合終了とする。</p> <p>※ダウンの有無にかかわらず審判団が危険と判断した場合試合を中断・終了できる。</p> <p>※一般部とU18はダメージの有無が判定基準となっているが、U14とU16においてはポイント制に主眼を置く。</p> <p>※U18では、上段への打撃は肘打ちと頭突きを禁止。その他の有効な技や各種の判定基準は、一般部に準ずる。</p> <p>※下記の通り、U14およびU16においては、一般部およびU18よりも一段階上位の判定を行う。</p>		
効果=1p	単発でも、的確に無防備な上段/中断/下段への強い蹴りが入ったとき		上段に単発でも、強い突きが入ったとき (一般部と同じ基準であり、以下も同様)
			中段/下段への加撃で動きが止まるなど ダメージが認められたとき
	相手を投げたあと上半身に2本以上連続した「極め」がなされたとき		倒れた相手の上半身に2本以上連続した 「極め」がなされたとき
	—	寝技で相手を制し上段を中心に4本以上連続した「極め」がなされたとき	
	強くて鮮やかな「投げ」が決まったとき (許される投げは足払い、大内刈り、小外刈り、小内刈り、支え釣り込み足に限定される)		強くて鮮やかな「投げ」が決まったとき
「反則1」で相手に1pが与えられる			
有効=2p	(ダウンは、原則的に「技有り」以上となる)		加撃によりダウンしたとき (ダメージの程度によっては「効果」)
	2秒未満の戦意喪失があったとき		2秒以上4秒未満の戦意喪失があったとき
	上段に相応の力で蹴りが入ったとき		上段が揺れるなどし、反撃ができない程度の上段への蹴りが入ったとき(一般部とは異なる基準)
	中段/下段への加撃により防具越しにもダメージが認められたとき		—
	加撃による一方的な4本～6本の連続攻撃があったとき		加撃による2秒以上4秒未満の上段(顔面)を 主体とした一方的な連続攻撃があったとき (ダメージの程度によっては「効果」)
	主審が「効果」をコールまたは旗3本の支持があった後、ダウンもしくは背を向け場外へ逃亡したとき		
「反則2」で更に相手に累積2pが与えられる			
技有り=4p	加撃によりダウンがあったとき (加撃の程度によっては「有効」と見なされる場合あり)		加撃による2秒以上4秒未満のダウンが あったとき
	※ダウン1で試合は終了するが、ダウンの時間により「技有り」や「一本」の判定をする		
	2秒以上4秒未満の戦意喪失があったとき		4秒以上6秒未満の戦意喪失があったとき
	加撃による2秒以上4秒未満の一方的な連続攻撃があったとき		加撃による上段を中心とした4秒以上6秒未満の 一方的な攻撃があったとき
主審が「有効」をコールまたは旗3本の支持があった後、ダウンもしくは背を向け場外へ逃亡したとき			
「反則3」となった場合は失格、相手の技有優勢勝ちとなる。			
一本=8p	加撃により2秒以上のダウンがあったとき		加撃により4秒以上のダウンがあったとき
	※ダウン1で試合は終了するが、ダウンの時間により「技有り」や「一本」の判定をする		
	4秒以上の戦意喪失があったとき		6秒以上の戦意喪失があったとき
	加撃による4秒以上の一方的な連続攻撃があったとき		加撃による上段を中心とした6秒以上の 一方的な攻撃があったとき
		寝技において、許容された絞め技または関節技が極まったと見なされ、 旗3本の支持があったとき	
判定	大会規則の「第九章 判定法」に準じる。ただし、再延長戦はなし。		

競技会場地マップ

Venue map

国スポ	正式競技(37)	特別競技(1)	公開競技(7)	デモンストレーションスポーツ(39)	冬季正式競技(3)
障スポ	正式競技(14)	オープン競技(3)	(身)身体障がい者が出場できる競技 (知)知的障がい者が出場できる競技 (精)精神障がい者が出場できる競技		

東青地域

- 青森市**
- 国スポ総合開・閉会式
 - 障スポ開・閉会式
 - 陸上競技
 - 水泳(競泳)
 - 水泳(水球)
 - 水泳(アーティスティックスイミング)
 - 水泳(オープンウォータースイミング)
 - テニス
 - バレーボール(6人制)
 - バレーボール(ビーチバレーボール)
 - ハンドボール
 - ソフトテニス
 - 卓球
 - 軟式野球
 - ライフル射撃(25m)
 - ラグビーフットボール(15人制)
 - スポーツクライミング(リード・ボルダ)
 - アーチェリー
 - ゴルフ
 - トライアスロン
- ウォークビンゴ
- カーリング
- ソフトバレーボール
- ターゲット・バードゴルフ
- ドッジボール
- 年齢別ソフトテニス
- 年齢別テニス
- ふれあいボウリング
- ユニバーサルホッケー
- ラージボール卓球
- ダンススポーツ
- 陸上競技(身・知)
- 水泳(身・知)
- アーチェリー(身)
- 卓球(身・知・精)
- サウンドテーブルテニス(身を含む)

- 平内町**
- ゴルフ
 - 綱引
- 今別町**
- 年齢別バドミントン
- 蓬田村**
- モルック
 - ペタンク

下北地域

- むつ市**
- ローイング
 - バスケットボール
 - セーリング
 - フェンシング
 - フライングディスク
 - バスケットボール(知)
- 大間町**
- ウォーキング
- 東通村**
- ソフトバレーボール
- 風間浦村**
- ノルディックウォーキング
- 佐井村**
- ふれあいソフトボール



上北地域

- 十和田市**
- サッカー
 - バスケットボール
 - 相撲
 - ゲートボール
 - バウンドテニス
 - パークゴルフ
 - Let's Enjoy バウンドテニス
 - バレーボール(身)

- 三沢市**
- ホッケー
 - バスケットボール
 - 軟式野球
 - ソフトボール
 - 銃剣道
 - 武術太極拳
 - いきいき太極拳
 - スケート(ショートトラック)
 - アイスホッケー
 - ボウリング(知)
 - 車いすバスケットボール(身)
 - デフボウリング(身)

- 野辺地町**
- ハンドボール
- 七戸町**
- 剣道
 - ブラインドテニス(身)

- 六戸町**
- 軟式野球
- 横浜町**
- マラソン

- 東北町**
- ソフトボール
 - 女子ソフトボール
 - ソフトボール(知)

- 六ヶ所村**
- ホッケー
 - 軟式野球

- おいらせ町**
- 軟式野球
 - スポーツチャンバラ
 - ファイン・ボール
 - ブラインドベースボール(身)
 - ファイン・ボール(身)

西北地域

- 五所川原市**
- バレーボール(6人制)
 - バレーボール(精)

- つがる市**
- バレーボール(6人制)
 - 柔道
 - バレーボール(知)

- 鱒ヶ沢町**
- マスターズスイミング
- 深浦町**
- ノルディックウォーキング

- 板柳町**
- ふれあいゲートボール
 - ウォーキング

- 鶴田町**
- マラソン&ウォーキング
- 中泊町**
- ビーチサッカー

中南地域

- 弘前市**
- 体操(競技)
 - 体操(新体操)
 - 体操(トランポリン)
 - ソフトボール
 - 弓道(近的・遠的)
 - ライフル射撃(50m、10m、BR・BP)
 - 空手道
- 黒石市**
- バドミントン
- 西目屋村**
- カヌー(スプリント)
 - カヌー(スラローム・ワイルドウォーター)
- 大鰐町**
- パラグライディング
 - オリエンテーリング
 - スキー(ジャイアントスラローム)
 - スキー(クロスカントリー)

- 黒石市**
- クレー射撃(トラップ・スキート)
 - 高等学校野球(硬式・軟式)
 - マスターズ陸上競技
 - ビリヤード
 - フライングディスク(身・知)
 - ボッチャ(身)
- 平川市**
- ウェイトリフティング
 - グラウンド・ゴルフ
 - エアロビク
 - インディアカ

- 藤崎町**
- なぎなた
 - パワーリフティング
 - スポーツウエルネス吹矢
- 田舎館村**
- ユニカール

三八地域

- 八戸市**
- サッカー
 - バスケットボール
 - レスリング
 - 自転車(トラックレース)
 - ソフトボール
 - ラグビーフットボール(7人制)
 - ボウリング
 - 空道
 - スケート(スピード)
 - スケート(フィギュア)
 - アイスホッケー
 - サッカー(知)
 - フットソフトボール(知)
- 三戸町**
- パークゴルフ
- 五戸町**
- サッカー

- 田子町**
- マラソン
- 南部町**
- サッカー

- 階上町**
- 自転車(ロードレース)
 - フロアボール
- 新郷村**
- エンジョイ! グラウンド・ゴルフ

県外

- 宮城県利府町**
- 水泳(飛込)
- 山梨県北杜市**
- 馬術
- 秋田県鹿角市**
- スキー(スペシャルジャンプ)
 - スキー(コンパインド)

**第80回 国民スポーツ大会
デモンストレーションスポーツ空道競技
八戸市実行委員会**